



InTouch™クリティ
カルケアベッド
FL27型 (2131/2141)

stryker®

操作マニュアル



部品や技術支援については下記にお電話ください：
米国: 1-800-327-0770 (オプション2)
カナダ: 1-888-233-6888

目次

はじめに.....	6
使用目的	6
製品概要	6
製品図示	6
仕様.....	7
仕様 (続き)	8
警告 / 注意 / 注記の定義	8
記号.....	9
安全に関する注意事項の概要.....	10
オプションのZOOM®駆動システム (2141型のみ)	12
設定手順	13
オプションのXPRT療法マットレス.....	14
オプションのPositionPRO™患者体位変換マットレス	14
シーツの掛け方	15
オプションのZOOM®駆動システム (2141型のみ)	15
操作モード各種	16
ベッドの電力供給	16
電池による操作モード.....	16
土台の操作ガイド.....	17
ブレーキ / ドライブ / ニュートラルの操作.....	17
電子モード.....	17
手動モード	17
ベッドボトム (床板) の操作ガイド	18
心肺蘇生用緊急リリース	18
停電時の背もたれの下げ方	18
Foleyカテーテルバッグ用フック	18
患者固定用ベルトの位置	18
常夜灯の使用.....	18
ナースコールの使用	19
補助電源コンセントの使用.....	19
ヘッドボードおよびフットボードの操作.....	19
サイドレールの位置設定.....	20
ベッドの位置調節	21
オプションのベッド延長器	21
サイドレールの操作ガイド.....	22
サイドレールモーションコントロールパネル、ナース用コントロール.....	22
ベッド位置調節の概要.....	23
Flat (0°) (水平)	23
標準カルディアック椅子座位	23
拡張カルディアック椅子座位	23
トレンデレンブルグ位.....	23
逆トレンデレンブルグ位.....	23
サイドレールブレーキ/モーションコントロールパネル、ナース用コントロール.....	24
オプションのペンダント操作ガイド.....	25

目次

オプションのペンダント型コントロール	25
フットボード操作ガイド	26
コントロールパネル	26
システムメッセージ・インジケータライト	27
タッチスクリーン	27
メインメニュー：患者の情報	28
メインメニュー（続き）	29
患者の情報、新しい患者	29
患者の情報、設定	29
メインメニュー：BED CONTROLS (ベッドコントロール)	30
メインメニュー：SCALE (スケール)	31
Delayed Weight (体重測定遅延) ボタン	32
Lbs/Kg	32
ゼロ合わせボタン	33
Weight History (体重履歴) ボタン	34
Change Equipment (機器交換) ボタン	35
体重変更ボタン	36
体重増減ボタン	37
メインメニュー：BED EXIT (離床検知)	39
メインメニュー：SUPPORT SURFACES (表面のサポート)	41
空気マットレスのオプション	41
XPRTマットレス仕様	41
<i>InTouch</i> ™ XPRTマットレス一体型	41
PositionPRO™マットレスの仕様	42
<i>InTouch</i> ™とPosition PRO™の間の相互作用	42
<i>InTouch</i> ™における具体的なPosition PRO™の機能	42
メインメニュー：OPTIONS (オプション)	43
“Smart TV” (スマートテレビ) ボタン (オプション)	44
言語ボタン	44
履歴ボタン	45
バックライトボタン	47
メンテナンスボタン	47
メインメニュー：LOCKOUTS (ロックアウト)	48
メインメニュー：iBed	49
iBed、認識	49
iBed、プロトコルの再確認	50
iBed、プロトコルの再確認（続き）	51
iBed、ベッドの頭部 (HOB) 履歴	52
iBed、ベッドの高さの履歴	52
iBed、電卓	53
iBed、コンバーター	53
iBed、翻訳	54
iBed、ドキュメンテーション	55

目次

iBed、ブレードスケール	56
iBed、サウンドセラピー	57
ZOOM®駆動の操作 (2141型)	58
ZOOM®駆動 (2141型) の使用方法	58
ベッドの付属品 (オプション)	59
ベッド延長器 - FA64234	60
常設用I.V.ポール - FA64221	61
デュアルヘッドエンド常設用I.V.ポール - FA64202	63
ライン管理システム (付属クリップ) - FA64210	65
モニタートレー - FA64214	66
縦型酸素ボトルホルダー - FA64187	68
ライトフィット酸素ボトルホルダー - FA64203	69
ペンダント、モーションコントロール付き - FA64209	70
ペンダント、モーションコントロール/ナースコール付き - FA64194	71
ペンダント、モーションコントロール/Smart TV (スマートテレビ) 付き - FA64195	72
ペンダント、モーションコントロール/ナースコールSmart TV (スマートテレビ) 付き - FA64193	73
ペンダントクリップ - FA64186	74
牽引スリーブ - FA64215 ~FA64219	75
ウォールセーバー - FA64208	76
X線カセットホルダー - FA64205	77
洗浄	78
ベッドの洗浄	78
マットレスの手入れ	78
予防メンテナンス	79
チェックリスト	79
保証	80
有限保証	80
部品および修理の請求	80
サービス契約の範囲	80
サービス契約プログラム	81
返品許可	81
破損した商品	81
国際保証条項	81
電気・電子機器再利用パスポート	82

はじめに

使用目的

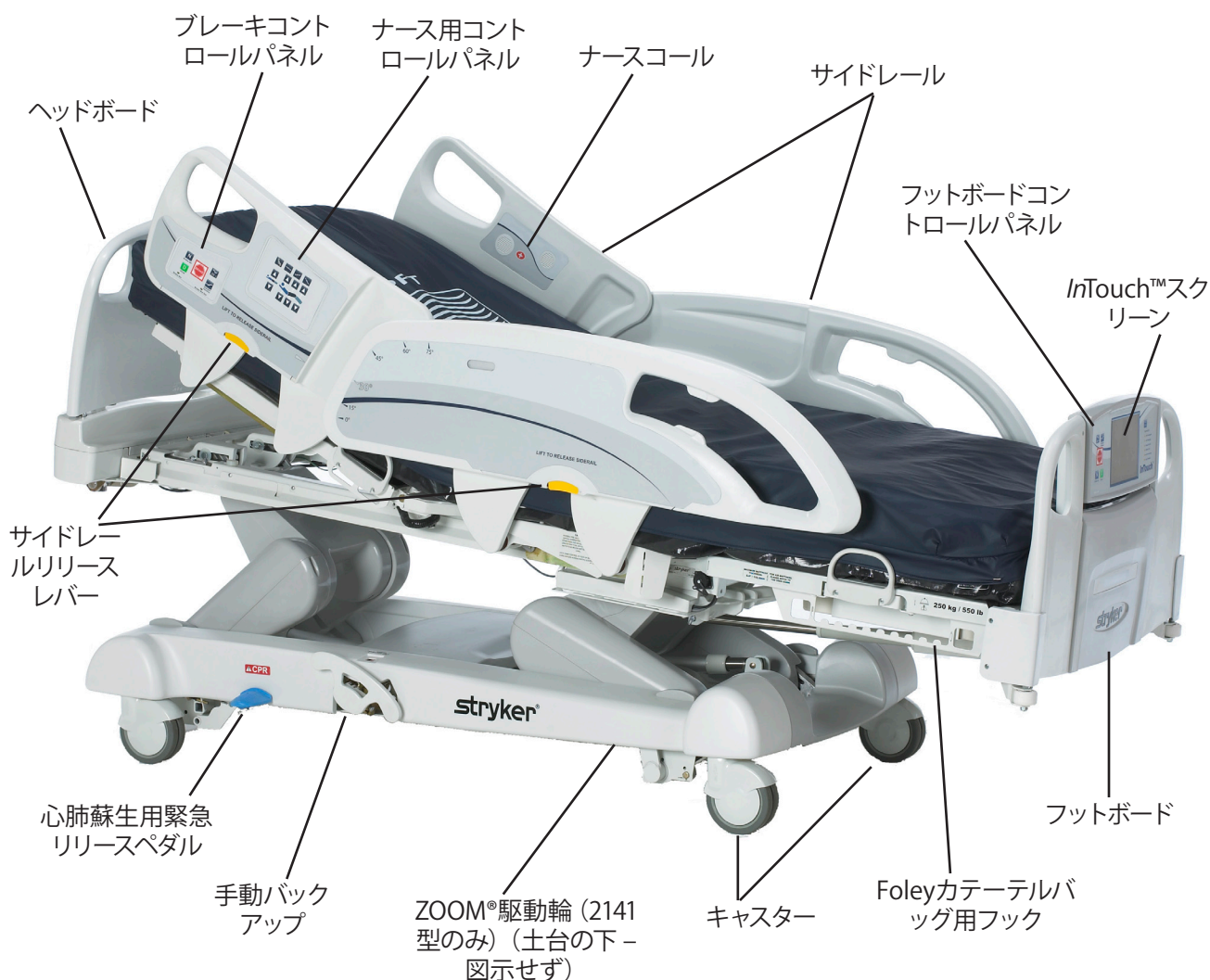
本マニュアルは、Stryker InTouch™クリティカルケアベッドFL27（2131/2141）型の操作方法についてサポートするよう書かれています。本装置の使用やメンテナンスを開始する前に、本マニュアルを注意して熟読してください。本装置の安全な操作を徹底するために、装置の安全操作の教育とトレーニングの方法および手順を確立することを推奨します。

本操作マニュアルは本ベッドに不可欠なものであるため、ベッドを売却したり移送する場合はマニュアルを添付する必要があります。

製品概要


この製品は集中治療室用ベッドとして使用するものです。

製品図示



はじめに

仕様

	安全作業負荷 注記: 安全作業負荷は、患者、マットレス、付属品の重量の合計を示します。		550 lbs	250 kg
	ベッド重量		750 lbs	340.2 kg
ベッド全長		90"	228.6 cm	
ベッド全幅	サイドレールアップ	42"	106.7 cm	
	サイドレールダウン	41"	104.1 cm	
土台	ベッド下の空間	5"	12.7 cm	
ボトム (床板)	患者仰臥面 ・ 幅 ・ 長さ ・ 長さ (オプションのベッド延長器使用)	35" 84" 90"	88.9 cm 213.4 cm 228.6 cm	
	シート部 ・ 深さ	18.5"	47 cm	
	足部 ・ 長さ ・ 角度	29" 0~50°	73.7 cm 0~50°	
	背もたれ ・ 長さ ・ 幅 ・ 角度	36" 34"~35" 0~70°	91.4 cm 86.4 cm~88.9 cm 0~70°	
	膝ボトム ・ 長さ ・ 幅 ・ 角度	18" 34"~35" 0~15°	45.7 cm 86.4 cm~88.9 cm 0~15°	
	カルディアック椅子座位 ・ 標準カルディアック椅子座位ポジション ・ 拡張カルディアック椅子座位ポジション	頭: 65°、座ボトム: 17°、足ボトム: 30°、トレンデレンブルグ: 3° 頭: 70°、座ボトム: 19°、足ボトム: 47°、トレンデレンブルグ: 3°		
	背もたれ	長さ	36.5"	92.7 cm
ベッドリフトシステム	床板上面までの高さ (高)	31"	78.7 cm	
	床板上面までの高さ (低)	16"	40.6 cm	
	トレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグ	12°		
	ベッドリフト時間	低から高ポジションまで最大35秒間		
スケールシステム	秤量	550 lbs	250 kg	
	精度: ・ 体重45 kgから250 kgまで ・ 体重45 kgから250 kgまで ・ 体重45 kg未満 ・ 体重45 kg未満	+/- 2%トレンデレンブルグまたは逆トレンデレンブルグ位の場合 +/- 1%フラットの場合 +/- 0.91 kgトレンデレンブルグまたは逆トレンデレンブルグ位の場合 +/- 0.45 kgフラットの場合		
心肺蘇生用システム	任意の位置からベッドを水平にするまでの速度 ・ 背もたれ ・ 足ボトム ・ 座ボトム	15秒間 60秒間 30秒間		
駆動システム	速度 (オプションのZOOM®駆動) ・ 前進 ・ 後退	3.6 mph 2.5 mph	5.8 km/h 4.0 km/h	

[目次に戻る](#)

はじめに

仕様 (続き)

マットレス	マットレスの推奨サイズ	35" x 84" x 6"	88.9 cm x 213.4 cm x 15.2 cm
	空気マットレスの推奨サイズ	35" x 84" x 6" ~ 8.5"	88.9 cm x 213.4 cm x 15.2 cm ~ 21.6 cm
最大消費電流	オプションの補助コンセントなし (120VACのみ)	4.8 Amp	
	オプションの補助コンセントあり (120VACのみ)	9.8 Amp	
環境条件	保管 ・ 室温 ・ 相対湿度 ・ 大気圧	-40 °F~158 °F 10~100% 500~1060 hPa	-40 °C~70 °C
	作動中 ・ 室温 ・ 相対湿度 ・ 大気圧	50 °F~104 °F 30~75% 700~1060 hPa	10 °C~40 °C
電氣的要件	電氣的要件はすべてCSA C22.2 No. 601.1、 UL 60601-1、IEC 60601-1.60601-2-38の仕 様に適合します。	120 V~, 50~60 Hz, 4.0 A (9.8 A オプションの120 V補助コンセント 付き) - 250 V, 10 A ヒューズ (2個) 200 V~, 50~60 Hz, 3.2 A - 250 V, 6.3 Aヒューズ (2個) 220 V~, 50~60 Hz, 2.9 A - 250 V, 6.3 Aヒューズ (2個) 240 V~, 50~60 Hz, 2.7 A - 250 V, 6.3 Aヒューズ (2個)	
バッテリー	12 V, 17.6 Ahr, 密封型鉛蓄電池 (パーツ番号QDF9188) 3.0 V, 220 mAhリチウム電池 サイズ20 mm - Varta Int. CR2032 コイン電池PCバッテリーホルダー、サイズ20 mm - MDP Int. BA2032		

Strykerは断りなく仕様を変更する権利を有します。

記載の仕様は概算値であり、装置によって、あるいは電力供給の変動によって変動することがあります。

警告 / 注意 / 注記の定義

警告、注意事項、および注記という言葉には特別な意味があるため、注意して読む必要があります。

⚠ 警告

回避しなければ死亡や重大な人身事故につながり得る状況について読む人に警告します。 また重篤な有害作用の可能性および安全上の問題についても記述することがあります。

⚠ 注意

回避しなければ、使用者や患者に対する軽度ないし中等度の人身事故、または本装置や他の物品の損傷につながり得る状況について読む人に警告します。 これには、装置の安全かつ有効な使用に必要な特別な注意や、使用や誤用の結果起こりうる装置への損傷を避けるために必要な注意が含まれます。

注記

これは特別な情報を提供し、メンテナンスを容易にしたり、説明をより分かり易くするためのものです。

記号



警告、添付文書をご覧ください



安全作業負荷記号

~

交流



100V~ または 120V~ 電力システムで使用するベットのヒューズ定格



200V~、220V~、または 240V~ 電力システムで使用するベットのヒューズ定格



タイプB機器：電撃に対し、特に許容漏れ電流および防護用アース接続の信頼性に関する特別の防護を提供する機器。

クラス1機器：電撃に対する防護を基礎絶縁のみに頼らずに、基礎絶縁が機能しなかった場合でも、アクセス可能な金属部分に電流が通ることがありえない方法で装置を施設の固定配線の防護用アース導線に接続する手段を提供する他の安全予防措置がとられている機器。

操作モード：連続

IPX4

液体飛沫からの防護



危険電圧記号



保護接地端子記号



等電位化記号



電撃、火事、機械的、その他特定の危険性に対するカナダ規格協会により認可された医療機器。



電気・電子機廃棄物 (WEEE) 指令2002/96/ECに従い、この記号は製品が未分類の都市廃棄物として廃棄されてはならず、分別回収されなければならないことを示します。国の回収および/または収集システムについては現地代理店にお問い合わせください。

[目次に戻る](#)

安全に関する注意事項の概要

ベッドを操作する前に、このマニュアルに記載の情報をすべて読んで理解しておくことが重要です。以下に挙げる安全性ガイドラインを熟読し、厳守してください。

注記

ベッドを安全に操作するために、電動ベッドの使用に伴う特有の危険性について病院スタッフの教育とトレーニングを行う手順および方法を確立する必要があります。

警告

- 本装置の永久的な損傷を防ぐために、設定および/または装置の操作を開始する前に装置が室温に達するようにしてください。
- 体重システムは患者の体重の変化をモニターする手助けをします。どんな状況においても、測定値は治療の唯一の参照として使用しないでください。
- 最低年1回は予防メンテナンスを実施して、ベッドの全機能が正しく作動することを確認する必要があります。
- このベッドは小児用ではありません。
- マットレスの厚さが15.24 cmを超過してはなりません。
- このベッドには感電から防護するための医療用プラグが付いています。プラグは正しく接地したコンセントに直接差し込む必要があります。接地の信頼性は医療用コンセントを使用したときのみ得られます。
- 感電の危険性 - 電源コードを正しく取り扱わないと、電源コードの損傷および感電の危険性があります。電源コードが損傷してしまった場合は、ベッドの使用を直ちに中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。これを怠ると重大な人身事故や死亡事故に至ることがあります。
- このベッドの操作する際に注意を怠ると、重大な人身事故に至ることがあります。ベッドの操作は、電気・機械システムの周囲に人がおらず機器を置いていないときのみ行ってください。
- 患者がベッドに乗っているときや乗り降りの最中は、必ずブレーキをかけてください。患者が乗り降りしている間にベッドが移動すると、重大な人身事故に至ることがあります。ブレーキペダルを起動し終わったら、ベッドを押してみてもブレーキが確実に掛かっていることを確認してください。電動ブレーキを使用するときにも同様のテストを行ってください。
- 患者に誰も付き添っていないときは、病状により別の体位が要求されない限り、サイドレールは完全に上がった状態に保ち、仰臥面は最低位置で水平に保ってください。サイドレールを上げるときは、ロックされたことを知らせる「カチッ」という音が聞こえるのを確かめてください。サイドレールをしっかり引いて所定の位置にロックされていることを確認してください。
- 仰臥面が屈曲しているときは、患者の四肢全部が上げたサイドレールの内側に入っていることを確認し、患者の人身事故を防ぎます。
- 患者の状態により、患者を防護する安全対策がさらに必要な場合には、フットボードコントロールパネルにあるロックアウトコントロールを使用してサイドレールの機能を禁止するか、サイドレールに付いているオプションのペンダント型コントロールを取り外してサイドレールに保護パッドを取り付けてください。
- パッド付きカバーの有無にかかわらず、サイドレールは患者がベッドから降りるのを防ぐ固定用具として使用するものではありません。サイドレールは患者が誤ってベッドから転落するのを防ぐよう設計されています。患者が安全にベッドに乗ってられるようにするための固定がどの程度必要かは、担当の医療従事者の責任において決めてください。サイドレールを正しく使わないと、患者に対する重大な人身事故の可能性がります。
- 患者が乗っているときにベッドを移動させるときは、人身事故のリスクを減らすため、サイドレールが完全に上がりロックされた状態で、仰臥面が水平で最低位置にあることを確認します。
- 患者および/または使用者への人身事故を避けるため、ステアリングモードが起動しているときにベッドを横方向に動かそうとしないでください。ステアリング車輪は旋回できません。
- 心肺蘇生用緊急用ペダルは緊急時のみ使用します。心肺蘇生用ペダルを起動するときは、ベッドの頭部、脚部、足部の下と周囲には人もおらず機器も置いていない状態で行わないと、重大な人身事故や装置の損傷が起こる可能性があります。
- 手動予備ブレーキは緊急時のみ使用します。緊急時以外のいかなる状況にも使用しないでください。これを遵守しないと、緊急事態に使用するまでに使い古されてしまう場合があります。
- このベッドを、鼻型、マスク型またはベッド半分の長さの酸素 TENT 以外の酸素供給装置と共に使用する場合には、火災の危険性があります。酸素供給装置を使用するときは、ベッドの電源コードを壁から抜いてください。ベッド半分の長さの酸素 TENT を使用するときは、サイドレールが酸素 TENT の外にあり、かつ酸素 TENT がマットレスサポートの高さより下まで達しないことを確認します。

安全に関する注意事項の概要

⚠ 警告 (続き)

- 離床検知システム (オプション) は、患者がベッドから降りるのを検知する補助としてのみ使用するものです。患者のモニタリングプロトコルの代わりをするものではありません。離床検知システムは、患者がベッドからまさに出ようとするときに知らせます。離床検知システムが起動しているときに機器を追加したり外したりするときは、「システム起動中に機器の追加または取外しを行う」手順を使って行います。さもなければシステムの感度に影響を与え、ベッド内の患者の動きの検出に誤りが出ることがあります。
- 離床検知システムは、体重が23 kg未満の患者には使用できません。
- ベッドは蒸気洗浄したり、ホースで水をかけたり、超音波洗浄しないでください。ベッドのどの部分も浸漬しないでください。水に曝露すると内部の電気部品が損傷することがあります。温水と中性洗剤でベッドの全表面を定期的に手洗いしてください。洗浄剤が沈着しないように洗浄した表面を拭いて乾かします。使用後はそのつど、マットレスを点検してください。液体が侵入可能なひび割れや裂け目がマットレスカバーに認められる場合は、使用を中止してください。マットレスの適切な洗浄や、欠陥がある場合の廃棄を怠ると、病原性物質への曝露の危険性が高まることもあり、患者や使用者に疾患発症の可能性があります。
- ベッドの修理や洗浄を行うときは、必ずベッドの電源コードを壁コンセントから抜いてください。ベッドが高位置にあるときにその下で作業をする場合は、ベッドダウンスイッチが誤って押された場合に人身事故が防げるように、必ずブレーキをかけ、ベッドリフトレバーの下にブロックを置きます。

⚠ 注意

- 最低年1回は予防メンテナンスを実施して、ベッドの全機能が正しく作動することを確認する必要があります。ベッドの誤作動はすべて、サービス担当者に迅速に報告することを徹底してください。
- 配線板、ケーブル、モーターのある部分に多量の液体がこぼれた場合は、直ちにベッドの電源コードを壁コンセントから抜き、患者をベッドから降ろして液体の始末をしてください。メンテナンス担当者にベッドを徹底的に点検してもらってください。液体はあらゆる電気製品の作動能力に悪影響を与える可能性があります。ベッドが完全に乾き、安全な操作が可能なことが十分なテストで証明されるまでは、絶対に使用しないでください。サイドレール機構のアームおよび足側ケーシングのカバーとして使われているプラスチック製部品を取り外し、それらカバーが覆っている部品が完全に乾いていることを確認してください。
- サイドレール機構への損傷を避けるため、上げたサイドレールを使ってベッドを移動することは止めてください。ベッドはボードと一体になったハンドルを使って移動させてください。
- それぞれのベッドに異なるオプションが付いている場合があるため、フットボードは別のベッドに移さないでください。フットボードを入れ替えるとベッドの操作が予測不可能になる場合があります。
- 修理する場合は、Strykerが提供する同一の交換部品のみ使用してください。

注記

- この操作マニュアル全体において、「右」および「左」は、ベッドに仰向けに寝ている状態の患者にとっての右と左を指します。
- 付属品を取り付けるとベッドの動きに影響を与えます。
- iBedオプションは情報の目的にのみ使用され、通常の患者のモニタリングのプロトコルに代わるものではありません。

安全に関する注意事項の概要

オプションのZOOM®駆動システム (2141型のみ)

前述の警告および注意事項に加え、下記の警告および注意事項のすべてがZoom®を装備した装置に適用します。

警告

- 2141型InTouch™ベッドは、トレーニングを受けた病院スタッフのみが使用できます。 担当者の適切なトレーニングを怠ると人身事故に至ることがあります。
- 駆動輪を起動した状態でベッドを移動する際は、注意を払ってください。 駆動輪が起動しているときは、ベッドの付近に物が置かれていないことを必ず確認してください。 ベッドが障害物にぶつかった場合、患者、使用者、居合わせた人に対する人身事故や、フレームまたは周囲の機器の損傷を招くことがあります。
- 通路やドアを通してベッドを移動させたり、エレベーターの乗り降りなどをする際は、注意して行ってください。 ベッドが壁やドア枠に接触した場合、サイドレールや他の部品が損傷することがあります。
- ベッドを手で押す前に、駆動輪をニュートラル位置に入れてブレーキを解除してください。 2141型では、ベッドを手で押す前に、Brake Off (ブレーキオフ) ボタンを押して駆動輪 (ZOOM®) を解除します。 駆動輪を起動したままベッドを手で押そうとしないでください。 ベッドが押しにくいいため人身事故につながる可能性があります。
- 予期せぬ動きが起きた場合は、壁ソケットから電源コードを抜き、電池電源オン/オフスイッチを押して“OFF” (オフ) (0) の位置にし (LEDは点灯しない)、駆動輪ペダルを作動させてニュートラル位置にしてからメンテナンス担当者を呼んでください。
- 電池電源使用時に、モーションリリーススイッチが起動されていない状態で1時間経過すると、省エネモードが起動します。 ベッドが省エネモードに入ると、離床検知、スケール、モーションなどの機能は作動を停止します。 適切な患者のモニタリングプロトコルを順守しない場合、患者に人身事故が起こることがあります。
- 修理や洗浄の前に、必ず電源コードを抜き、電池電源オン/オフスイッチを押して“OFF” (オフ) (0) の位置にしてください。 ベッドフレームの下で作業をするときは、必ずボトムフレームに支えをし、誤ってベッドダウンスイッチを起動しても人身事故が防げるようにしてください。
- 蓄電池ポスト、端子、および関連付属品は、ガンや、先天性異常その他生殖への危害を起こすことをカリフォルニア州が認知している化学物質である鉛と鉛化合物を含んでいます。 取り扱い後は手を洗ってください。
- InTouch™ 2141型ベッドを改造しないでください。 ベッドを改造すると、予測不可能な動作の原因となり患者や使用者への人身事故につながる可能性があります。 ベッドを改造すると本保証も無効になります。

設定手順

本装置の永久的な損傷を防ぐために、設定および/または装置の操作を開始する前に装置が室温に達するようにしてください。

使用に供する前に、ベッドが正しく作動することを確認することが重要です。以下のリストはベッド各部をくまなく点検するのに役立ちます。

- フットボードとヘッドボードをベッドに取り付けます。フットボードをちょうどよくはまるように注意しながら差し込みます。

警告

それぞれのベッドに異なるオプションが付いている場合があるため、フットボードは別のベッドに移さないでください。フットボードを入れ替えるとベッドの操作が予測不可能になる場合があります。

- 電源コードをベッド頭側でベッドのコネクターに差し込み、それから適切に接地された医療用壁コンセントに差し込みます。
- 電池電源スイッチを入れ“ON”（オン）(1)の位置にします（ベッドボトム表面より下の患者の右側に付いています）。
- タッチスクリーンで時刻と日付をセットします（手順は44ページを参照）。

警告

このベッドには感電から防護するための医療用プラグが付いています。プラグは正しく接地したコンセントに直接差し込む必要があります。接地の信頼性は医療用コンセントを使用したときのみ得られます。

- 手動予備ブレーキ（患者から見て右側にのみ付いている）をテストするには、手動予備ブレーキペダルを外側に倒してからペダルの足元側を最後まで下に押します。ペダルの隣の土台にある透明ウィンドウにBRAKE（ブレーキ）という赤色の文字が見え、ブレーキ記号がフットボードコントロールパネルに点滅します。この時点でブレーキがかかっています。
- 電動ブレーキをテストするには、サイドレールまたはフットボードコントロールパネルのブレーキボタンを押してブレーキを起動させます。ベッドを押してみてもブレーキがかかっていることを確認します。コントロールパネルまたはフットボードの“Neutral”（ニュートラル）ボタンまたは“Brake”（ブレーキ）ボタンを押してブレーキを解除します。
- 2141型ベッドのみ：患者から見てベッドの右側で、手動予備ブレーキペダルを外側に倒してからペダルの頭側を最後まで下に押します。緑色のDの文字がペダルの隣の土台に付いている透明ウィンドウに見えるはずですが、ZOOM®駆動輪は起動しています。青色のNの文字が透明ウィンドウに見えるまで、ペダルの中央を完全に押します。これでZOOM®駆動輪が解除されました。
- サイドレールが上がり、最高位置にロックされ、スムーズに下げられることを確認します。
- フットボードの各コントロールに一通り目を通します。
- スケールシステムと離床検知システムが正しく作動しているかどうか確認してください。
- 頭側サイドレールのコントロールパネル内側および外側両方の各コントロールに一通り目を通します。ベッドがオプションのペンダント型通信装置を装備している場合は、同梱のケーブルをベッド頭部側に位置する37ピンコネクターと適切な壁コンセントに差し込みます。
- ベッドを完全に上昇させ、トレンデレンブルグ機能を起動します。ベッド頭側が最低位置まで完全に下がっていることを確認してください。22ページの ナース用コントロールの図を参照してください。ベッドリフトシステム・コントロールを使用してベッドを水平にします。
- ベッドを完全に上昇させ、逆トレンデレンブルグ機能を起動します。ベッド足側が最低位置まで完全に下がっていることを確認してください。22ページの ナース用コントロールの図を参照してください。ベッドリフトシステム・コントロールを使用してベッドを水平にします。
- 心肺蘇生用緊急リリースの機能を確認します。背もたれを上昇させてから、基部の頭側でベッドの両側についている心肺蘇生用ペダルを押します。ペダルを放すまで、背もたれが水平ポジションの方向に下がります。
- 背もたれが完全に下がったとき、膝ボトム（上がっている場合）も平坦になり始めることを確認します。背もたれが完全に下りた後、約30秒間（背もたれをコントロールするモーターのリセットに要する時間）待ってから、背もたれを起こすコントロールを使って背もたれを完全に起こして見てモーターが実際にリセットしたことを確認します。
- 次のオプション機器が正しく作動することを確認します：120V補助コンセント、常夜灯、緊急クランク操作など。

[目次に戻る](#)

設定手順

オプションのXPRT療法マットレス

ご使用のベッドにXPRT療法マットレスオプションが装備されている場合は、以下の設定手順を行ってマットレスを据え付けます。設定手順の図解はXPRT療法マットレスの操作マニュアルを参照してください。

1. 印刷されたロゴがベッドの頭側にくるようにして、マットレスをベッドボトムの上に置きます。
2. マットレスの足ボトム部分を折り返します。
3. ベッドボトムの足側にフットボックスをおきます。
4. フットボックスのカラーコードされた2個のコネクターを、それに対応するマットレスのカラーコードされたコネクターに接続します。フットボックスの黒色のコネクターをケーブルアダプター (2950-001-180) に接続し、それからベッドフレームに接続します。
5. 固定輪を時計回りに回して確実に接続します。
6. 黒色のコネクターの他方の端をベッド (付属品用コンセントの裏側で足側ボトムの左側) に接続します。
7. マットレスからきている空気ホースをフットボックスの対応する取付具に接続します。
8. 2個の保持クリップをフットボックスの2個のD型リングに取り付けます。
9. マットレスの足部ボトムを下げてフットボックスに被せます。マットレス固定ひもを使ってマットレスをベッドフレームに取り付けます。
10. フラットシーツ用のD型リングを活用してシーツを掛けます。
11. シーツをマットレスに固定するには、四隅をマットレスにつけたD型リングに通します。
12. 適切な治療が行えるよう、シーツはピンと張らないでください。シーツはマットレス表面でゆったりと皺が寄った状態に保ちます。
13. マットレスの電源コードを正しく接地した医療器具用コンセントに差し込みます。

注記

InTouch™ベッドは、マットレスが電源に差し込んであるかどうか、およびマットレスのタイプを検出します。これはInTouch™画面に表示されます。

警告

- 電源コードをマットレスとベッドフレームの間に通さないでください。
- 電源コードをベッドフレームの可動部品に取り付け不要でください。
- ベッド延長器を使用している場合に電源コードが挟まれて感電する恐れがあります。

オプションのPositionPRO™患者体位変換マットレス

ご使用のベッドにPositionPRO™患者体位変換マットレスオプションが装備されている場合は、以下の設定手順を行ってマットレスを据え付けます。設定手順の図解はPositionPRO™マットレス操作マニュアルを参照してください。

1. マットレスをベッドの上に置きます。
2. 足部ボトムを頭側に向けて折ります。
3. コントロールボックス (上下逆) を足部ボトムの開口部に入れます。
4. カラーコードを合致させながら、外側の透明チューブを連結管に接続します。
5. 傾きセンサーケーブルを接続します。
 - a. 白い点同士を合わせます。
 - b. 時計回りに回して締めます。
6. ペンダントケーブルを接続します。
7. 電源コード1.2 mを接続しスイッチをオンにします。**注記:** スイッチは電源コードの下に隠れています。
8. 電源コードの上にベルトを締めます。
9. 電源コードを2個の保持クリップに装着します。
10. 3個の保持ストラップを留めます。
11. 注意しながら足側のコントロールボックスを回し、マットレスを回して水平ポジションにします。

設定手順

オプションのPosition PRO™患者体位変換マットレス (続き)

注意

コントロールボックスを損傷しないように、そっと足ボトムを下げます。

12. 保持ストラップを留めてマットレスをベッドフレームに固定します (ストラップは合計4個)。
13. 電源コードをベッドの110Vコンセントに接続します。

シーツの掛け方

1. フラットシーツ用のD型リングを活用してシーツを掛けます。
2. “Turn Assist” (寝返り補助) を有効に活用するために、シーツはピンと張らないでください。シーツはマットレス表面でゆったりと皺が寄った状態に保ちます。

警告

心肺蘇生用ストラップに常にアクセスできることを確認します。

オプションのZOOM®駆動システム (2141型のみ)

お使いのベッドが オプションのZOOM®駆動システムの場合、前記の設定手順を実施し、以下に記す手順を引き続いて行ってください。

- 電池電源スイッチを“ON” (オン) の位置に、駆動輪をニュートラル位置 (床に接触していない) にして、頭側コントロールパネルの“Engage Drive Wheel” (駆動輪を起動) LED が点灯することを確認します。
- 駆動輪の操作 ([58ページ参照](#)) に一通り目を通し、正しく動作していることを確認します。
- ベッドの両側で、手動予備ブレーキ ペダルを外側に向けて倒し、ペダルの頭側に完全に押します。緑色のDの文字がペダルの隣の土台に付いている透明ウィンドウに見えるはずですが、これでZOOM®駆動 (2141型のみ) が起動されました。青色のNの文字が透明ウィンドウに見えるまで、ペダルの中央を完全に押します。これでZOOM®駆動が解除されました。

操作モード各種

ベッドの電力供給

ベッドの電源スイッチを切ったときや停電時には、ロックアウトコントロールの設定と、スケールおよび離床検知（オプション）システムの較正データは保存されます。

注記

このベッドは、ベッドが壁コンセントに接続している間、自動的に充電される電池が付いています。“Battery Low”（電池消耗）ライトが点灯しているときは、電池が確実に充電されるようにベッドを接続する必要があります。また、電池切断スイッチが入っているかを確認します。

警告

感電の危険性 - 電源コードを正しく取り扱わないと、電源コードの損傷および感電の危険性があります。電源コードが損傷してしまった場合は、ベッドの使用を直ちに中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。これを怠ると重大な人身事故や死亡事故に至ることがあります。

電池による操作モード

制御基盤への電力供給が途絶えると、電池モードが開始されます。電池モードでの操作中、システムは自動的に以下のモードに入ります：

スリープモード： 電力供給が途絶えた結果、およびコントロールパネルから5分間何の活動も検知されないとき、このモードが起動します。また、ベッドが直流電源で動作中に1時間何の活動もなければ、タッチスクリーンがオフになりスリープモードが起動します。

デッドモード前アラームモード： システムがスリープモードにある間、離床検知が起動されており、ベッドのコントロールパネルに関して4時間何の活動もない場合、あるいは電池が消耗している場合、デッドモード前アラームモードが起動します。

デッドモード： ベッドがスリープモードにある間、離床検知が起動されておらず、ベッドのコントロールパネルに1時間何のアクションもない場合、あるいは電池が消耗している場合、デッドモードが起動します。システムがデッドモード前アラームモードにある間、電源スイッチがオンに戻らずコントロールパネルの活動がない場合に、15分間経過後にこのモードが起動します。

ノーマルモード： このモードは以下の条件のとき起動します：
1. 電源スイッチがオンにされるか、コントロールパネルに何らかの活動が検知された場合。
2. タッチスクリーンがもはや較正状態にないとき。

パワーアップモード： 電力供給が再開する（すなわちベッドが壁コンセントに差し込まれるか、停電が終わると、電池が切れて充電が必要な場合は、システムはデッドモードを終了しパワーアップモードに移行します。システムは次に初期化モードに移行し、ノーマルモードに戻ります。

注記

両方の電池のフル充電に必要な時間は約8時間です。

土台の操作ガイド

ブレーキ / ドライブ / ニュートラルの操作

ベッドのブレーキシステムは、電子モードまたは手動モードで使用できます。

電子モード

- システムの1つを**起動**させるには：フットボードおよびヘッドサイドレールにある“Brake”（ブレーキ）、“Drive”（ドライブ）または“Neutral”（ニュートラル） ボタンを押します。
- ブレーキを**解除**するには：次のボタンのどれか1つを押します：“Brake”（ブレーキ）、“Neutral”（ニュートラル）、“Drive”（ドライブ）。
- ニュートラルとドライブを**解除**するには：選択されていない2つのボタンのうち1つを押します。

これらのシステムは、ペダルを使って解除することも可能です。 これを行うには、使用していないシステムの位置にペダルを倒します。

手動モード

- ブレーキ、ドライブまたはニュートラルの各システムを**起動**するには：土台の側面にあるペダルを希望するシステムの位置に倒します。
- これらのシステムを**解除**するには：使用していないシステムの位置にペダルを倒します。 電子モードを使用してシステムを解除することも可能です。

警告

- 患者がベッドに乗っているとき（搬送時以外）、またはベッドへの乗り降り中は、必ずブレーキをかけてください。 患者が乗り降りしている間にベッドが移動すると、重大な人身事故に至ることがあります。 ブレーキペダルを手動で起動し終わったら、ベッドを押してみてもブレーキがしっかり掛かっていることを確認してください。
- 患者が乗っているときにベッドを移動させるときは、人身事故のリスクを減らすため、サイドレールが完全に上がりロックされた状態で、仰臥面が水平で最低位置にあることを確認します。 患者および/または使用者への人身事故を防ぐため、ドライブモード起動中にベッドを横方向に動かそうとしないでください。 駆動輪は旋回できません。

ベッドボトム (床板) の操作ガイド

心肺蘇生用緊急リリース

患者に迅速にアクセスする必要があり、背もたれ、膝ボトム、または足ボトムが上がっているときは、心肺蘇生用ペダルを押してベッドを0°位置にすることができます。背もたれ、膝ボトム、足ボトムは自動的に水平になります。

警告

心肺蘇生用ペダルの使用は緊急時に限ります。心肺蘇生用ペダルを起動するときは、ベッドの頭部、脚部、足部の下と周囲には人もおらず機器も置いていない状態で行わないと、重大な人身事故や装置の損傷が起こる可能性があります。

停電時の背もたれの下げ方

停電時に予備電池が切れている場合は、心肺蘇生用ペダルを使用して背もたれを途中まで、あるいは最後まで下げることができます。希望の角度に達するまで心肺蘇生用ペダルを押すだけです。

FOLEYカテーテルバッグ用フック

Foleyカテーテルバッグ用フックが4個、ベッドフレームの両側の足ボトムおよび座ボトムの下にあります。2個は中央にあり隔離されています。

注記

背もたれが起動しているとFoleyカテーテルバッグ用フックが移動します。これらのフックを使用するときは、フックの不慮の移動を予防するため、背もたれの動きをロックする必要があります。

患者固定用ベルトの位置

このベッドには、患者固定用ベルトの取付位置がマットレスサポート上に12カ所あります。そのうち10カ所はマットレスサポートの両縁に直接向い合っており、残りの2カ所は頭部ボトムの上端にあります。

警告

固定用ベルトの調節が不適切であると、患者に対する重大な人身事故の可能性あります。固定用ベルトの正しい使い方及びその位置は、**担当の医療従事者の責任**において決めてください。**Strykerは弊社の製品の固定用ベルトの種類および/または使い方についての責任を負いません。**

注意

Velcroテープは使用後そのつど洗浄してください。Velcroテープに消毒剤を染み込ませ、消毒剤を自然に蒸発させます。(ナイロン製Velcroテープに適切な消毒剤は各病院で決めてください。)

常夜灯の使用

ベッド周囲の床を照明するオプションの常夜灯が付いているベッドもあります。室内灯を暗くすると常夜灯が点灯します。

ベッドボトム（床板）の操作ガイド

ナースコールの使用

ナースコールの機能により、患者は患者用コントロールのナースコールボタンを押すだけで、スピーカーフォンでナースステーションと連絡をとることができます。スピーカーフォンは頭側サイドレールの内側に付いています。

患者とナースステーションの交信は、看護スタッフの1人がその呼出信号に応答した瞬間に成立します。

注記

停電後や、ベッドの電源が切れたりナースコール交信ケーブルが外れたりしてナースステーションとベッドの間の連絡が中断された場合には、ナースコールシステムが自動的に呼出信号をナースステーションに送ります。

補助電源コンセントの使用

補助電源コンセントにより、看護スタッフは周辺機器への電源が得られて便利です。このコンセントはベッドの足側の左側に付いています。このコンセントには5Aのブレーカーが内蔵されています。

警告

補助電源コンセント（オプション）には、使用電流が5A以下の医用電子機器のみ使用してください。一般の電子機器を使用すると、漏電が院内の機器として許容できないレベルに達することがあります。

ヘッドボードおよびフットボードの操作

ヘッドボードおよびフットボードの両方共、簡単に取り外したり交換したりすることができます。ヘッドボードを取り外すと、患者の頭部に容易にアクセスできるようになります。

ボードの取り外し方

1. ボードの両端をつかんで持ち上げます。

ボードの取り付け方

1. ヘッドボード：ボード支柱を取付用ソケット内に挿入し、押し込んで固定します。
2. フットボード：ボードコネクタが足側枠組に正しくはまることを確かめながら、取付用ソケットにボードをゆっくと挿入します。

注記

フットボードを取り外す必要があり、かつベッドの電動機能にサイドレールを介してアクセスできるよう維持するには、フットボードを取り外す前にロックアウトされている機能をすべて解除してサイドレールのコントロールを操作可能な状態にしておきます。

ベッドボトム (床板) の操作ガイド

サイドレールの位置設定

ベッドのサイドレールは片手だけで下げることができるように設計されています。 サイドレールは上げた位置でのみロックできます。

警告

- 患者に誰も付き添っていないときは、病状により別の体位が要求されない限り、サイドレールは完全に上げた状態に保ち、仰臥面は最低位置で水平に保ってください。 サイドレールを上げるときは、ロックされたことを知らせる「カチッ」という音が聞こえるのを確かめてください。 サイドレールをしっかりと引いて所定の位置にロックされていることを確認してください。
- パッド付きカバーの有無にかかわらず、サイドレールは患者がベッドから降りるのを防ぐ固定用具として使用するものではありません。 サイドレールは患者が誤ってベッドから転落するのを防ぐよう設計されています。 患者が安全にベッドに乗っていただけるようにするための固定がどの程度必要かは、担当の医療従事者の責任において決めてください。 サイドレールを正しく使わないと、患者に対する重大な人身事故の可能性があります。

サイドレールの下げ方 (図1.1)

- 片手で黄色のレバー (A) を持ち上げ、もう一方の手でそれを下に誘導します。 (下図参照)

サイドレールの上げ方 (図1.1)

- 完全に上がった位置にロックされるまでサイドレールを引っ張ります。ロックされたことを示す「カチッ」という音が聞こえます。 (下図参照)



(図1.1)

ベッドボトム（床板）の操作ガイド

ベッドの位置調節

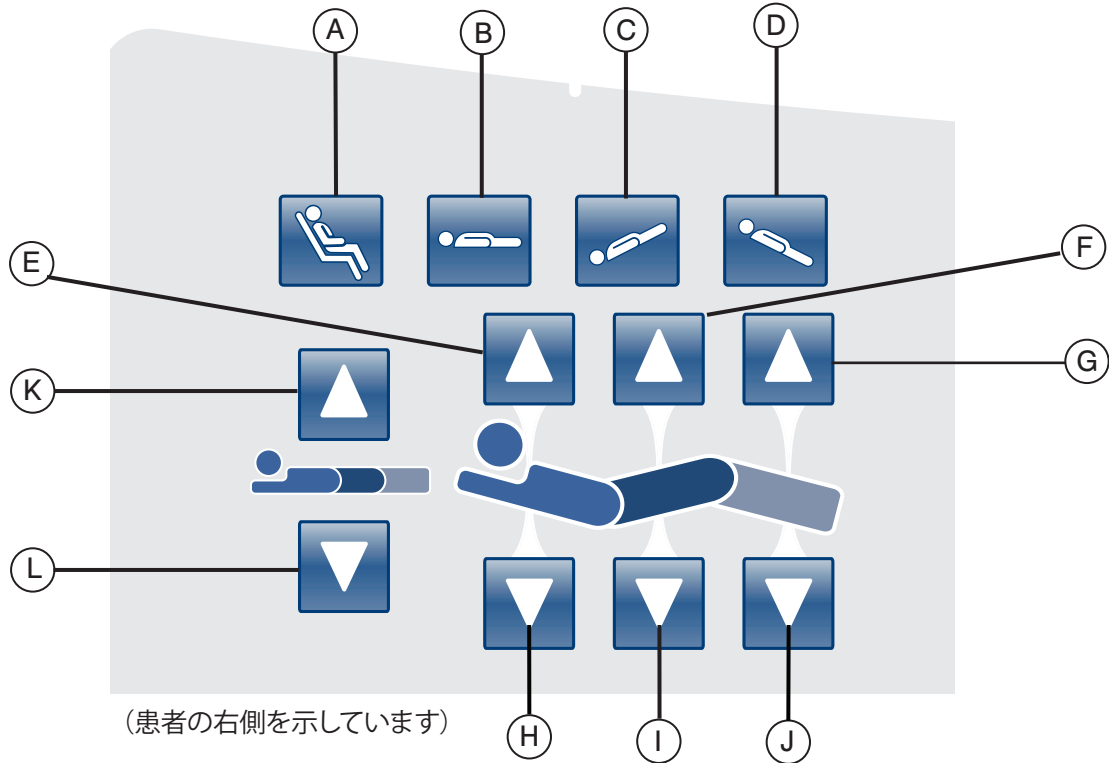
位置の調節には5段階あります。平面、標準座位、長座位、トレンデレンブルグ体位、および逆トレンデレンブルグ体位です。“Nurse Control”（ナース用コントロール）の該当するボタンを押すと、これらの位置に調節することができます。（[22ページ参照](#)）。

オプションのベッド延長器

このベッドはベッド延長器を使って伸張することができます。詳しくはメンテナンスマニュアルを参照してください。

サイドレールの操作ガイド

サイドレールモーションコントロールパネル、ナース用コントロール



	ボタン	名称	機能
ベッドポジション	A	椅子座位ポジション	このボタンを押して、ベッドを座位または拡張椅子座位ポジションに調節します。
	B	水平ポジション	このボタンを押して、ベッドを水平ポジションに調節します。
	C	トレンデレンブルグ位	このボタンを押して、ベッドをトレンデレンブルグポジションに調節します。
	D	逆トレンデレンブルグ位	このボタンを押して、ベッドを逆トレンデレンブルグポジションに調節します。
背もたれ、膝ボトム および足ボトム	E	背もたれアップ	このボタンを押して、ベッドの背もたれを希望の角度まで上げます。
	F	膝ボトムアップ	このボタンを押してベッドの膝ボトムを希望の角度まで上げます。
	G	足ボトムアップ	このボタンを押してベッドの足ボトムを希望の角度まで上げます。
	H	背もたれダウン	このボタンを押して、ベッドの背もたれを希望の角度まで下げます。
	I	膝ボトムダウン	このボタンを押してベッドの膝ボトムを希望の角度まで下げます。
	J	足ボトムダウン	このボタンを押してベッドの足ボトムを希望の角度まで下げます。
ベッド高さ	K	ベッド高さアップ	このボタンを押して、ベッドを希望する高さまで上げます。
	L	ベッド高さダウン	このボタンを押して、ベッドを希望する高さまで下げます。

サイドレールの操作ガイド

ベッド位置調節の概要

注記

付属品を取り付けるとベッドの動きに影響を与えます。

Flat (0°) (水平)

水平ベッドポジションを起動するには、ナース用コントロールに付いている水平ベッドポジションボタンを押します。これで背もたれ、足ボトム、膝ボトムが水平位置になります。ベッドがトレンドレンブルグ位または逆トレンドレンブルグ位にあるときに水平ボタンを押すと、頭部ベッドリフトおよび足部ベッドリフトが動いて水平ベッドポジションとなるようにベッドが動き始めます。

注記

膝ボトム、頭部ボトム、足ボトムを同時に動かすことが可能です。

標準カルディアック椅子座位

カルディアック椅子座位ポジションを起動するには、ナース用コントロールに付いている椅子座位ボタンを押します。完全なカルディアック椅子座位に達するまでコントロールを押し続けます。背もたれと膝ボトムが直立ポジションまで同時に上がり、それからベッドが自動的に逆トレンドレンブルグ位になります。

拡張カルディアック椅子座位

拡張カルディアック椅子座位を起動するには、ナース用コントロールに付いている椅子座位ボタンを押します。完全なカルディアック椅子座位に達するまでコントロールを押し続けます。背もたれと膝ボトムが直立ポジションまで同時に上がり、それからベッドが自動的に逆トレンドレンブルグ位になります。

注記

椅子座位ポジション間の移行の間に1秒間の休止があります。

トレンドレンブルグ位

トレンドレンブルグポジションは、足部ボトムが高位置に設定されている状態でベッドの背もたれを低位置にします。このポジションは、ナース用コントロールのトレンドレンブルグボタンを希望の角度に達するまで押すことで達成できます。トレンドレンブルグ位の状態で、角度を変えずにベッドの高さを下げることができます。

逆トレンドレンブルグ位

逆トレンドレンブルグポジションは、ベッドの背もたれを高位置にし、足部ボトムを低位置にします。このポジションは、ナース用コントロールの逆トレンドレンブルグボタンを押すと達成できます。

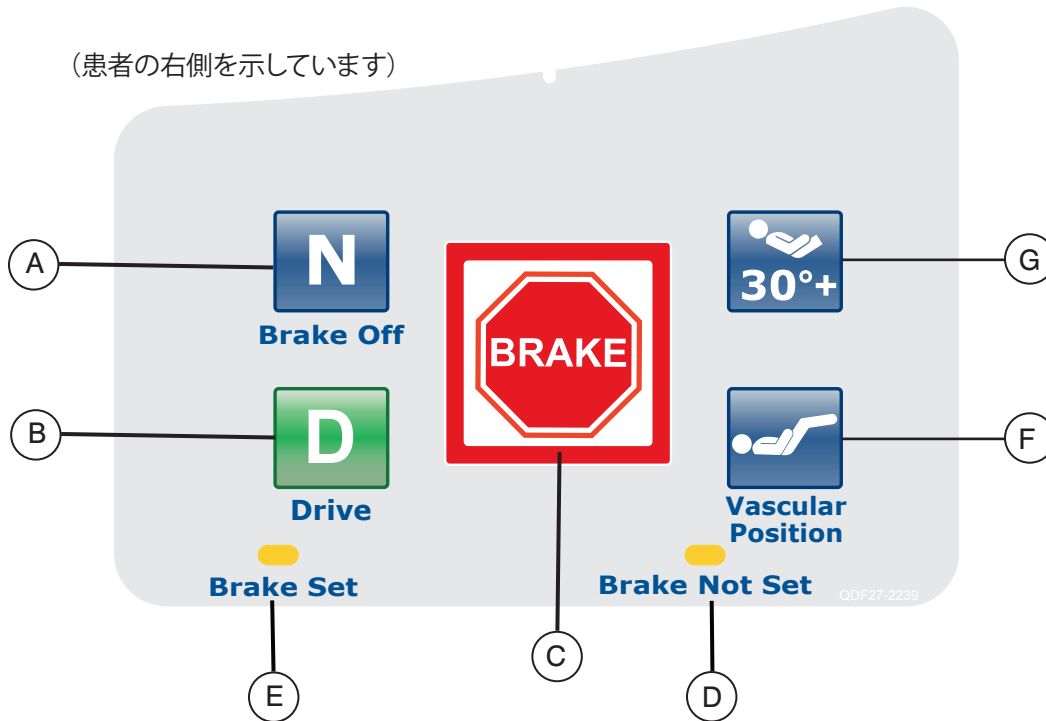
注記

- トレンドレンブルグおよび逆トレンドレンブルグ体位のときに可能な傾斜の最大角度は15度です。
- I.V.ポールが検知されると、ベッドの足部ボトムはもはや動かすことはできません。
- トレンドレンブルグおよび逆トレンドレンブルグポジションに調節するには、ベッドと床の間に最低50.8 cmが必要です。
- 1つまたは複数のロックが起動しているときには、これらのポジションには調節できません。

サイドレールの操作ガイド

サイドレールブレーキ/モーションコントロールパネル、ナース用コントロール

(患者の右側を示しています)



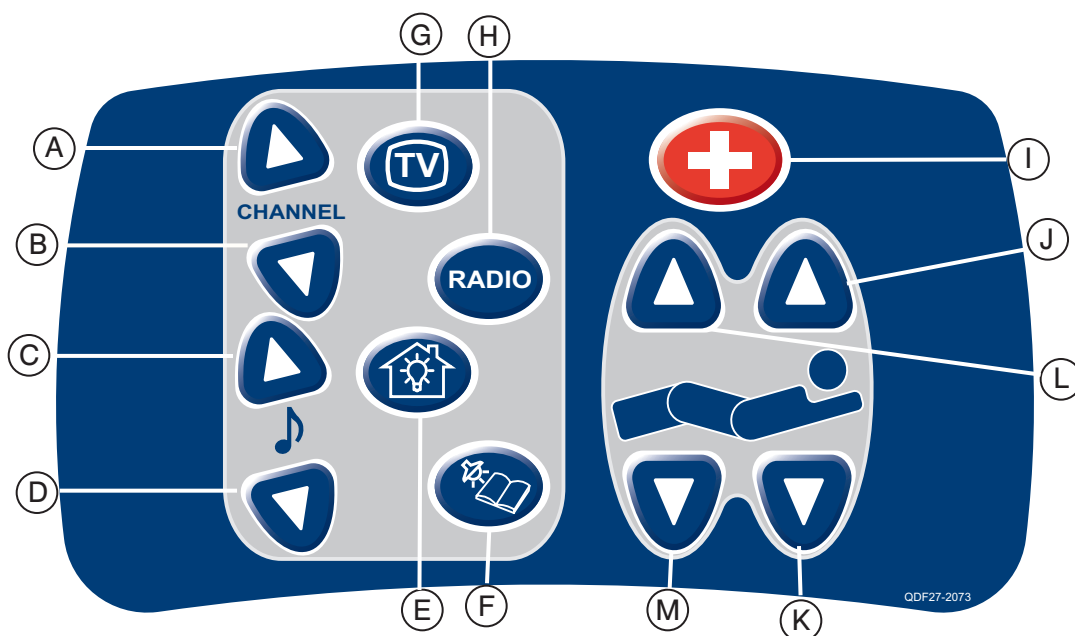
	ボタン	名称	機能
ベッドモーション	A	Brake Off (ブレーキオフ) 起動/インジケータ	このボタンを押してブレーキオフモードを起動させます。このモードを起動するとこのボタンが点灯し、インジケータとなります。
	B	ステアリング起動/インジケータ	このボタンを押してステアリングモードを起動させます。このモードを起動するとこのボタンが点灯し、インジケータとなります。
	C	Brake (ブレーキ) 起動/インジケータ	このボタンを押してブレーキモードの起動や解除を行います。このモードを起動するとこのボタンが点灯し、インジケータとなります。
インジケータ	D	Brake Not Set (ブレーキ未設定)	ブレーキシステムが起動していないときにこのLEDが点灯します。
	E	Brake Set (ブレーキ設定)	ブレーキシステムが起動したとき、このLEDが点灯します。
ベッドポジション	F	Vascular Position (バスキュラーポジション)	このボタンを押して、ベッドをバスキュラーポジションにした治療を開始します。
	G	HOB (ベッド頭部) 30度ポジション	このボタンを押して、HOB 30度ポジションにおける治療を開始します。

注記

ブレーキは手動でかけることも可能です。詳細は[17ページ](#)を参照してください。

オプションのペンダント操作ガイド

オプションのペンダント型コントロール



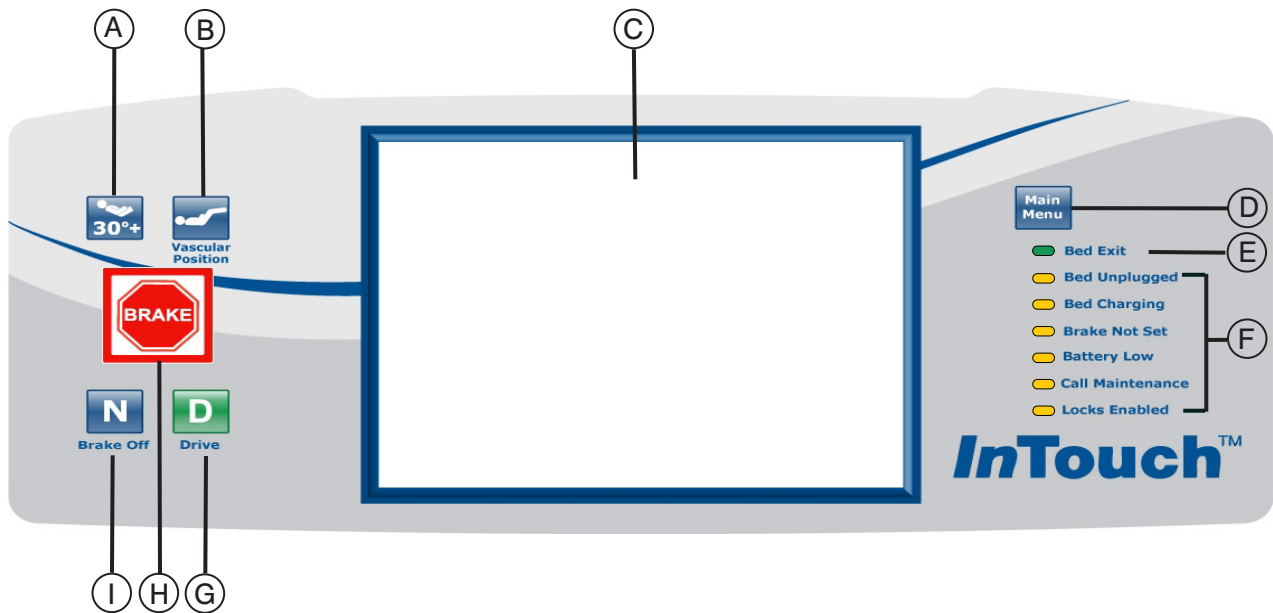
(ペンダントの全オプションが示されています)


	ボタン	名称	機能
インターアクティブコントロールパネル	A	Channel (チャンネル) アップ	このボタンを押してチャンネルの数字を上げます。
	B	Channel (チャンネル) ダウン	このボタンを押してチャンネルの数字を下げます。
	C	音楽ボリュームアップ	このボタンを押して音楽のボリュームを上げます。
	D	音楽ボリュームダウン	このボタンを押して音楽のボリュームを下げます。
	E	室内灯	このボタンを押して室内灯を点けたり消したりします。
	F	読書灯	このボタンを押して読書灯を点けたり消したりします。
	G	TV (テレビ)	このボタンを押してテレビを点けたり消したりします。
	H	Radio (ラジオ)	このボタンを押してラジオを点けたり消したりします。
背もたれ及び膝ボトム	I	ナースコール	このボタンを押してナースステーションと連絡をとります。
	J	背もたれアップ	このボタンを押して、ベッドの背もたれ部分を希望の角度まで上げます。
	K	背もたれダウン	このボタンを押して、ベッドの背もたれ部分を希望の角度まで下げます。
	L	膝ボトムアップ	このボタンを押して、ベッドの膝ボトムを希望の角度まで上げます。
M	膝ボトムダウン	このボタンを押して、ベッドの膝ボトムを希望の角度まで下げます。	

[目次に戻る](#)

フットボード操作ガイド

コントロールパネル



	ボタン	名称	機能
HOB ポジション	A	HOB 30度起動	このボタンを押して、HOB 30度ポジションにおける治療を開始します。
	B	バスキュラー起動	このボタンを押して、ベッドをバスキュラーポジションにした治療を開始します。
ベッドインジケータ	C	タッチスクリーン式ディスプレイ	この画面は、ボタンを使用して選択した機能をすべて表示します。またエラーコード全種、アラーム、その他の必要な情報も表示します。
	D	メインメニュー	メインメニューへクイックリターン; 下を参照してください。 
	E	BedExit (離床検知) オン (起動) / オフ (解除) インジケータ	LED が点灯しているとBed Exit (離床) は起動中 (オン) です。LED が消えている時は、Bed Exit (離床) は解除中 (オフ) です。LED が点滅していると、アラーム状態です。
	F	システムメッセージインジケータ	これらのLEDは、ベッドの状態を示すか、またはメンテナンスが必要な場合に知らせます。(27ページの記述を参照。)
	G	ステアリング起動/インジケータ	このボタンを押してステアリングシステムを起動させます。システムが起動されるとこのボタンが点灯します。
	H	Brake (ブレーキ) 起動/インジケータ	このボタンを押してブレーキシステムの起動や解除を行います。システムが起動されるとこのボタンが点灯します。
	I	Brake Off (ブレーキオフ) 起動/インジケータ	このボタンを押してブレーキオフシステムを起動させます。システムが起動されるとこのボタンが点灯します。

フットボード操作ガイド

システムメッセージ・インジケータライト

- Bed Unplugged (ベッド電源未接続) :** このインジケータは、ベッドがもはや壁コンセントに接続されていないこと、電力が電池から供給されていることを示します。
- Bed Charging (ベッド充電中) :** このインジケータは、ベッドが電源コンセントに接続されていること、電池が自己充電中であることを示します。このLEDが点灯している限りベッドを電源から抜かないよう、強くお勧めします。
- Brake Not Set (ブレーキ未設定) :** このインジケータは、ブレーキがかかっていないこと、すなわち押したり引いたりするとベッドが移動しうることを示します。このLEDは、患者に付き添いなしでその場を離れる前にブレーキをかける必要があることを、担当者に思い出させるものと見ることもできます。
- Battery Low (電池消耗) :** このインジケータは、電池の電力が最低レベルのときに点灯します。このインジケータが点灯したときは、ベッドを壁コンセントに接続して電池を充電する必要があります。
- Call Maintenance (メンテナンス要請) :** このインジケータは、ベッドに修理が必要なこと、あるいは正しく機能するためにメンテナンスが必要なことを示します。ほとんどの場合、メンテナンス要請インジケータは、ベッドシステムの電気系統に問題があるときに点灯します。この場合、適切なメンテナンス担当者をお呼びください。
- Locks Enabled (ロックされている) :** このインジケータは、ベッドの一部 (患者用コントロールのみ) がロックされているか、完全ロックアウト (すべてのベッドコントロール) が起動していることを示します。ロックアウトメニューについては[48ページを参照](#)してください。

注記

- 完全ロックアウト機構は、コントロールパネルをサイドレール、フットボード、ペンダント、タッチスクリーン、ヘッドパネルから遮断します (ZOOM®オプションハンドルの中に位置しています)。
- ブレーキシステムは完全ロックアウト中でも起動できますが、完全ロックアウト中のいつ何時でも取り外すことはできません。
- 完全ロックアウトは、ナースコール (オプション)、スケールシステム (オプション)、離床検知 (オプション) の各機能には影響を与えません。
- 停電があった場合はロック機構のパラメーターが保存され、電力供給が戻ったとき、元の状態で再開します。

タッチスクリーン

ナースコールインターフェイスは、機能ボタンの1つを押すか、スクリーンそのものを押すことで起動できます。休止状態が2分間続き、LCDの強度は最大レベルの約10%まで低下します。

サブメニューが開いたまま使用しない状態が4分間続き、LCDは完全に切れます (4分=100%強度が2分間+10%強度が2分間)。o

メインメニュー：患者の情報

“Main”ボタンを押すと、図3.0が表示されます。以下の内容を設定することができます。

- 新しい患者：“New Patient”（新しい患者）ボタンを押すと、図3.1が表示され、患者の情報を入力できます。
- Configure Screen（設定画面）：“Configure Screen”（設定画面）を押すと図3.2が表示され、患者の追加情報を設定できます。
- Height（身長）：“Height”（身長）ボタンで患者の身長を入力します。
- Braden Scale（ブレーデンスケール）：“Braden Scale”（ブレーデンスケール）ボタンを押すと、直接ブレーデンスケールのメインメニューに行きます。
- 患者の覚書：Patient Note（患者の覚書）画面の右下にある鉛筆ツールアイコンを押すと、患者の覚書を必要に応じて入力できます。
- Unit/Room #（ユニット/部屋#）：Patient Information（患者の情報）画面の左下にある鉛筆ツールアイコンを押すと、患者のユニットおよび部屋番号を入力できます。

Patient Information stryker

Patient ID	ABC2054
New Patient Since	01-31-2007
Weight	185 lbs
Height	6 feet 1"
BMI	24.5
Braden Scale	11
Done:	Oct. 24, 2007 11:03 PM

New Patient **Configure Screen**

Main **Bed Controls** **Bed Exit** **Support Surfaces** **Options** **Bed**

Unit/Rm #: **Oct. 25, 2007 12:00 AM**

図3.0

メインメニュー（続き）

患者の情報、新しい患者

Patient Information（患者の情報）画面の“New Patient”（新しい患者）ボタンを押すと、図3.1が表示されます。鉛筆アイコンを押すとキーボード画面が現れるので新しい患者のIDを入力します。患者名を入力したら、キーボード画面の“OK”ボタンを押し、次にNew Patient（新しい患者）画面の“OK”を押します。新しい患者のIDが入ったPatient Information（患者の情報）画面が表示されます。

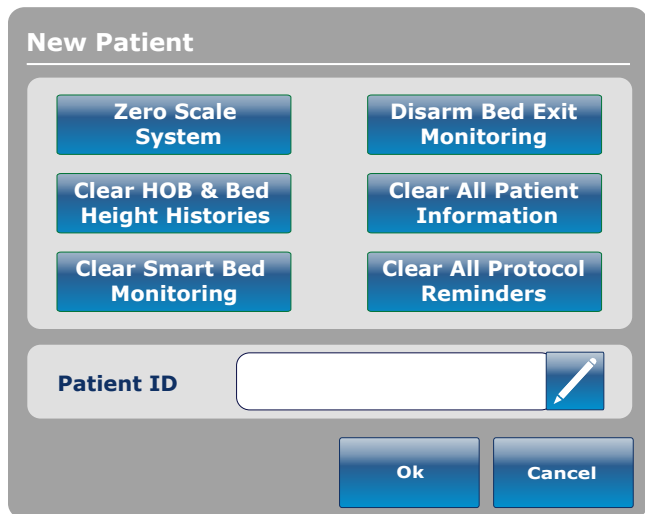


図3.1

患者の情報、設定

Patient Information（患者の情報）画面の“Configure Screen”（画面の設定）ボタンを押すと、図3.2が表示されます。この画面に患者の身長を手入力することができます。その他、患者のBMIを計算、患者のIDを表示、および前回のブレデンスケールの点数を表示します。

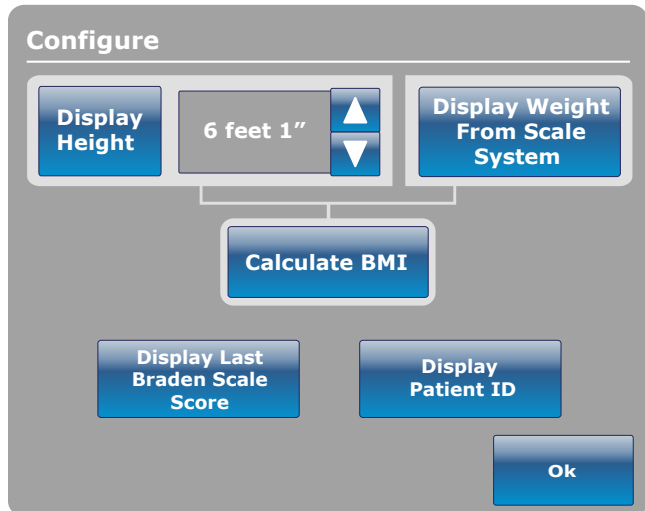
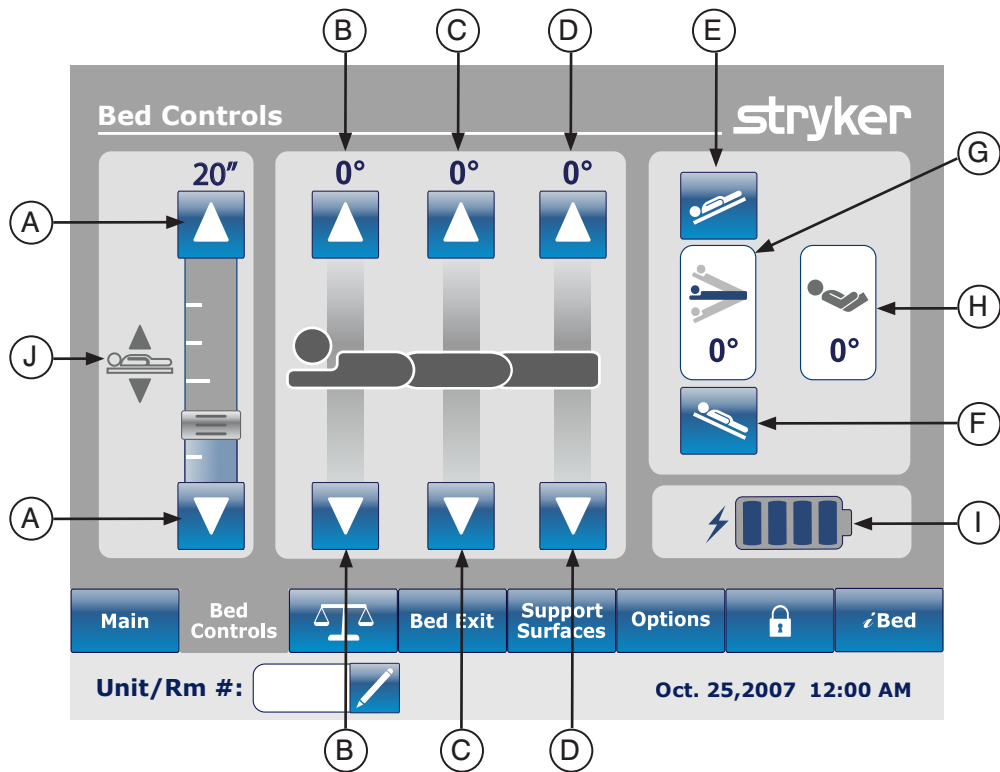


図3.2

フットボード操作ガイド

メインメニュー：BED CONTROLS (ベッドコントロール)



	ボタン	名称	機能
Bed Controls (ベッドコントロール)	A	ベッド高さ上/下	上矢印を押してベッドの高さを上げるか、下矢印を押して下げます。
	B	背もたれ上/下	上矢印を押して背もたれを希望の角度まで上げるか、下矢印を押して希望の角度まで下げます。
	C	膝ボトム上/下	上矢印を押して膝ボトムを希望の角度まで上げるか、下矢印を押して希望の角度まで下げます。
	D	足ボトム上/下	上矢印を押して足ボトムを希望の角度まで上げるか、下矢印を押して希望の角度まで下げます。
	E	トレンデレンブルグ位	このボタンを押してベッドを逆トレンデレンブルグ位 (頭が下/足が上) にします。
	F	逆トレンデレンブルグ位	このボタンを押してベッドをトレンデレンブルグ位 (頭が上/足が下) にします。
インジケータ	G	角度インジケータ	このインジケータはトレンデレンブルグ位または逆トレンデレンブルグ位の角度を示します。
	H	HOB Angle (ベッド頭部角度) インジケータ	このインジケータはHOBの角度を示します。
	I	電池電力インジケータ	このインジケータは電池の電力残量を示します。
	J	ベッド高インジケータ	このインジケータはベッドの実際の高さを示します。

注記

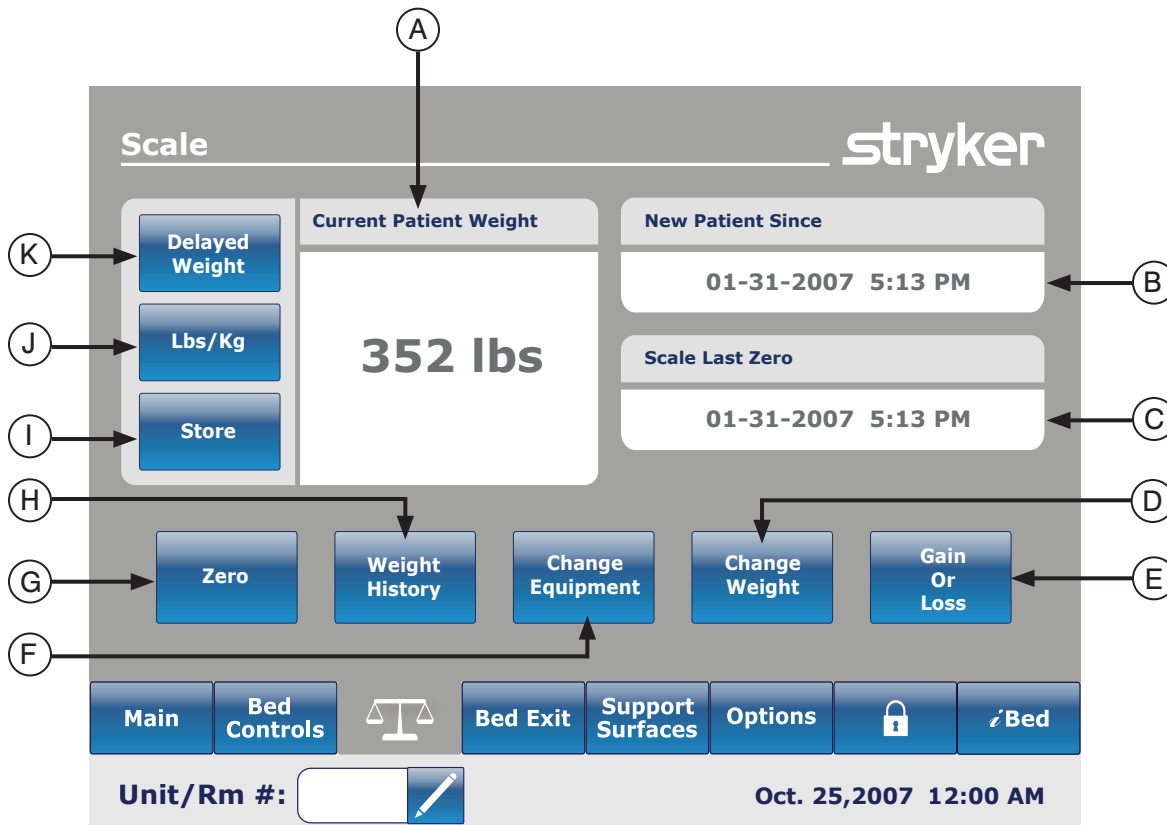
- ボタンを押すと灰色に変わります。
- ベッド高は、実際は床とベッドサポートマットレスの間の距離です。

[目次に戻る](#)



フットボード操作ガイド

メインメニュー：SCALE (スケール)



	ボタン	名称	機能
機能	A	患者の現在の体重	患者の現在の体重を示します。
	B	初診日	新しい患者の情報を提供します。
	C	最後のゼロ合わせ	スケールが最後にゼロ合わせを行った日付と時間についての情報を示します。
	D	Change Patient Weight (患者体重変更)	このボタンを押して患者の体重を変更します。
	E	Gain or Loss (体重増減)	このボタンを押して体重増減の測定を開始します。
	F	Change Equipment (機器の交換)	このボタンを押して、スケールの設定を乱さずにベッドの機器を交換します。
	G	Zero (ゼロ合わせ)	このボタンを押してスケール設定のゼロ合わせを行います。
	H	患者の体重履歴	このボタンを押して患者の体重履歴にアクセスします。
	I	Store (保存)	このボタンを押して患者の体重を保存します。
	J	Lbs/Kg	このボタンを押して測定単位 (ポンドまたはキログラム) を選択します。
	K	Delayed Weight (体重測定遅延)	このボタンを押して体重測定遅延を開始します。これで使用者が付属品を追加したり外したりする時間がとれます。

[目次に戻る](#)



メインメニュー：SCALE (スケール) (続き)

Delayed Weight (体重測定遅延) ボタン

Delayed Weight (体重測定遅延) ボタンを押すと、図5.1が表示され、15秒のタイマーが始動します。

注記

遅延時間は15秒間です。

体重測定 (遅延) を行うには：

1. Delayed Weight (体重測定遅延) ボタンを押します。
2. 15秒のタイマーが始動します。
3. 15秒の間に、患者の体重計算に含まれてはならない医療機器や装置を取り除きます。これにはベッドの上または患者の上に乗っている物全てが含まれます (ホースなど)。
4. 10秒後に、ビープ音が鳴ります。
5. 次の5秒間で、ベッドはベッドの上に横たわっている患者の体重を計算します。ステップ3に記述されている機器はまだそのままにしておいてください。
6. 5秒を超過したら、次のビープ音になり、図5.2に示されるようなDelayed Weight (体重測定遅延) 画面が表示されます。ベッドは計算を終了したので、取り除いた機器をベッド上の元の位置に戻すことができます。

Lbs/Kg

図5.2に示される体重測定遅延画面下にある“Lb/Kg” (ポンド/キログラム) ボタンを押すと、体重測定遅延値をKgまたはLbのどちらかに変えることができます。



図5.1

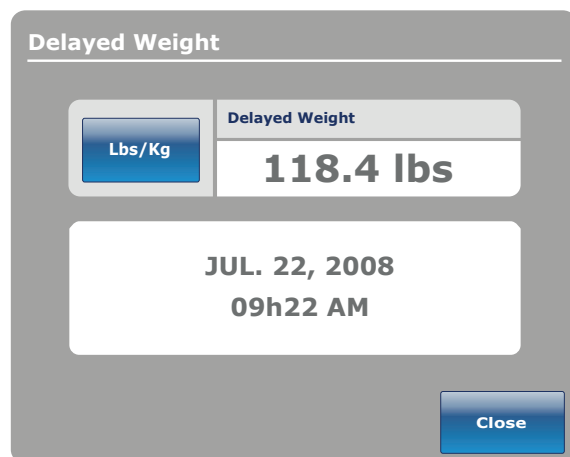


図5.2



メインメニュー：SCALE (スケール) (続き)

ゼロ合わせボタン

“Zero” (ゼロ合わせ) ボタンを押すと、図5.3が表示されます。

“OK”を押すと、図5.4に示されるように、ベッドはスケールのゼロ合わせを開始し、Do Not Touch Bed (ベッドに触れないでください) メッセージが表示されます。

“Cancel” (取り消し) を押すと、この指示は取り消されます。この段階でベッドが自動シャットオフに入ると、ゼロ合わせ要求は取り消されます。



図5.3

“Do Not Touch Bed” (ベッドに触れないでください) というメッセージが消えると、図5.4が表示されます。

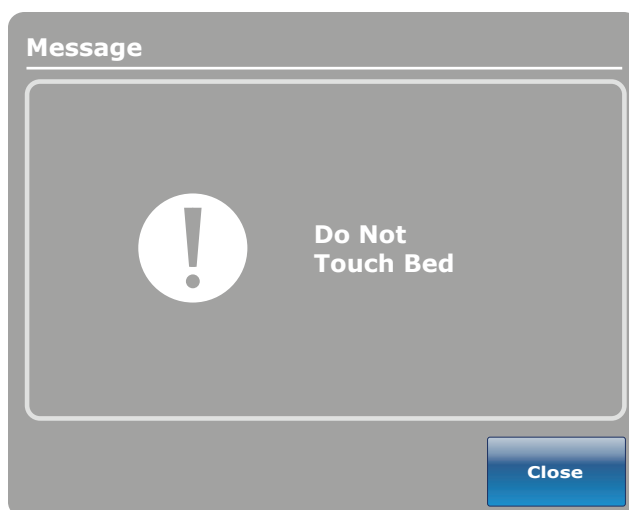


図5.4

スケールのゼロ合わせが完了すると、図5.5が表示されます。

注記

“Zero” (ゼロ合わせ) 機能は、患者体重の様々な数値を全部リセットします。タッチスクリーンに保存されていた患者の体重に関するデータはすべて失われます。

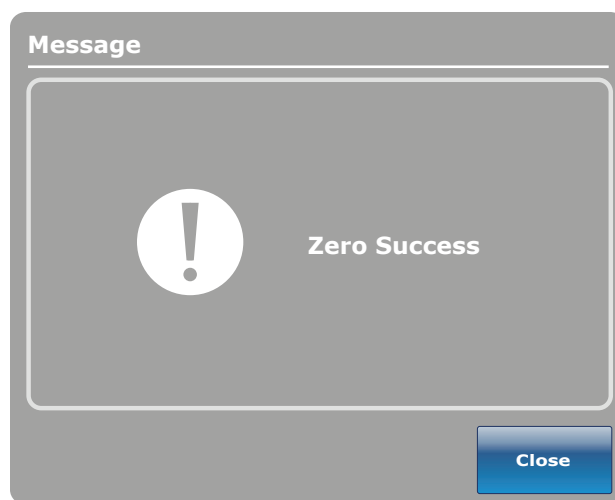


図5.5



メインメニュー：SCALE（スケール）（続き）

Weight History（体重履歴）ボタン

“Weight History”（体重履歴）ボタンを押すと、図5.6が表示されます。

各数値は体重を測定した時間および日付と、体重の測定値を示します。

カーソルを動かすと、両端の見えない数値を見ることができます。矢印は1回に数値1個分だけ上下できます。

“Lb/Kg”（ポンド/キログラム）で測定値の切り替えができます。

“Store”（保存）ボタンで、今測定したばかりの数値を保存することができます。

“Close”（閉じる）ボタンでスケールのメイン画面に戻ります。

図5.6のグラフに表示されている体重をどれか1押すと、図5.7が現れます。体重と、その体重を測定した時間および日付を表示します。

“Prev”（前）を押して前の体重に戻るか、“Next”（次）を押して次の体重に移るかを選択することができます。

注記

このシステムは最大50個までの入力項目をメモリーに保存できます。50回目の入力の後新しい数値を追加すると、「先入れ先出し」の原則に従って、一番初めの数値が消去されます。



図5.6



図5.7



メインメニュー：SCALE (スケール) (続き)

Change Equipment (機器交換) ボタン

“Change Equipment” (機器の変更) ボタンを押すと、図5.9が表示されます。

“Ok”を押すと、図5.10に示されるように“Do Not Touch Bed” (ベッドに触れないでください) というメッセージが現れます。

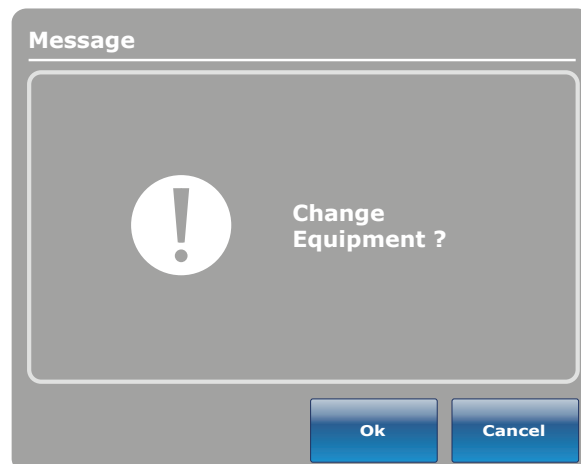


図5.9

“Do Not Touch Bed” (ベッドに触れないでください) というメッセージが消えると、図5.11に示されるように“Add/Remove equipment” (機器の追加/削除) 画面が現れます。ここで、必要に応じて機器の追加/除去することができます。終了したら“Enter” (入力) を押します。

機器の変更が無事に終了すると、図5.11.1に示されるように“Change Equipment Complete” (機器の変更が終了しました) というメッセージが現れます。

注記

タッチスクリーン各種メニューを使用しているときは、負の数値を得ることはできません。



図5.10

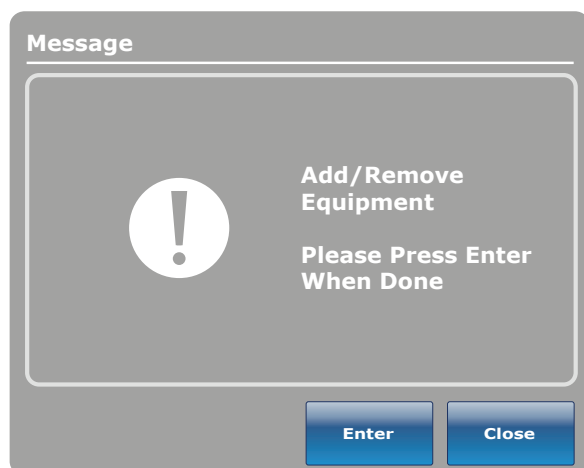


図5.11

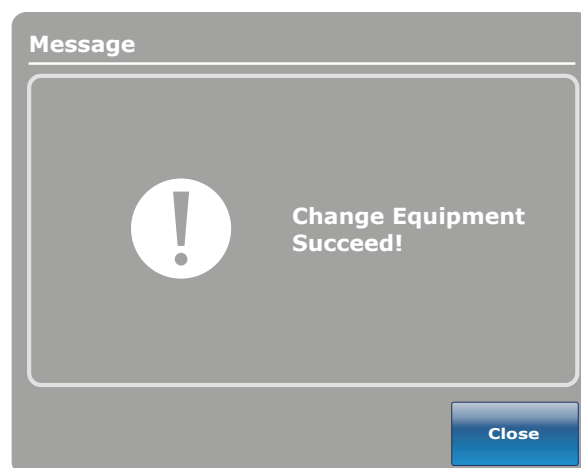


図5.11.1



メインメニュー：SCALE (スケール) (続き)

体重変更ボタン

“Change Patient Weight” (患者の体重を変更) ボタンを押すと、図5.12が表示されます。“Ok” を押すと患者の体重を変更できます。

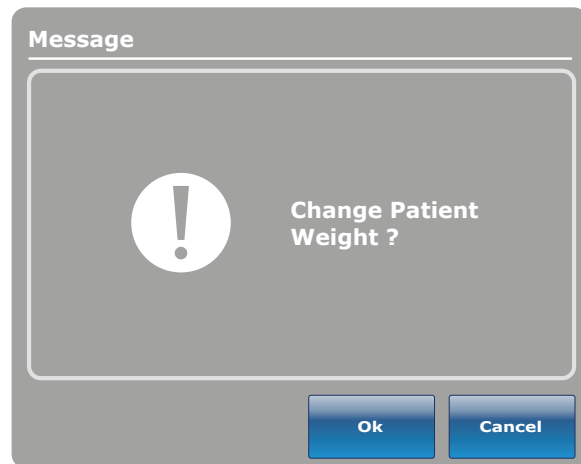


図5.12

“Ok”が押されていると、図5.13で示されるように “Do Not Touch Bed” (ベッドに触れないでください) というメッセージが表示されます。“Do Not Touch Bed” (ベッドに触れないでください) というメッセージが消えると、図5.14が表示されます。



図5.13

図5.14に示されている矢印の上下を押すと、体重が増減します。体重は0.1 kg (または0.1 lb) 刻みに増減します。矢印を軽く触れるより長く押した場合は、増加/減少が1 kgまたは1 lb刻みに切り替わります。新しい体重を保存するには“Ok”を押します。



図5.14



メインメニュー：SCALE (スケール) (続き)

体重増減ボタン

“Gain or Loss” (上昇または低下) ボタンを押すと、図5.15が表示されます。これは患者の最初の体重、現在の体重、そして増加量または減少量を表示します。

測定単位を切り替えるには、“Lb/Kg” (ポンド/キログラム) ボタンを押します。

ウィンドウを閉じるには、“Close” (閉じる) ボタンを押します。

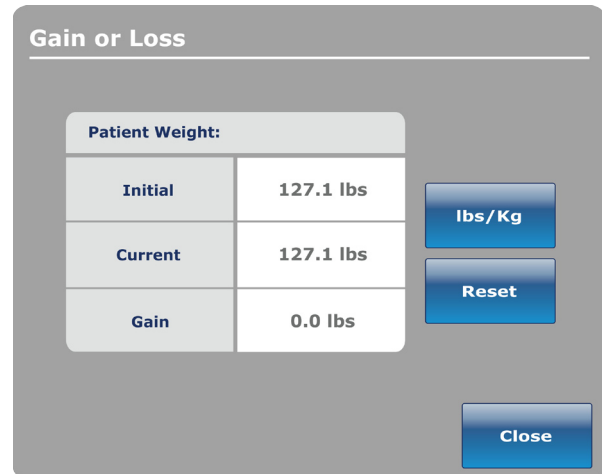


図5.15

Reset (リセット) ボタンを押すと、図5.16が表示されます。“OK”を押すと、“Do Not Touch Bed” (ベッドに触れないでください) というメッセージが表示されます。

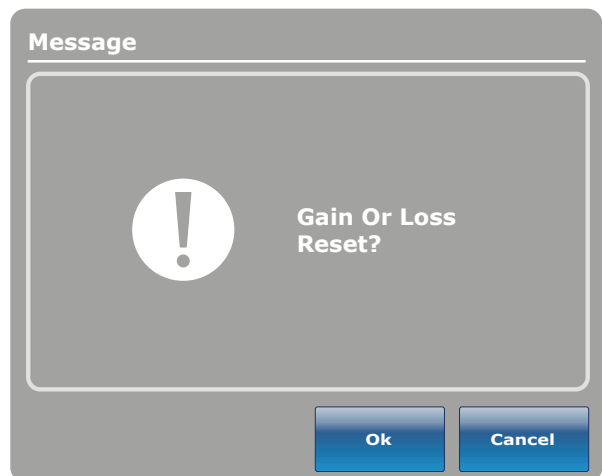


図5.16

“Do Not Touch Bed” (ベッドに触れないでください) というメッセージが消えると、図5.17に示すように“Gain or Loss Reset Success!” (上昇または低下がリセットされました) というメッセージが表示されます。

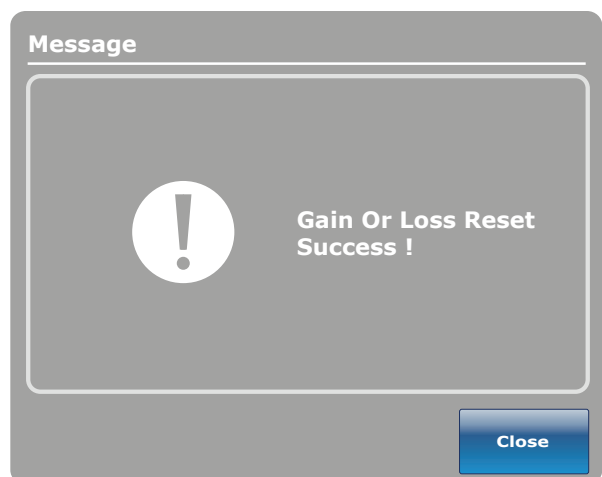
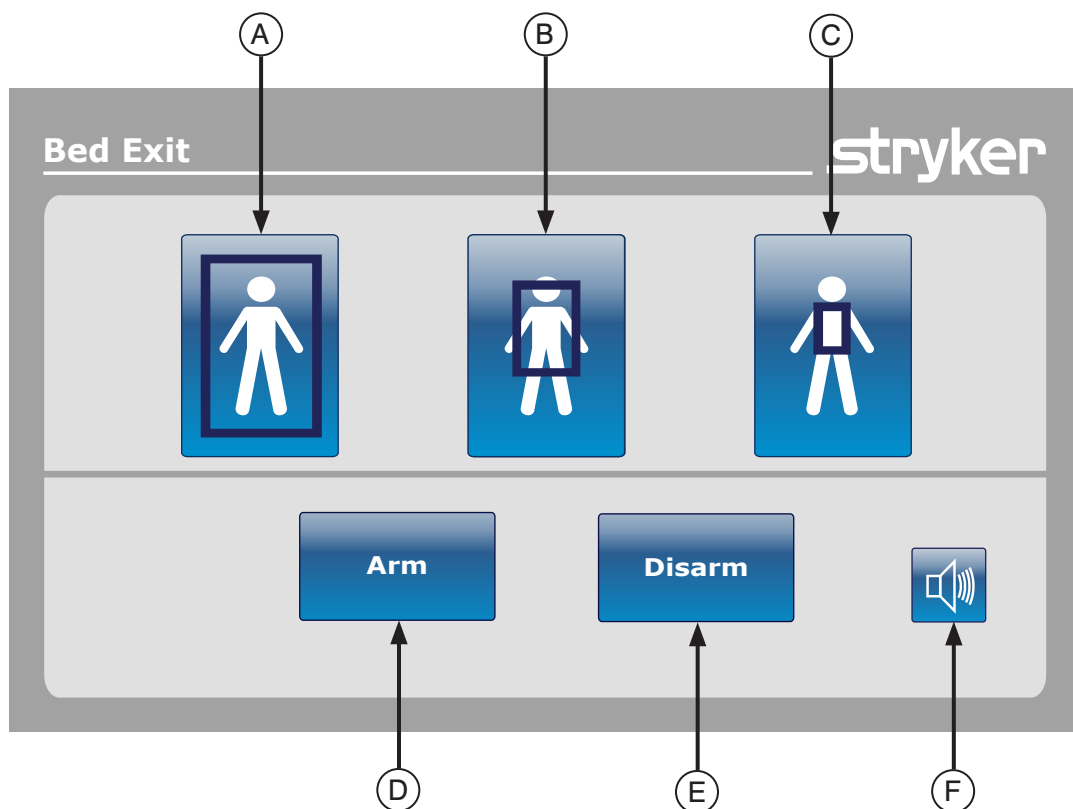


図5.17

メインメニュー：BED EXIT (離床検知)



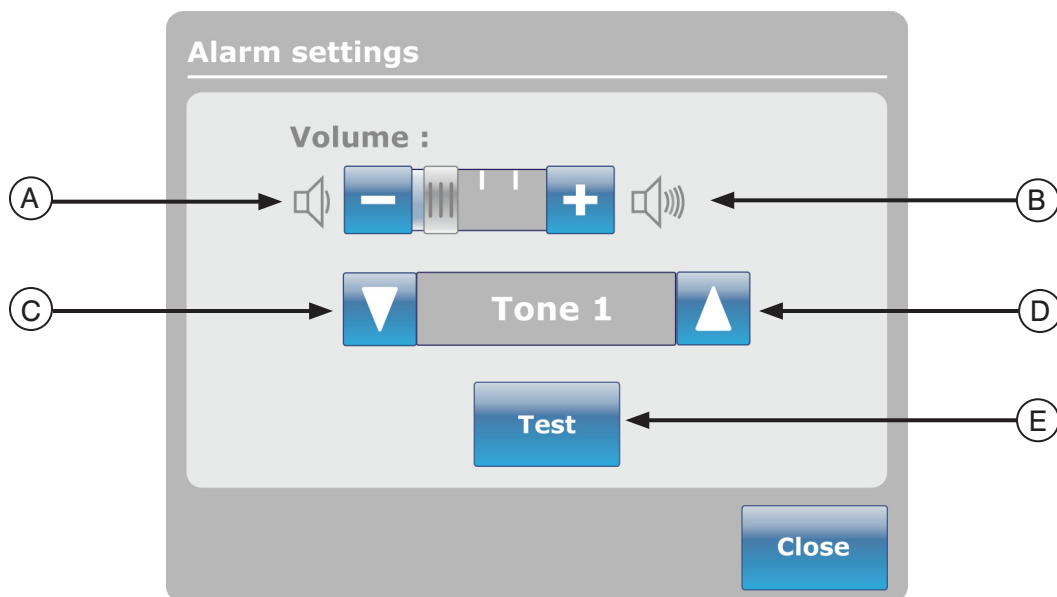
	ボタン	名称	機能
ゾーンの起動	A	通常離床検知範囲	このボタンを押して全範囲の検知を起動します。これはデフォルトのゾーンです。
	B	中範囲	このボタンを押して中範囲の検知を起動します。
	C	小範囲	このボタンを押して小範囲の検知を起動します。
Arm/ Disarm 起動/解除	D	Arm (起動)	このボタンを押して離床検知システムを起動します。
	E	Disarm (解除)	このボタンを押して離床検知システムを解除します。
	F	音量 (40ページを参照)	このボタンを押してアラームの音量メニューにアクセスします。

注記

- 離床検知システムを起動するには、**最低2.26 kg**が必要です。
- 離床検知のために設定したパラメーターは、停電中も維持され保存されます。電力供給が再開したとき、システムは自己再起動を行い停電前と同じ状態に戻ります。停電前に選択した範囲と、病院の壁のナースコール信号 (オプション) が起動します。
- 範囲の内1つが青色になっているのは、それが実際に起動している範囲であることを示します。
- 範囲の色が赤色に変わったときは、離床アラームが発せられていることを意味します。この場合、Event Manager (事象管理) ウィンドウが表示されます。

[目次に戻る](#)

メインメニュー：BED EXIT (離床検知) (続き)



“Volume” (音量) ボタンにより使用者は確認・催促アラームの音量を設定することができます。ユーザーはアラーム音を選択できます。

	ボタン	名称	機能
音量、音調	A	Volume Down (音量ダウン)	このボタンを押すと音量が下がります。
	B	Volume Up (音量アップ)	このボタンを押すと音量が上がります。
	C	Change Tone (音調を変更)	1~10の番号のついた、10種類の音調から選択できます。このボタンを押すと、設定されている番号より低い番号の音調に変更します。
	D	Change Tone (音調を変更)	このボタンを押すと、設定されている番号より高い番号の音調に変更します。
	E	Test Volume / Tone (音量/音調をテストする)	このボタンを押すと、現在の音量または音調の設定をテストします。音量または音調を現在の設定から変更した時、テストボタンを押すと新しい音調の設定または新しく調整された音量を聞くことができます。

メインメニュー： SUPPORT SURFACES (表面のサポート)

空気マットレスのオプション

InTouch™ベッドは、それがマットレスに接続しているかどうかを検知できます。さらにInTouch™は、それに接続している標準的な空気マットレスも検知できます。

Support Surface (表面のサポート) ボタンが押された状態でマットレスがInTouch™に接続されていないと、図7.0が表示されます。

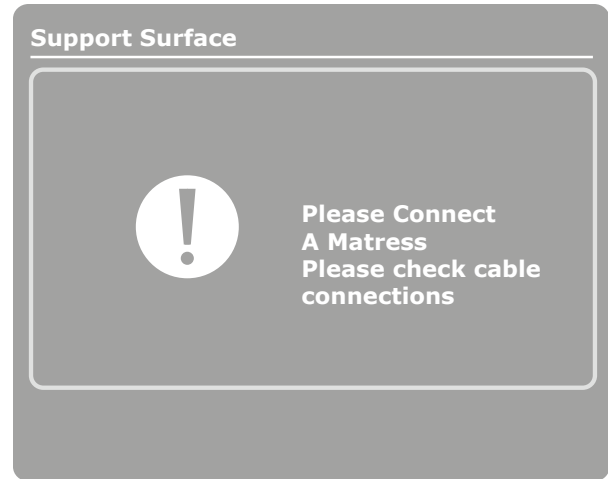


図7.0

XPRTマットレス仕様

XPRTマニュアルを参照してください。

InTouch™ XPRTマットレス一体型

サイドレールポジション

サイドレールの位置によりXPRTマットレスの機能が決定されます。**回転療法を例外として**、サイドレールがロックされていない場合は、Max Inflate (最大膨張)、Firmness (硬さ)、Turn Assist (寝返り支援)を含むすべての療法が機能します。回転療法中にサイドレールのロックが外されると、この療法は自動的に停止します。2つの療法が同時に行われ、その間サイドレールがロックされていない場合は、2つの療法は自動的に停止します。回転療法中にサイドレールの1つがロックされていない場合は(回転および振動が同時に行われている場合)、2つの療法は直ちに停止します。

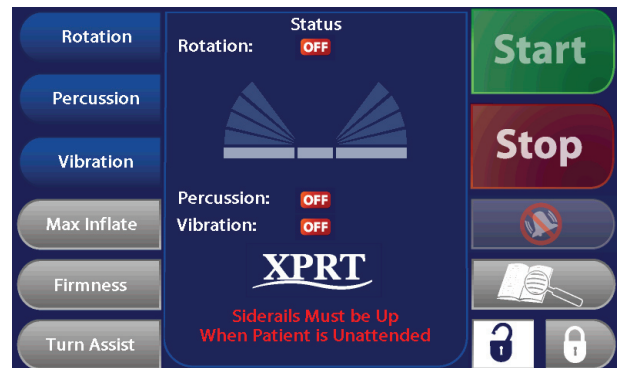


図7.1

メインメニュー： SUPPORT SURFACES (表面のサポート) (続き)

PositionPRO™マットレスの仕様

PositionPRO™マニュアルを参照してください。

InTouch™とPosition PRO™の間の相互作用

サイドレールポジション

サイドレールの位置によりPositionPRO™の機能性が決定されます。サイドレールがロックされていない場合は、Max Inflate (最大膨張)、Firmness (硬さ)、Turn Assist (寝返り支援) を含むすべての療法が機能します。回転療法中にサイドレールのロックが外されると、この療法は自動的に停止します。2つの療法が同時に行われ、その間サイドレールがロックされていない場合は、2つの療法は自動的に停止します。回転療法中にサイドレールの1つがロックされていない場合は (回転および振動が同時に行われている場合)、2つの療法は直ちに停止します。

InTouch™における具体的なPosition PRO™の機能

InTouch™のPositionPRO™メニュー画面のインジケータとPositionPRO™ペンダントのインジケータは少し異なりますが、同じ機能を使用できます。

InTouch™タッチスクリーンからPositionPRO™の寝返り支援の左または右を指示すると、寝返り支援メニュー画面が表示されます (図 7.3を参照)。

InTouch™がPositionPRO™のエラーを感知すると、Call Maintenance (メンテナンス要請) のLEDが点灯します (図7.3を参照)。

InTouch™ CPRペダルが起動しているとき、PositionPRO™は自動的に作動します。

PositionPRO™がInTouch™に接続されているとき、PositionPRO™はInTouch™の背もたれおよびトレンドレンプルグの傾きセンサーで背もたれの角度を感知します。



図7.3



図7.4

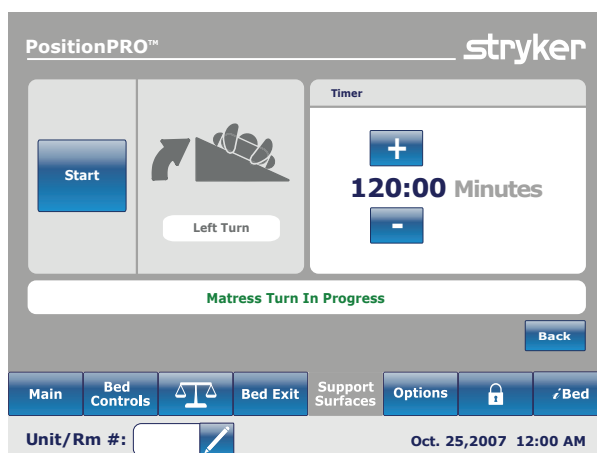
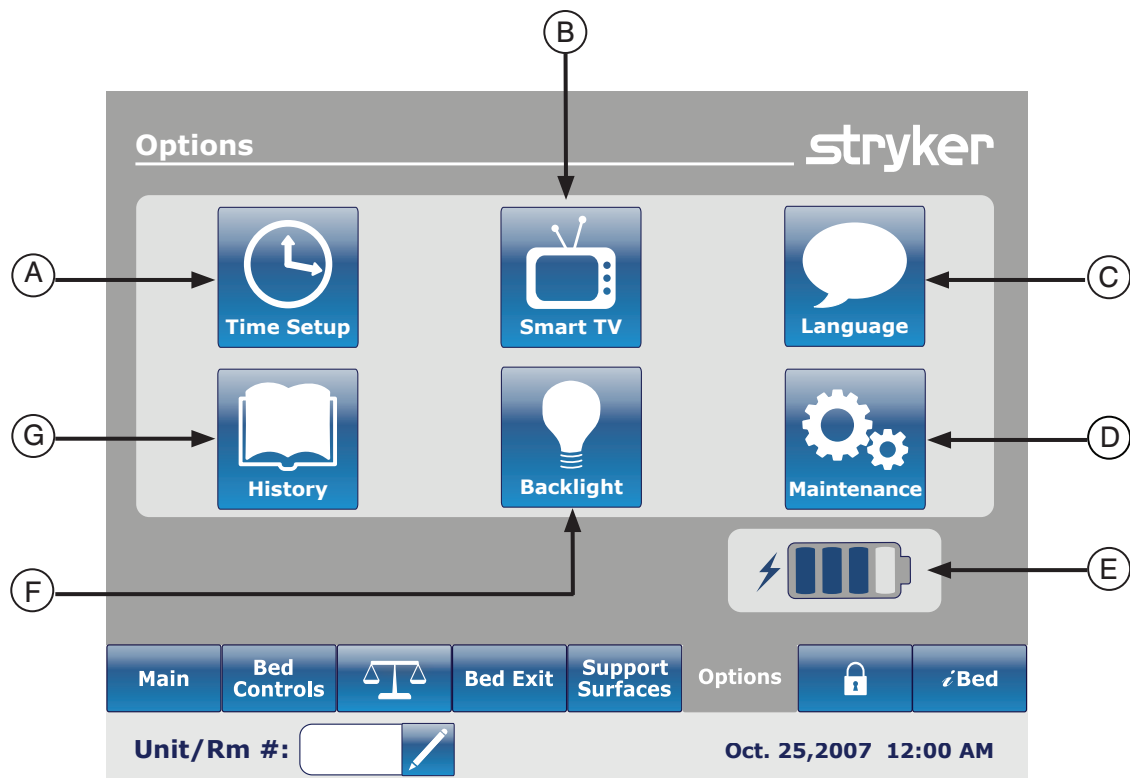


図7.5

メインメニュー：OPTIONS (オプション)



	ボタン	名称	機能
オプション	A	Time Setup (時間設定)	このボタンを押して、ベッドの時刻と日付を設定します。
	B	Smart TV (スマートテレビ)	このボタンを押してスマートテレビメニューにアクセスします。
	C	Language (言語)	このボタンを押して言語メニューにアクセスし、タッチスクリーンで言語を選択します。
	D	Maintenance (メンテナンス)	このボタンを押してメンテナンスメニューにアクセスします。
	E	バッテリー	電池の電力残量をパーセントで表示します。バッテリーの各ブロックは電力の25%を示しています。
	F	Backlight (バックライト)	このボタンを押してバックライトメニューにアクセスします。
	G	History (履歴)	このボタンを押して履歴メニューにアクセスします。

メインメニュー：OPTIONS（オプション） （続き）

時刻設定ボタン

“Time Setup”（時刻設定）ボタンを押すと、図8.0が表示されます。これで矢印を使って時刻と日付を変更できます。完了したら“Accept”（承認）を押すか、“Cancel”（取消し）を押して拒否します。

注記

“Time Setup”（時刻設定）はサマータイム（夏時間）を自動調整しません。

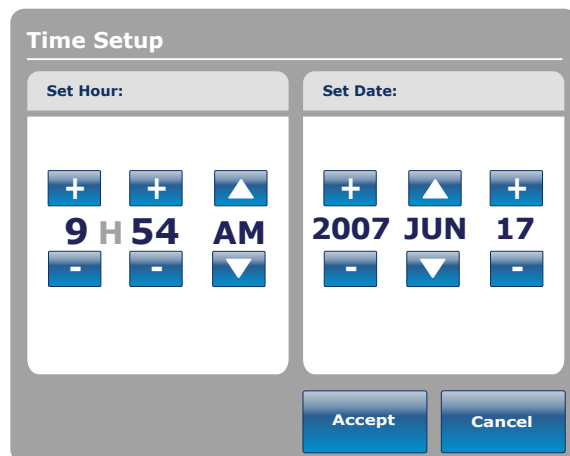


図8.0

“Smart TV”（スマートテレビ）ボタン（オプション）

“Smart TV”（スマートテレビ）ボタンを押すと、図8.1が表示されます。これでベッドのルームインターフェイスカードに付属しているテレビを選択することができます。選択が完了したら、“Accept”（承認）ボタンを押して選択を確認します。

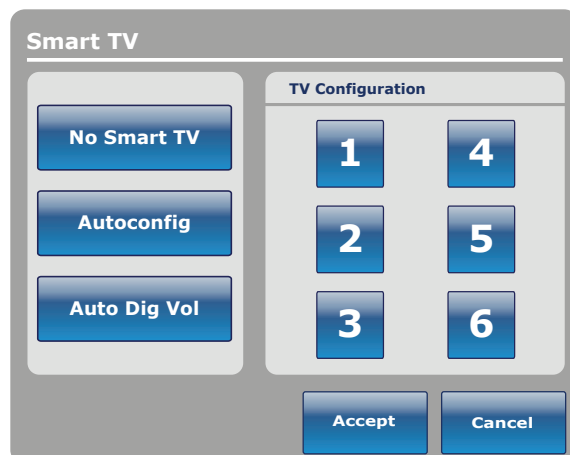


図8.1

言語ボタン

“Language”（言語）ボタンを押すと、図8.2が表示されます。これで希望の言語が選択できます。“Accept”（承認）ボタンを押して選択を確認します。



図8.2

メインメニュー：OPTIONS (オプション) (続き)

履歴ボタン

“History” (履歴) ボタンを押すと、図8.3が表示されます。

“Scale” (スケール) ボタンを押すと、体重履歴画面が現れます (34ページの図5.6を参照)。

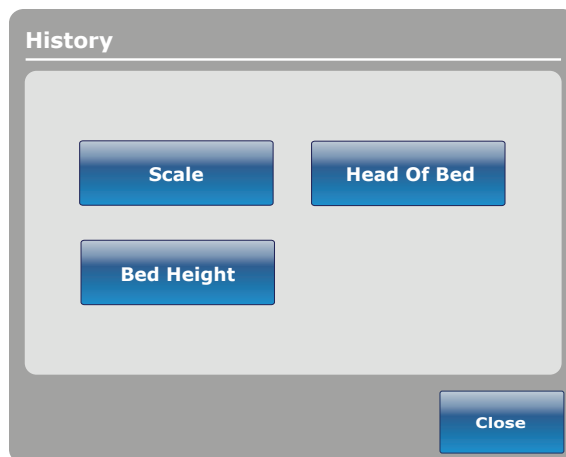


図8.3

“Head of Bed History” (ベッドの頭部の履歴) ボタンを押すと、図8.4aが表示されます。

“Head of Bed History” (ベッドの頭部の履歴) は過去24時間のベッドの頭部の角度を表示します。



図8.4a

“Angle History” (角度の履歴) ボタンを押すと、図8.4bが表示されます。

 A screenshot of a software interface titled "Angle History". It displays a table with the following data:

Angle	Last 12h	Last 24h
0-9°	12:00	24:00
10-19°	12:00	24:00
20-29°	12:00	24:00
30-39°	12:00	24:00
40-49°	12:00	24:00
50-59°	12:00	24:00
60-69°	12:00	24:00
70-79°	12:00	24:00
80-89°	12:00	24:00

 Below the table are two buttons: "Reset" and "Close".

図8.4b

“Bed Height History”（ベッドの高さの履歴）ボタンを押すと、図8.5aが表示されます。



図8.5a

“Height History”（高さの履歴）ボタンを押すと、図8.5bが表示されます。

“Bed Height History”（ベッド高さ履歴）により、使用者は現在のベッドの高さだけでなく、過去24時間における高さも知ることができます。ベッドの高さの履歴をリセットする必要がある場合は、“Reset”（リセット）ボタンを押します。



図8.5b

メインメニュー：OPTIONS (オプション) (続き)

バックライトボタン

“Backlight” (バックライト) ボタンを押すと、図8.6が表示されます。バックライトインターフェイスにより、使用者はインジケータ (LED) とタッチスクリーンの強度を設定することができます。

矢印を押すと強度を増減できます。終了したら、“Close” (閉じる) ボタンを押します。

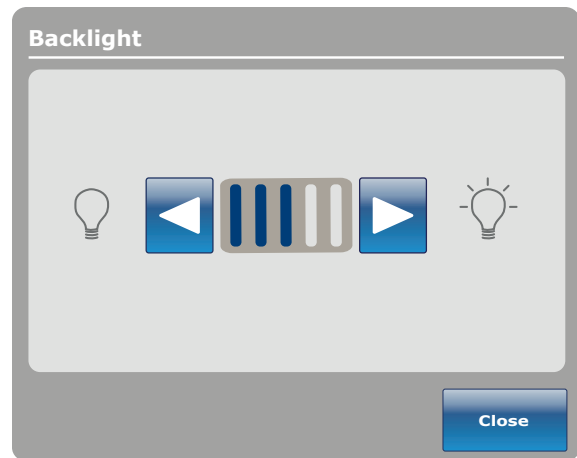


図8.6

メンテナンスボタン

“Maintenance” (メンテナンス) ボタンを押すと、図8.7が表示されます。

“Error Codes” (エラーコード) ボタンを押すと、図8.8が表示されます。エラーコード表示は、部品の状態に関する情報を提供します。

“Signal Values” (信号値) ボタンを押すと、図8.9が表示されます。信号値表示は、センサーの状態に関する情報を提供します。

注記

押しボタン、ボード、およびベッドに関する詳細は、メンテナンスマニュアルを参照してください。

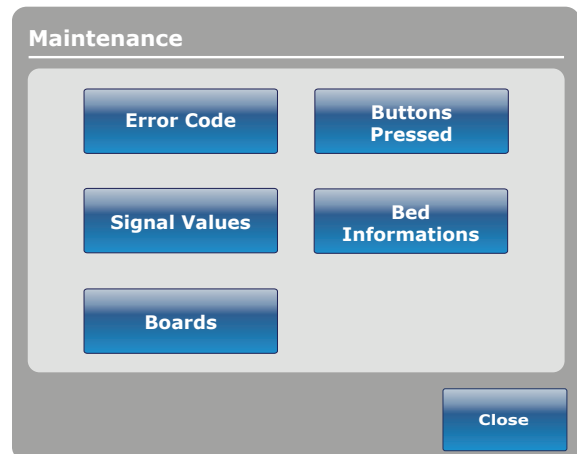


図8.7

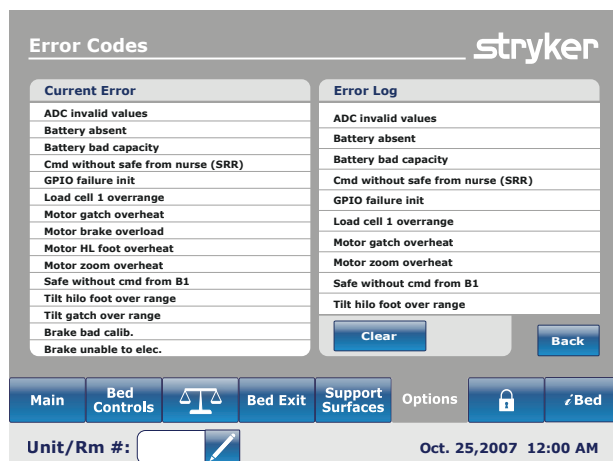


図8.8

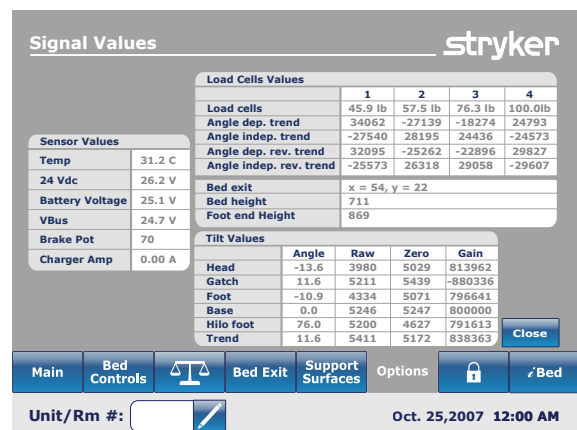
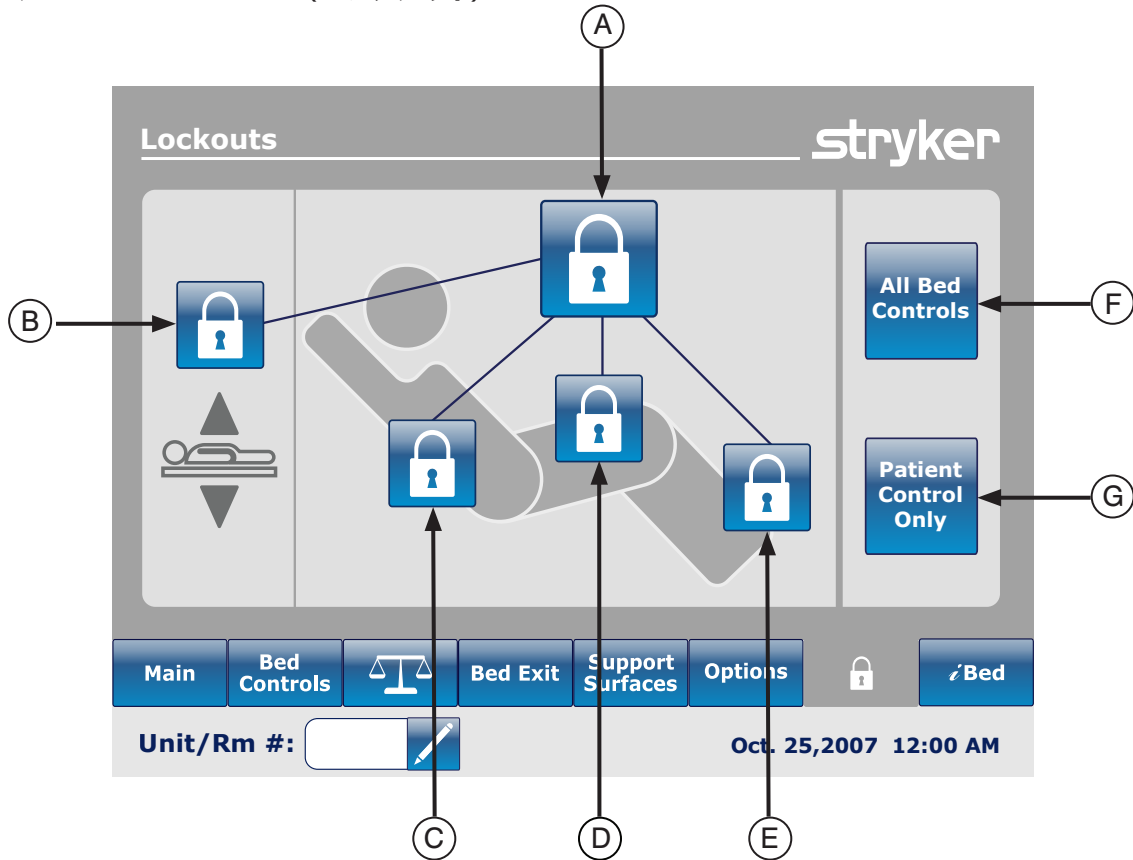


図8.9



フットボード操作ガイド

メインメニュー： LOCKOUTS (ロックアウト)



	ボタン	名称	機能
ロックの位置	A	All Bed Controls (すべてのベッドコントロール)	このボタンを押して、ベッドの完全ロックの起動または解除を行います。
	B	ベッド高さロック	このボタンを押して、ベッド高さのロックの起動または解除を行います。
	C	背もたれロック	このボタンを押して、背もたれのロックの起動または解除を行います。
	D	膝ボトムロック	このボタンを押して、膝ボトムのロックの起動または解除を行います。
	E	足ボトムロック	このボタンを押して、足ボトムのロックの起動または解除を行います。
コントロール	F	All Bed Controls (すべてのベッドコントロール)	どのコントロールについてもロック起動の変更をすべて禁止したい場合に、これを選択します。
	G	Patient Controls Only (患者用コントロールのみ)	患者用コントロールのみについてロック起動の変更をすべて禁止したい場合に、これを選択します。

注記

- ベッドがトレンドレンブルグ位または逆トレンドレンブルグになっている場合、ベッドはその位置にロックされます。
- ロックのうちの1つが使用可能になっているとき、使用者に位置調整のうち起動できないものがあることが分かるように、フットボードのインジケータが点灯します。

[目次に戻る](#)

メインメニュー：iBed

“iBed”ボタンを押すと、図10.0が表示されます。

iBed、認識

“Awareness”（認識）ボタンを押すと、図10.1が表示されます。

このメニューで使用者は、機能の一部または全部をモニターすることができます。実際に使用中の機能を選択するには、“Monitor Current Bed Situation”（ベッド現状モニター）を押します。

機能がモニターされ、アラームが設定されている場合、以下が発生します。

- ・ フットボードLEDが黄色に点滅
- ・ サイドレールLEDが黄色に点滅
- ・ モニターされているイベントのボタンが黄色に変わる
- ・ 図10.2に示すようにEvent Manager（イベントマネジャー）画面が現れます。

Event Manager（イベントマネジャー）では以下を選択できます。

- ・ PROCEED TO MENU（メニューに移行）：アラーム状態になっているメニューに導かれます。
- ・ CLOSE AND DISARM（閉じて解除）：アラームだけが解除され、モニターが行われなくなります。
- ・ REMIND ME IN（次の通知時間）：使用者は、選択した適切な時間経過後に再確認するよう指示して、アラームに対処することができます。

注記

状況が改善されていない場合でも、ベッドメニューを閲覧することが可能です。タッチスクリーンを60秒間機能停止にした場合、状況を改善しないと、改善されるまで自動的に“Smart Bed Position”（スマートベッドポジション）スクリーンに戻ります。

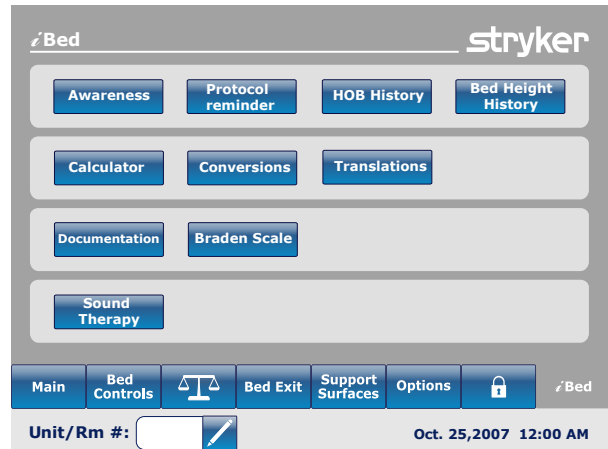


図10.0



図10.1

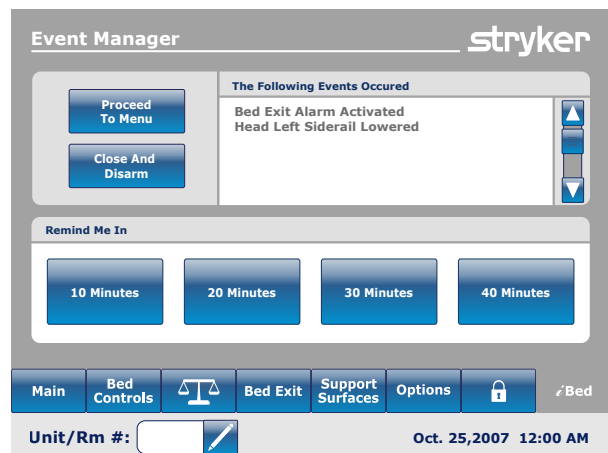


図10.2

メインメニュー：iBed（続き）

iBed、プロトコルの再確認

“Protocol Reminder”（プロトコルの再確認）ボタンを押すと、図10.3が表示されます。

プロトコルを追加したり閲覧するには、該当するボタンを押します。

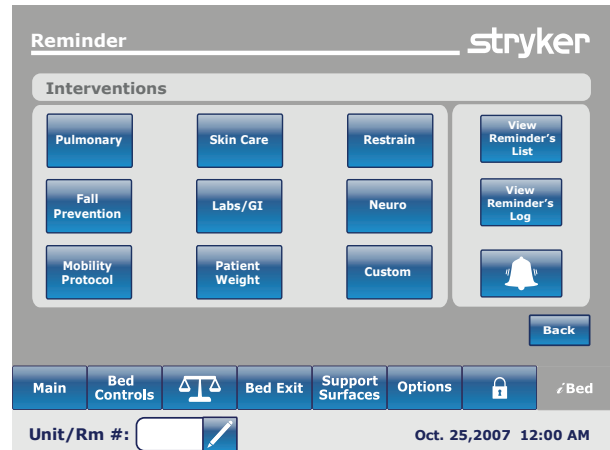


図10.3

1回限りのプロトコルの再確認を追加するには、図10.4で示されるようにプロトコルアラームの希望する時間を入力します。

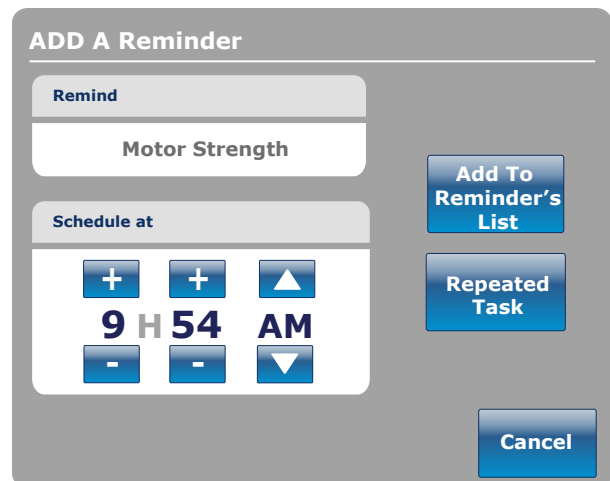


図10.4

プロトコルの反復再確認を追加するには、図10.5で示されるように各プロトコルアラーム間の経過時間を入力します。

注記

デフォルトの画面は1回限りの職務確認・催促ですが、使用者は“Repeated Task”（反復職務）ボタンを押して反復確認・催促に切り替えられます。

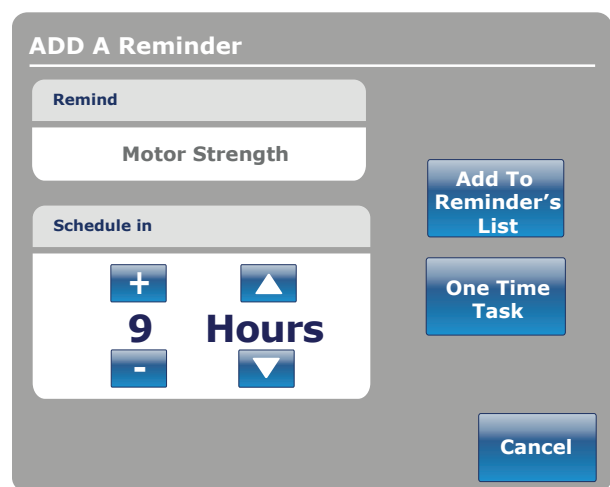


図10.5

メインメニュー: iBed (続き)

iBed、プロトコルの再確認 (続き)

再確認時には図10.6が表示されます。

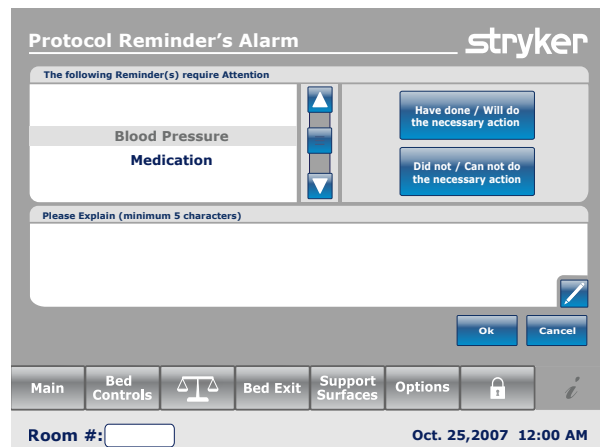


図10.6

View Reminder's List (再確認リストを見る) ボタンを押すと、図10.7が表示されます。

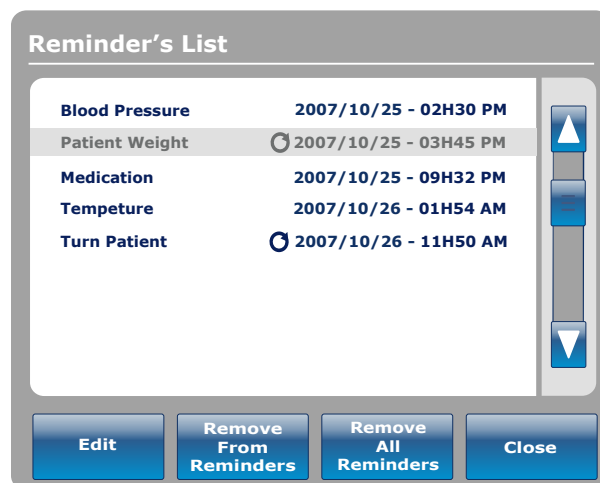


図10.7

View Reminder's Log (再確認ログを見る) ボタンを押すと、図10.8が表示されます。

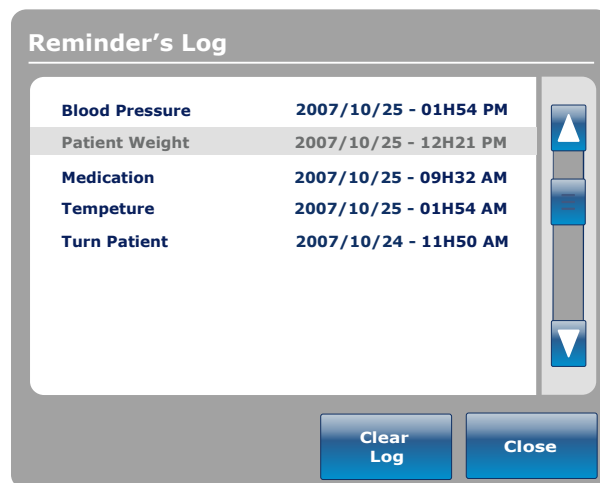


図10.8

メインメニュー：iBed（続き）

iBed、ベッドの頭部 (HOB) 履歴

“Head of Bed History”（ベッドの頭部の履歴）ボタンを押すと、図10.9aが表示されます。

“Head of Bed History”（ベッドの頭部の履歴）は過去24時間のベッドの頭部の角度を表示します。



図10.9a

“Angle History”（角度の履歴）ボタンを押すと、図10.9bが表示されます。



図10.9b

iBed、ベッドの高さの履歴

“Bed Height History”（ベッドの高さの履歴）ボタンを押すと、図10.10aが表示されます。

“Height History”（高さの履歴）ボタンを押すと、図10.10bが表示されます。

“Bed Height History”（ベッド高さ履歴）により、使用者は現在のベッドの高さだけでなく過去24時間における高さも知ることができます。ベッドの高さの履歴をリセットする必要がある場合は、“Reset”（リセット）ボタンを押します。



図10.10a



図10.10b

メインメニュー：iBed（続き）

iBed、電卓

“Calculator”（電卓）ボタンを押すと、図10.12が表示されます。

Calculator（電卓）ツールで様々な計算が行えます。換算が必要な場合には、“Converter”（コンバーター）ボタンを押すとCalculator（電卓）表示から換算ツールに直接切り替えることができます。



図10.12

iBed、コンバーター

“Converter”（コンバーター）ボタンを押すと、図10.13が表示されます。換算が終了したら、“Calculator”（電卓）ボタンを押すと再び“Calculator”（電卓）に切り替わります。



図10.13

メインメニュー：iBed（続き）

iBed、翻訳

“Translation”（翻訳）ボタンを押すと、図10.14が表示されます。

Translations（翻訳）の表示は、13言語による医学関係の文章の簡易翻約を検索するための情報を提供します。

画面のリストから文章を選択し、次に翻訳言語を選択します。翻訳された文章はTranslations（翻訳）ボックスに表示されます。

音声も翻訳と同時に聞くことができます。プレイボタンを押すと、翻訳された文章が聞こえます。音声のボリュームを上げるには、“+”ボタンを押します。音声のボリュームを下げるには、“-”ボタンを押します。

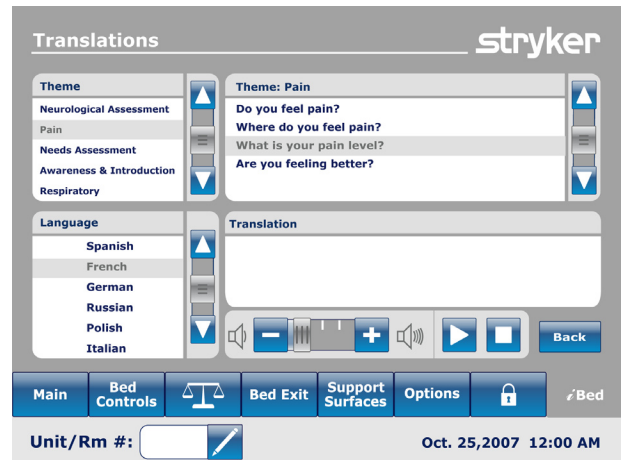


図10.14

メインメニュー：iBed（続き）

iBed、ドキュメンテーション

“Documentation”（ドキュメンテーション）ボタンを押すと、図10.15が表示されます。

上下の矢印で年、月、および日を選択すると、保管している患者の具体的な日付の情報を取り出すことができます。View（見る）ボタンを押すと、その日付のログが表示されます。Bed Exit（離床検知）、Reminder（再確認）、Scale（スケール）、iBedまたはSystem（システム）ボタンのいずれかを押すことで、具体的なログ情報を見ることができます。

The screenshot shows the 'Documentation' screen for the Stryker iBed. At the top, the date is set to 2008, September 18. Below the date, there are buttons for 'Display' with options: Bed Exit, Reminder, Scale, iBed Pos., and System. A table lists the events with columns for Event, Time, and Details / Actions Taken. At the bottom, there are navigation buttons: Main, Bed Controls, Bed Exit, Support Surfaces, Options, and a lock icon. The footer shows 'Unit/Rm #' and the current date and time: Oct. 25, 2007 12:00 AM.

Event	Time	Details / Actions Taken
Bed Exit Alarm	10:28 AM	Action : Close and Disarm
LBS: Brake alarm	10:45 AM	LBS Brake monitoring disable LBS Brake monitoring disable
Reminder : Turn	11:00 AM	Nurse : Not done patient just came from Radio
Reminder: Auto Weight Store	13:05 PM	store Weight : 185 lbs
iBed: Braden Scale	14:15 PM	Braden Scale score : 15
Bed Exit: Disarm	15:00 PM	Bed exit Medium zone disarm

図10.15

メインメニュー：iBed（続き）

iBed、ブレイデンスケール

“Braden Scale”（ブレイデンスケール）ボタンを押すと、図10.22が表示されます。

ブレイデンスケールは、6個のカテゴリーからなる調査で、患者に褥瘡が発症する可能性を評価するために医療提供者が使用するものです。

調査の結果は数字（スコア）で表され、患者の皮膚に必要なケアを特定するために使用されます（図10.23を参照）。スコアが低い程、医療提供者は患者の皮膚のケアが必要です。

ブレイデンスケールによる評価が終了すると、最後のブレイデンスコアが評価日と共にメインスクリーンに表示されます。このスコアのメインスクリーンへの表示を有効または無効にすることができます。

Braden Scale stryker

Step 1 of 6: Sensory Perception

Ability to respond meaningfully to pressure-related discomfort

1 Completely Limited	Unresponsive (does not moan, flinch, or grasp) to painful stimuli, due to diminished level of consciousness or sedation. OR Limited ability to feel pain over most of the body
2 Very Limited	Responds only to painful stimuli. Cannot communicate discomfort except by moaning or restlessness OR Has a sensory impairment which limits the ability to feel pain or discomfort over 1/2 of body
3 Slightly Limited	Responds to verbal commands, but cannot always communicate discomfort or the need to be turned. OR Has some sensory impairment which limits ability to feel pain or discomfort in 1 or 2 extremities.
4 No Impairment	Responds to verbal commands. Has no sensory deficit which would limit the ability to feel or voice pain or discomfort

Select the numbered button that correspond to the evaluated value for this step. Back Cancel

Main Bed Controls Bed Exit Support Surfaces Options iBed

Unit/Rm #: Oct. 25, 2007 12:00 AM

図10.22

Braden Scale stryker

Results Summary

1. Sensory Perception	3
2. Moisture	2
3. Activity	3
4. Mobility	2
5. Nutrition	2
6. Friction & Shear	1
Total Score :	13

Back

Main Bed Controls Bed Exit Support Surfaces Options iBed

Unit/Rm #: Oct. 25, 2007 12:00 AM

図10.23

メインメニュー：iBed（続き）

iBed、サウンドセラピー

“Sound Therapy”（サウンドセラピー）ボタンを押すと、図10.24が表示されます。

表示リストからサウンドセラピーを選択し、プレイを押すと起動します。サウンドセレクションの音量は、Volume（音量）スライダを上下に移動させると調節できます。

サウンドセラピーは、分単位で算出された規定時間後に停止するように設定できます。

Playback Mode（プレイバックモード）で、1つのサウンドファイルをプレイ、またはリストにある全ファイルをプレイするかを選ぶことができます。

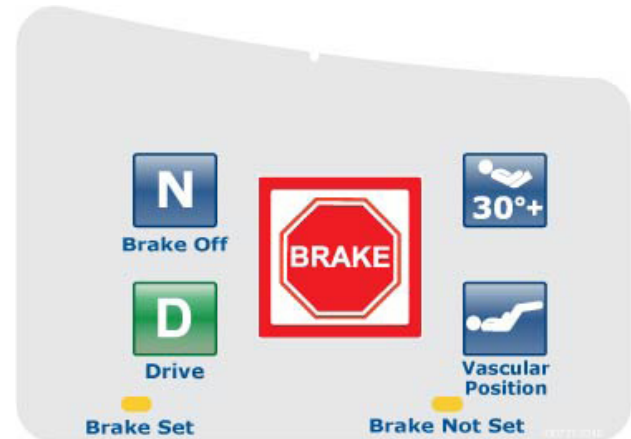


図10.24

ZOOM®駆動の操作 (2141型)

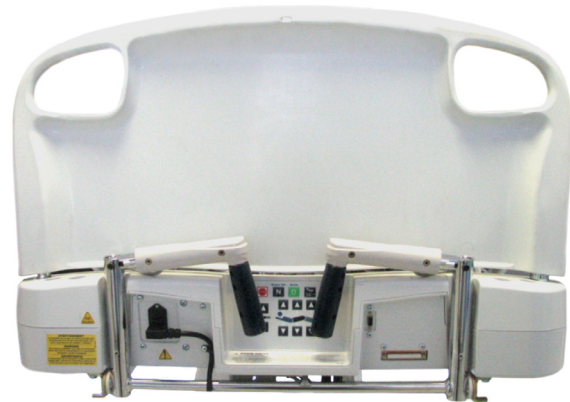
ZOOM®駆動 (2141型) の使用方法

1. 壁コンセントからベッドの電源コードを抜きます。
2. 頭側サイドレールまたはフットボードのどちらかのDriveボタンを押します。
3. そのボタンのバックライトとLEDが点灯します。



注記

- ハンドルが頭部ボトム内に隠れていることがあります (ディスプレイ1を参照)。
 - ハンドルを取り出すには、真っ直ぐに伸ばして引き上げ、その位置にロックされることを確認します (ディスプレイ2を参照)。
4. ハンドルの使い方：
 - ベッドを前方に動かすには、黄色のトリガーを両方保持しながらハンドルを押します。
 - ベッドを後方に動かすには、黄色のトリガーを両方保持しながらハンドルを引きます。
 - 動きを止めるには、黄色のトリガーを両方とも放し、ベッドを押したり引いたりするのを止めます。



ディスプレイ1

注記

- ベッドの移動速度は押したり引いたりするときの強さによって変わります。
- ベッドの電池の電力残量が少なすぎると、駆動輪は運転中に引っ込む (上昇する) かまたは降りなくなります。



ベッドの付属品 (オプション)

下記の付属品を購入してFL27 *InTouch*クリティカルケアベッドに取り付けることができます。取り付けおよび修理に関する詳細はFL27 *InTouch*クリティカルケアのメンテナンスマニュアルに記載されています。

付属品	パーツ番号	参照ページ
ベッド延長器	FA64234	60ページ参照
ベッド延長器用マットレス (2920 PositionPROのみ)	DM64196	60ページ参照
ベッド延長器用マットレス (2950 XPRTのみ)	DM64197	60ページ参照
I.V.ポール、常設用	FA64221	61~62ページ参照
I.V.ポール、デュアルヘッドエンド常設用	FA64202	63~64ページ参照
ライン管理システム	FA64210	65ページ参照
モニタートレイ	FA64214	66~67ページ参照
酸素ボトルホルダー、縦型	FA64187	68ページ参照
酸素ボトルホルダー、ライトフィット	FA64203	69ページ参照
ペンダント、モーションコントロール付き	FA64209	70ページ参照
ペンダント、モーションコントロールおよびナースコール付き	FA64194	71ページ参照
ペンダント、モーションコントロールおよびSmart TV (スマートテレビ) 付き	FA64195	72ページ参照
ペンダント、モーションコントロール、ナースコール、およびSmart TV (スマートテレビ) 付き	FA64193	73ページ参照
ペンダントクリップ	FA64186	74ページ参照
牽引スリーブ101.6 mm x 12.7 mm	FA64215	75ページ参照
牽引スリーブ101.6 mm x 19 mm	FA64216	75ページ参照
牽引スリーブ203.2 mm x 12.7 mm	FA64217	75ページ参照
牽引スリーブ203.2 mm x 19 mm	FA64218	75ページ参照
牽引スリーブ165.1 mm x 19 mm	FA64219	75ページ参照
ウォールセーバーケーブル	FA64208	76ページ参照
X線カセットホルダー	FA64205	77ページ参照

[目次に戻る](#)

ベッド延長器 - FA64234

オプションのベッド延長器は、ベッドを15.24 cm延長させます。

この付属品は以下の製品用です：

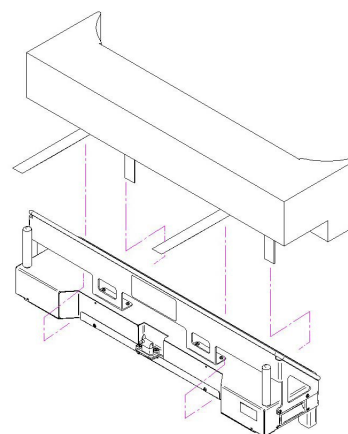
- InTouch 1.0 (FL27)-2130
- InTouch 1.0 (FL27)-2140
- InTouch 2.0 (FL27)-2131
- InTouch 2.0 (FL27)-2141

取り付け

必要なツール：なし

見ると分かりやすいので、次の取り付けセクションの図を参照してください。

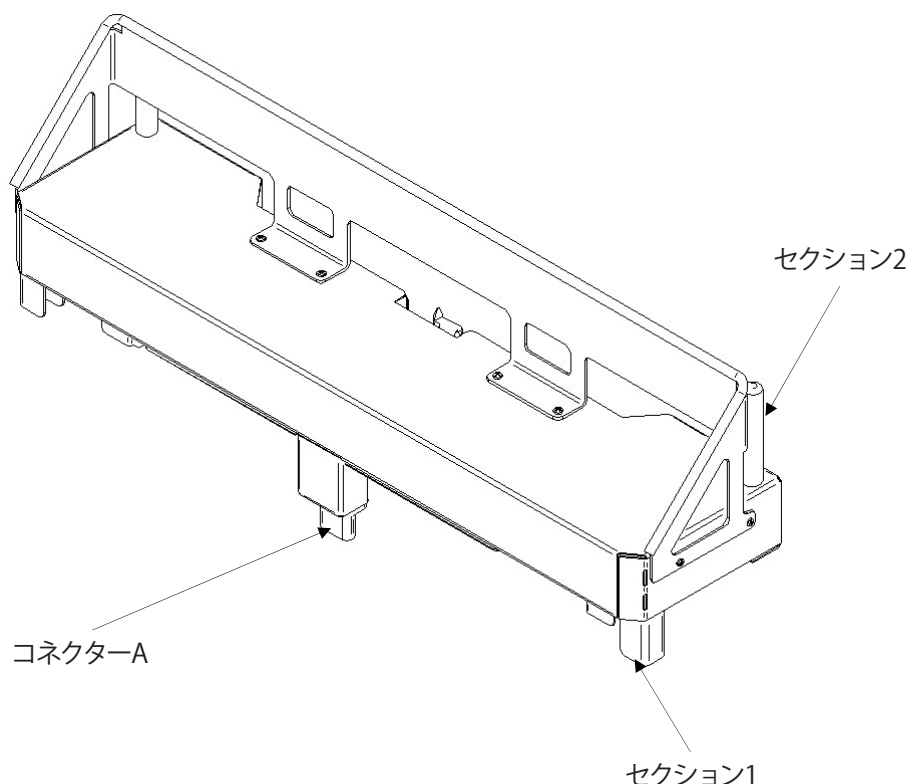
1. ベッド延長器の上に適切なマットレスクッションを取り付けます (図Aを参照)。
2. フットボードを取り外します。
3. ベッド端の棒にベッド延長器の足を差し込みます (図Bを参照)。
4. フットボードをベッド延長器の棒の上に戻します (図B、セクション2を参照)。



図A

警告

- コネクターAがしっかりと固定されていることを確認してください (図Bを参照)。
- ベッド延長器の上にすわらないでください。ベッドがひっくり返ることがあります。



図B

[目次に戻る](#)

常設用I.V.ポール - FA64221

オプションのシングル2段階式I.V.ポールは永久的に装着され、はめ込み用のポールが付いています。はめ込み用ポールは延長器として別の高さの位置を提供します。常設用I.V.ポールは折り曲げて保管することができます。

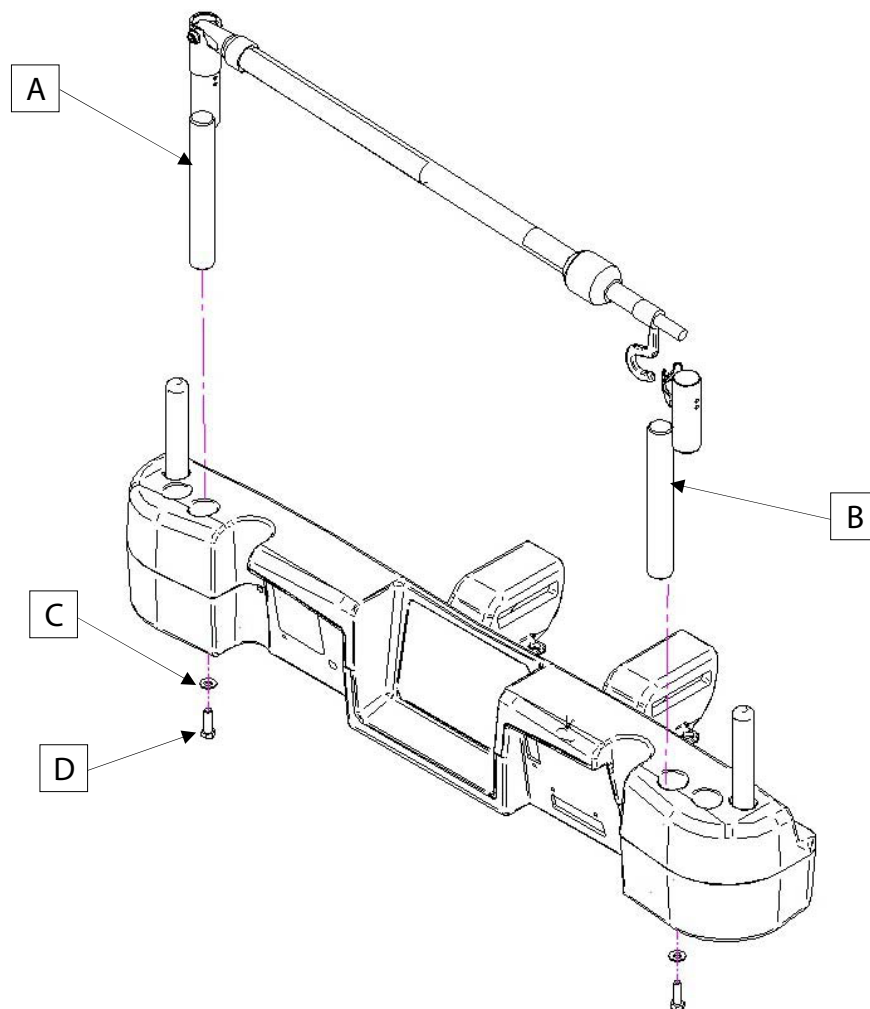
取り付け

必要なツール:

- 3/8"駆動ラチェット
- 1/2"ソケット

1. ボルト (D) およびワッシャー (C) を使って、I.V.ポール (A) をベッド頭部の左側にある適切な開口部にしっかりと止めます。
2. ボルト (D) およびワッシャー (C) を使って、I.V.ポールのサポート (B) をベッド頭部の右側にある適切な開口部にしっかりと止めます。

注記: 使用されるボルトは“Scotch Grip” (スコッチグリップ) で覆われています。最初の取り付けの後に取り外す場合には、このタイプのボルトは同一の新しいボルトと取り換える必要があります。

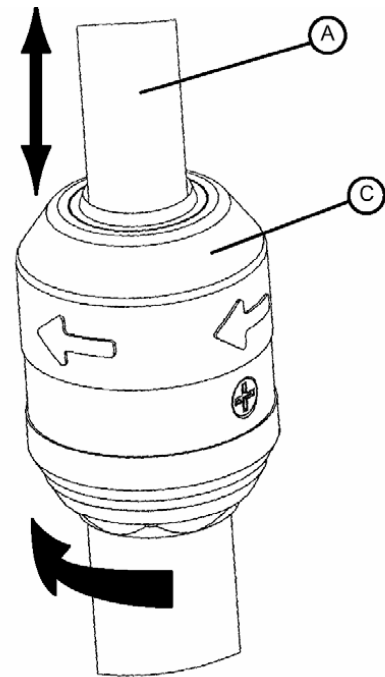
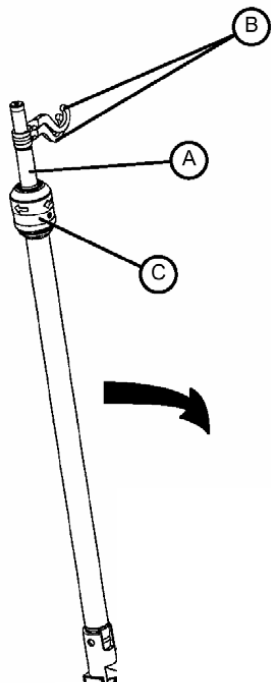


操作

1. 保管位置からポールを持ち上げて回転させ、レセプタクルにロックされるまで押し下げます。
2. ポールの高さを上げるには、はめ込み部分 (A) が、完全に高くなった位置でロックされるまで引っ張り上げます。このセクションに中間の位置はありません。
3. I.V.ポールハンガー (B) を希望する位置まで回転させ、I.V.バッグをつるします。
4. I.V.ポールを保管するには、ラッチ (C) をセクション (A) が下がるまで時計回りに回転させます。ポールを持ち上げてレセプタクルから取り外し、折りたたんでからブラケットに保管します。

⚠ 注意

I.V.バッグの重さが18 kgを超えないようにしてください。



I.V.ポールのラッチについて

デュアルヘッドエンド常設用I.V.ポール - FA64202

オプションのデュアルヘッドエンドI.V.ポールは永久的に装着され、はめ込み用のポールを備えています。はめ込み用ポールは延長器として別の高さの位置を提供します。常設用I.V.ポールは折り曲げて保管することができます。

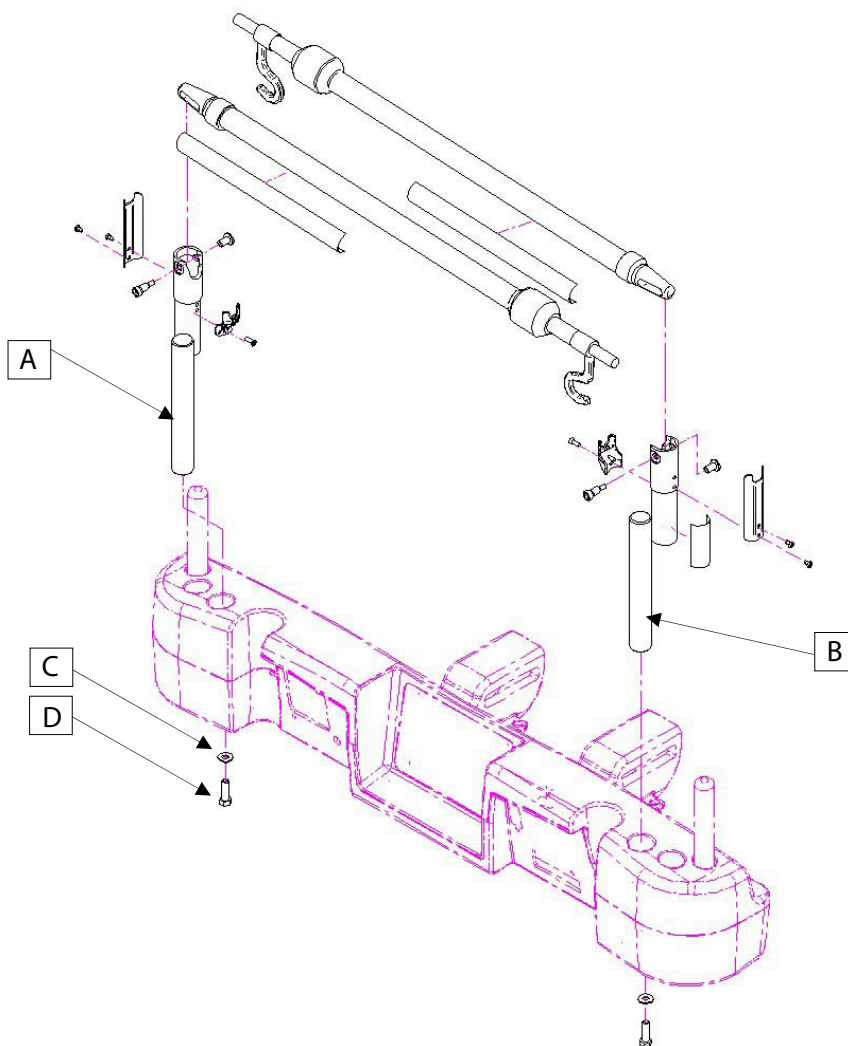
取り付け

必要なツール:

- 3/8"駆動ラチェット
- 1/2"ソケット

1. ボルト (D) およびワッシャー (C) を使って、I.V.ポール (A) をベッド頭部の左側にある適切な開口部にしっかりと止めます。
2. ボルト (D) およびワッシャー (C) を使って、I.V.ポールのサポート (B) をベッド頭部の右側にある適切な開口部にしっかりと止めます。

注記: 使用されるボルトは“Scotch Grip” (スコッチグリップ) で覆われています。最初の取り付けの後に取り外す場合には、このタイプのボルトは同一の新しいボルトと取り換える必要があります。



[目次に戻る](#)

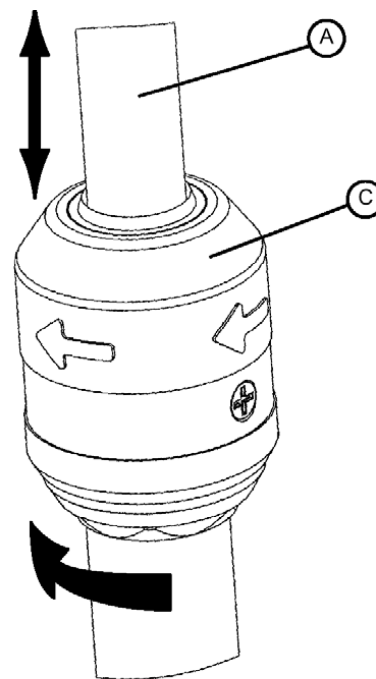
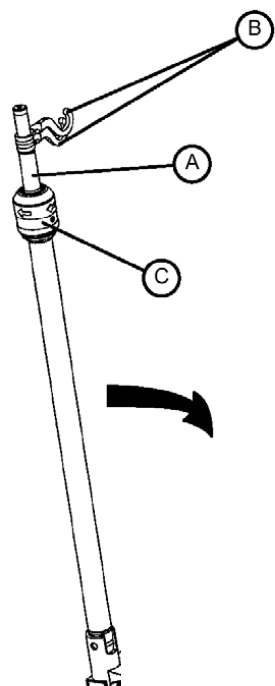
デュアルヘッドエンド常設用I.V.ポール (続き) - FA64202

操作

1. 保管位置からポールを持ち上げて回転させ、レセプタクルにロックされるまで押し下げます。
2. ポールの高さを上げるには、はめ込み部分 (A) が、完全に高くなった位置でロックされるまで引っ張り上げます。このセクションに中間の位置はありません。
3. I.V.ポールハンガー (B) を希望する位置まで回転させ、I.V.バッグをつるします。
4. I.V.ポールを保管するには、ラッチ (C) をセクション (A) が下がるまで時計回りに回転させます。ポールを持ち上げてレセプタクルから取り外し、折りたたんでからブラケットに保管します。

⚠ 注意

I.V.バッグの重さが18 kgを超えないようにしてください。



I.V.ポールのラッチについて

ライン管理システム (付属クリップ) - FA64210

オプションのライン管理システム (付属クリップ) は、ベッド周辺のチューブの処理に役立ちます。

取り付け

必要なツール：なし

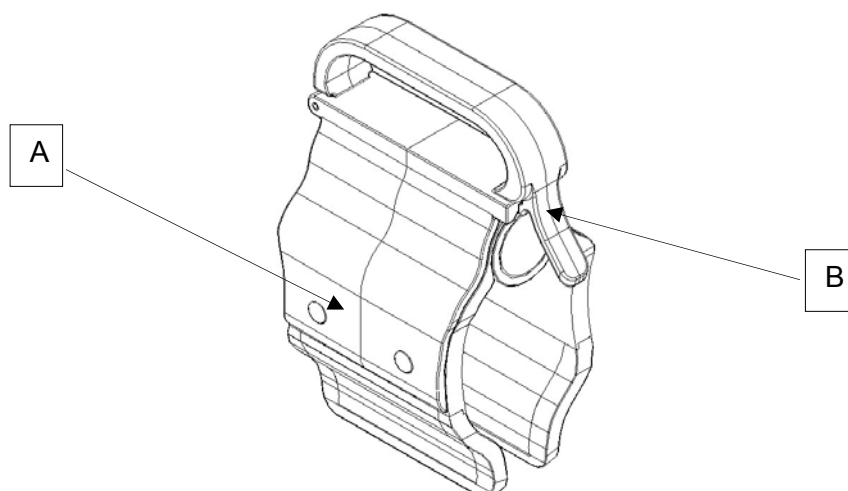
1. クリップ (A) を開け、ベッドの使いやすく安全な位置に設置します。
2. クリップの尖った先 (B) を持ち上げて、直径19 mm以下のチューブを挿入します。
3. 開口部を閉めて、チューブが挟まれていないかを確認します。

⚠ 警告

- クリップがメカニズムや作動を妨げていないかを確認してください。
- 付属品が溶液内にあると、メカニズムを悪化させる可能性があります。

⚠ 注意

- 直径が19 mm以上のチューブに使用しないでください。
- 使用後その度に滅菌してください (メンテナンスマニュアルの手順を参照)。
- クリップを取り付ける際、安定していることを確認してください。



モニタートレー - FA64214

モニタートレー（オプション）は、ベッドの足側でモニターを支えます。

⚠ 警告

Weigh（体重）システムおよびBed Exit（離床検知）システムのどちらかでも機能している時にこの付属品を追加する場合には、両方のシステムをそれに合わせて調整してください。 [35ページ](#)のベッドの手順にある“Add/Remove Equipment”（機器の追加/削除）を参照してください。

取り付け

必要なツール：なし

手順

1. 足側の左の方にブラケット（A）を取り付けます。（図B、C、D、Eを参照）。
2. 移送トレー（図F参照）をステップ1でぴったりと固定されたブラケットに取り付け、次にI.V.ソケットに取り付けます（図示されません）。

注記：トレーのサポートがステップ1で取り付けられたブラケットの穴に正しく固定されたことを確認してください（図F参照）。



図A



図B - 足側



図C - 取り付けられたブラケット（後ろ）



図D - 取り付けられたブラケット（前）



図E - ノブねじで固定されたブラケット



図F - トレーの取り付け

モニタートレー (続き) - FA64214

操作

1. ロックを引き下げ (図G参照)、管状支柱を90度 (図Hを参照) 回転させてボード (図Iを参照) に対して垂直になるようにしたら、ロックを解除します。
2. プラスチックトレーの底を持ち上げて裏返すと、管状支柱の上に乗ります。トレーに力を加えて管状支柱の上に安定させます (図Jを参照)。
3. ストラップを使用してモニターをトレーに固定させます (図K、Lを参照)。

注記： 移送トレーを取り付ける前に、床板を平らにしてください。



図G - ロックを引く



図H - 管状支柱を回す



図I - ボードに垂直に



図J - トレーを安定させる



図K - ストラップで固定する



図L - ストラップで固定する

警告

- トレーの最大積載量は18 kgです。
- 管状支柱の最大積載量は68 kgです。

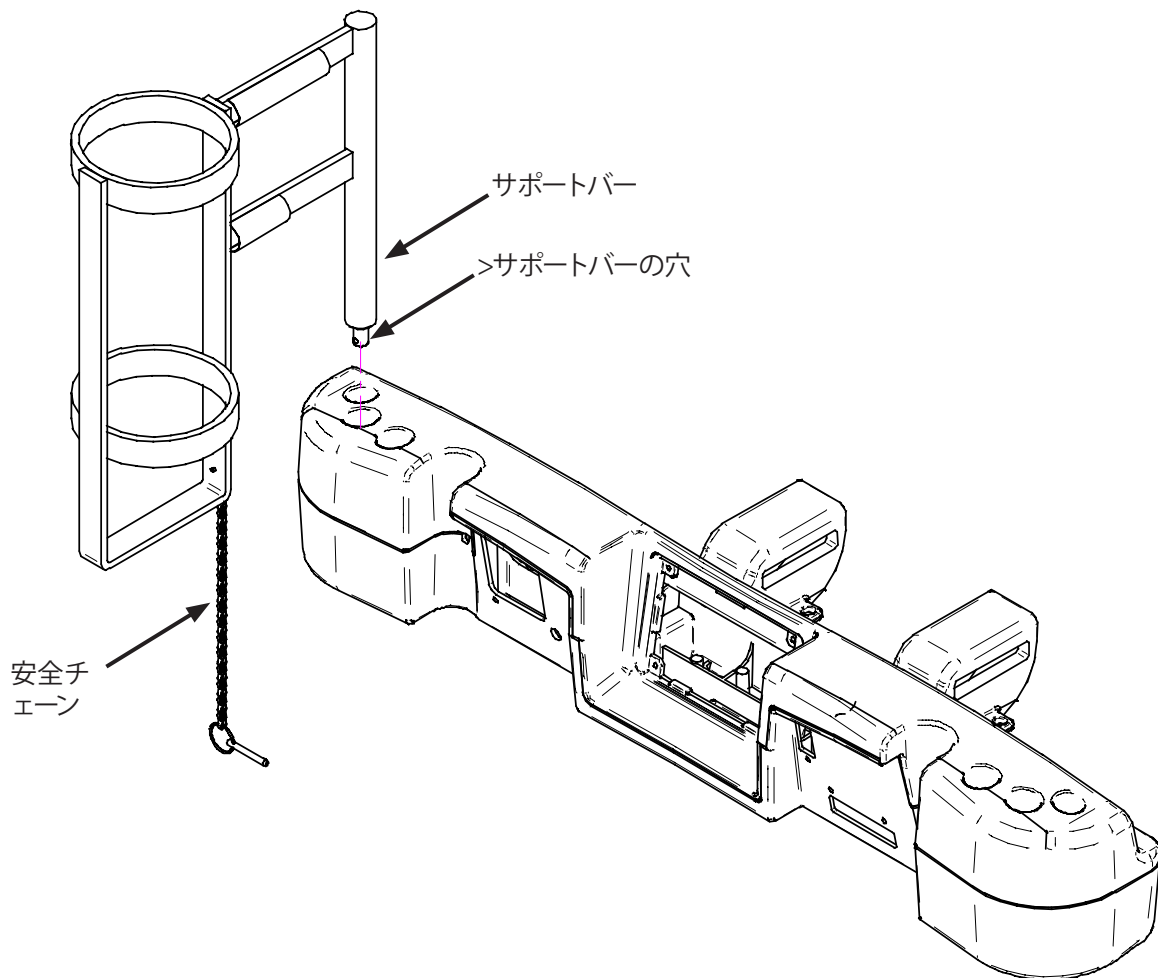
縦型酸素ボトルホルダー - FA64187

オプションの縦型酸素ボトルホルダーは、酸素ボトルをサポートします。

取り付け

必要なツール：なし

1. サポートバーをベッド頭部の右側または左側の真ん中の穴に差し込みます。
2. サポートバーの端にある穴から安全チェーンを入れて、ベッドの頭側にサポートバーを固定します。



ライトフィット酸素ボトルホルダー - FA64203

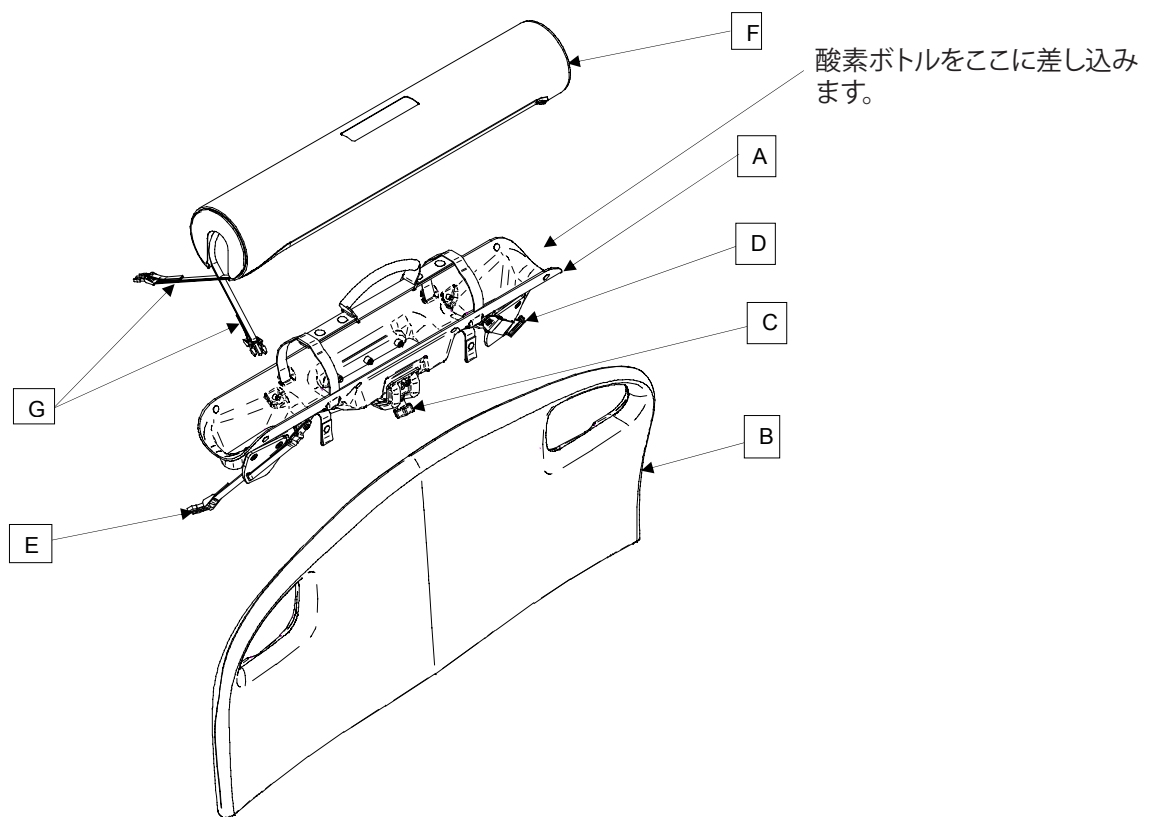
オプションのライトフィット酸素ボトルホルダーは、ヘッドボードの酸素ボトルをサポートします。

取り付け

必要なツール：なし

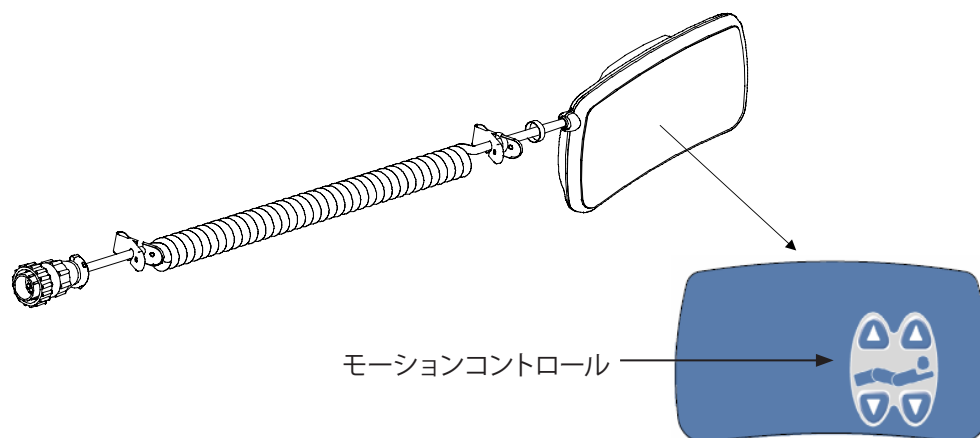
1. ボトルホルダー (A) をヘッドボード (B) に取り付けます。
2. ホルダーがヘッドボードに正しく取り付けられるまで、ホルダーハンドル (C) をねじ込みます。
3. #3ストラップ (DとE) をヘッドボードの穴から入れて、ファスナーに付けます。
4. ホルダーに酸素ボトルを差し込みます。
5. カバー (F) をホルダーに取り付け、#1ストラップ (G) と一緒に結びます。

注記：カバーはリバーシブルです。容易に使用できるように、開口部がベッドの右側または左側にくるように配置できます。



ペンダント、モーションコントロール付き - FA64209

オプションのペンダント (モーションコントロール付き) は、患者がベッドの動作をコントロールできるようにします。



⚠ 警告

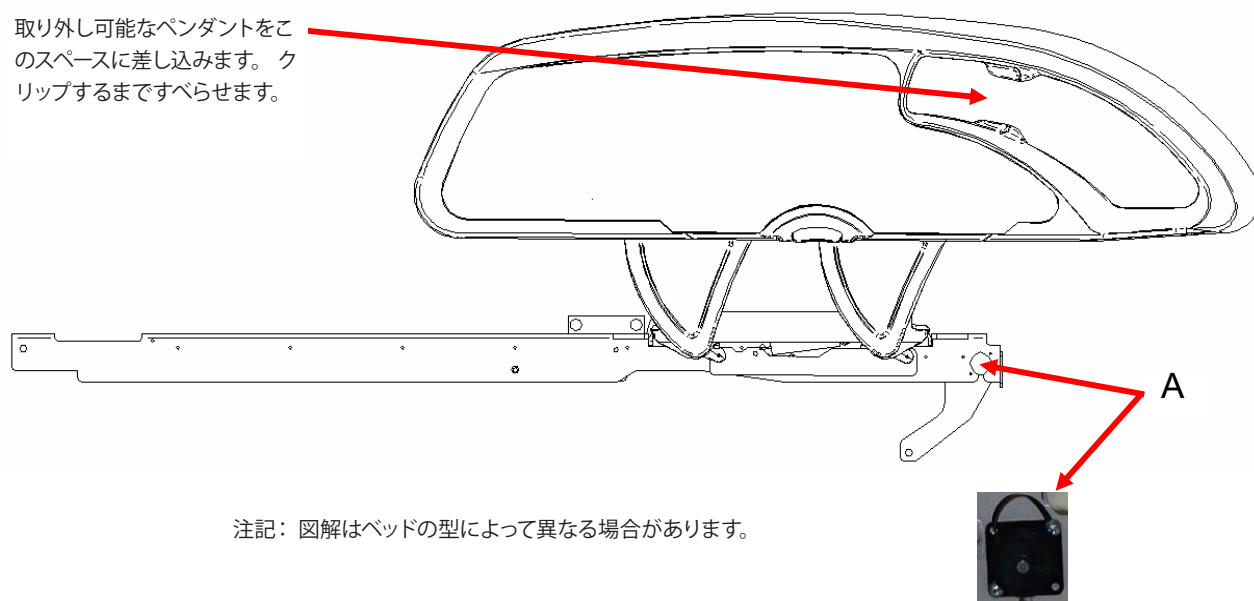
Weigh (体重) システムおよびBed Exit (離床検知) システムのどちらかでも機能している時にこの付属品を追加する場合には、両方のシステムをそれに合わせて調整してください。 [35ページ](#)のベッドの手順にある“Add/Remove Equipment” (機器の追加/削除) を参照してください。

取り付け

必要なツール: なし

1. ケーブルコネクタを、枠の右上にあるコネクタ (A) に入れます。
2. 取り外し可能なペンダントを右側のフットサイドレールに取り付けます。

取り外し可能なペンダントをこのスペースに差し込みます。クリップするまですべさせます。

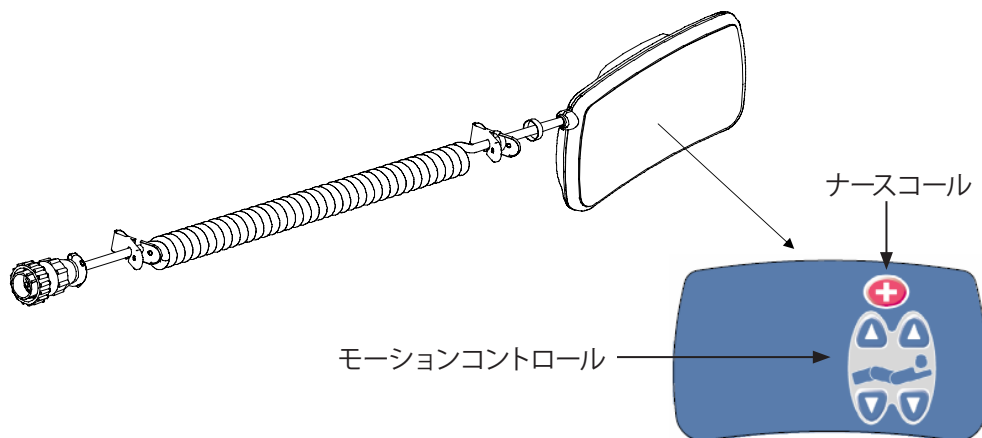


注記: 図解はベッドの型によって異なる場合があります。

ペンダント、モーションコントロール/ナースコール付き - FA64194

オプションのペンダント (モーションコントロール/ナースコール付き) は、患者がベッドの動作をコントロールし、必要に応じてベッドから看護師に連絡できるようにします。

ナースコールの機能が使用できるように、ベッドは病院システム用に設定および同期化されていなければなりません。



⚠ 警告

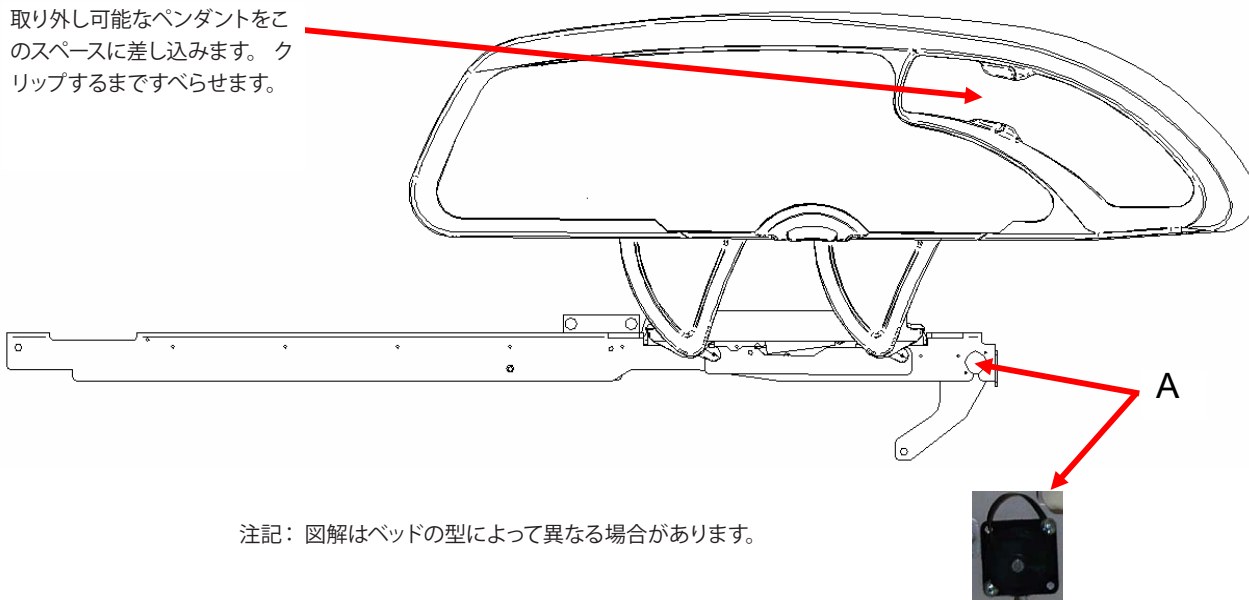
Weigh (体重) システムおよびBed Exit (離床検知) システムのどちらかでも機能している時にこの付属品を追加する場合には、両方のシステムをそれに合わせて調整してください。 [35ページ](#)のベッドの手順にある“Add/Remove Equipment” (機器の追加/削除) を参照してください。

取り付け

必要なツール: なし

1. ケーブルコネクタを、枠の右上にあるコネクタ (A) に入れます。
2. 取り外し可能なペンダントを右側のフットサイドレールに取り付けます。

取り外し可能なペンダントをこのスペースに差し込みます。クリップするまですべさせます。

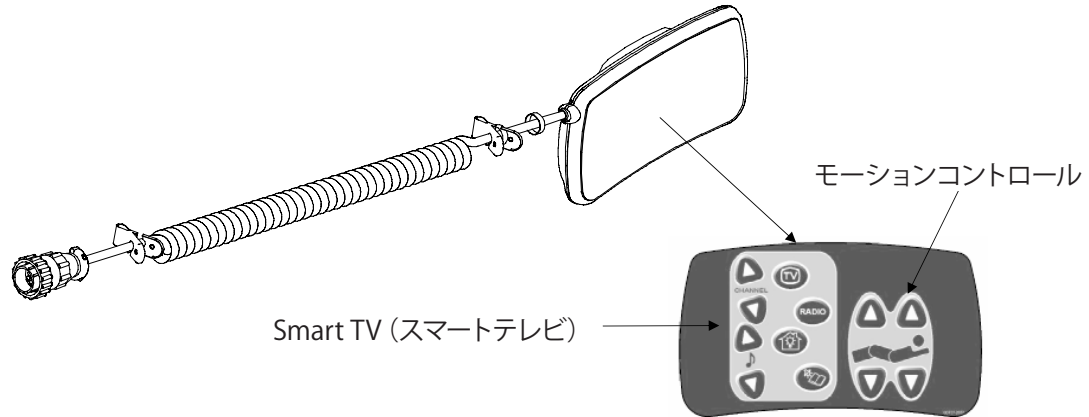


[目次に戻る](#)

ペンダント、モーションコントロール/Smart TV (スマートテレビ) 付き - FA64195

オプションのペンダント (モーションコントロール/Smart TV (スマートテレビ) 付き) は、患者がベッド動作、TV、ラジオ、チャンネル、音量、および明かりを、必要な時にベッドからコントロールできるようにします。

テレビコントロール、ラジオ、チャンネル、音量、および明かりなどの設備の操作を機能させるために、ベッドは病院システム用に設定および同期化されていなければなりません。



⚠ 警告

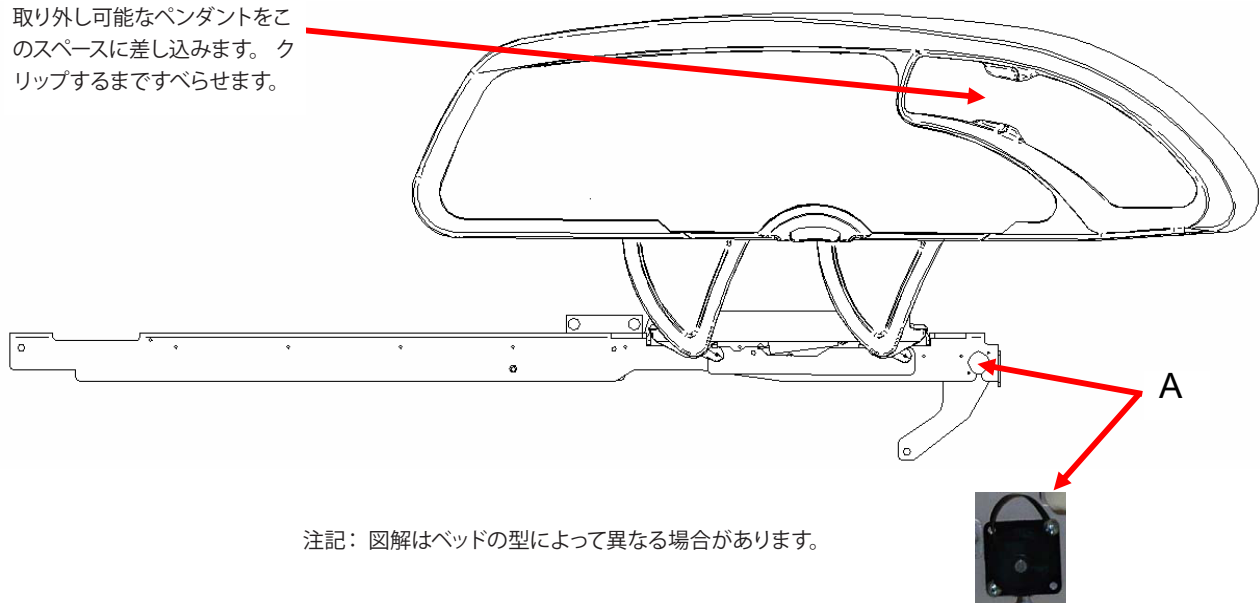
Weigh (体重) システムおよびBed Exit (離床検知) システムのどちらかでも機能している時にこの付属品を追加する場合には、両方のシステムをそれに合わせて調整してください。 [35ページ](#)のベッドの手順にある“Add/Remove Equipment” (機器の追加/削除) を参照してください。

取り付け

必要なツール: なし

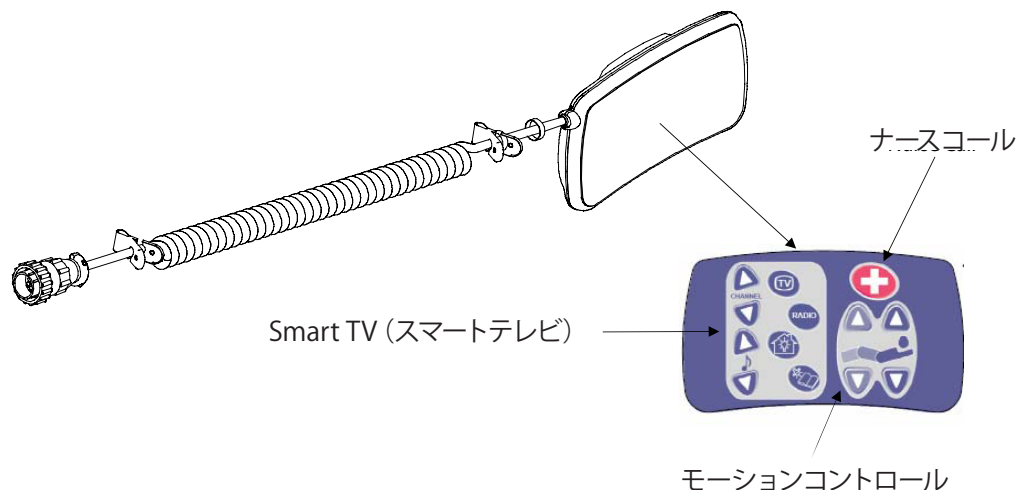
1. ケーブルコネクタを、枠の右上にあるコネクタ (A) に入れます。
2. 取り外し可能なペンダントを右側のフットサイドレールに取り付けます。

取り外し可能なペンダントをこのスペースに差し込みます。クリップするまでずべさせます。



オプションのペンダント (モーションコントロール/ナースコール/Smart TV (スマートテレビ) 付き) は、患者がベッド動作、テレビ、ラジオ、チャンネル、音量、明りだけでなく、必要な時にベッドからコントロールできるようにします。

ナースコール、テレビコントロール、ラジオ、チャンネル、音量、および明かりなどの設備の操作を機能させるために、ベッドは病院システム用に設定および同期化されていなければなりません。



⚠ 警告

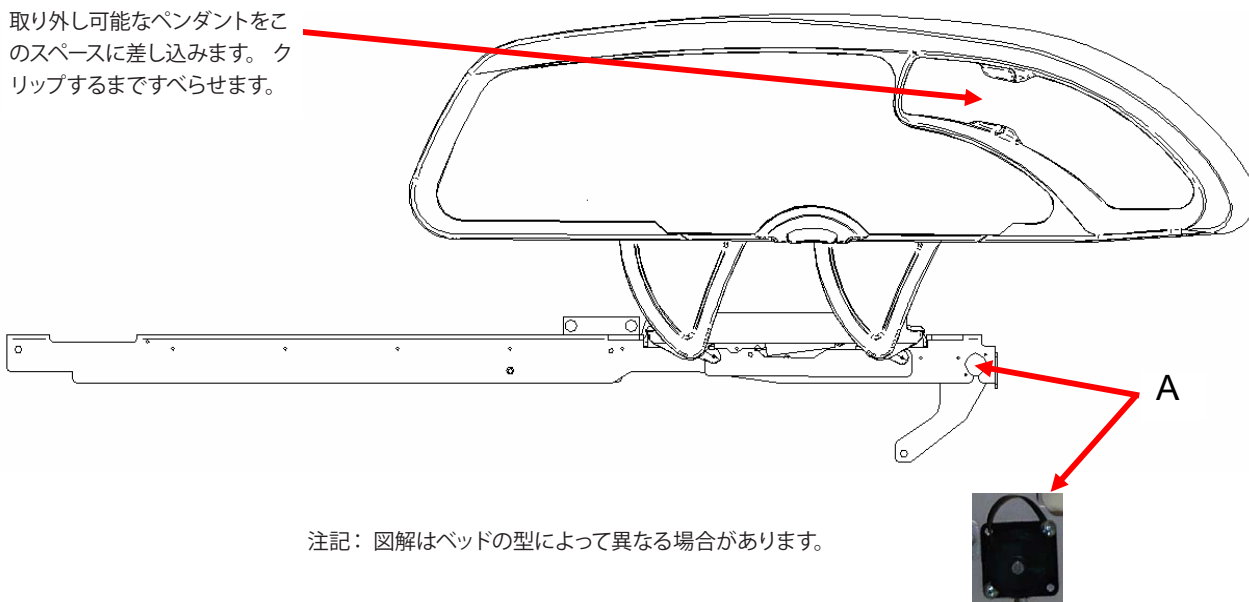
Weigh (体重) システムおよびBed Exit (離床検知) システムのどちらかでも機能している時にこの付属品を追加する場合には、両方のシステムをそれに合わせて調整してください。35ページのベッドの手順にある“Add/Remove Equipment” (機器の追加/削除) を参照してください。

取り付け

必要なツール：なし

1. ケーブルコネクタを、枠の右上にあるコネクタ (A) に入れます。
2. 取り外し可能なペンダントを右側のフットサイドレールに取り付けます。

取り外し可能なペンダントをこのスペースに差し込みます。クリップするまですべさせます。



注記：図解はベッドの型によって異なる場合があります。

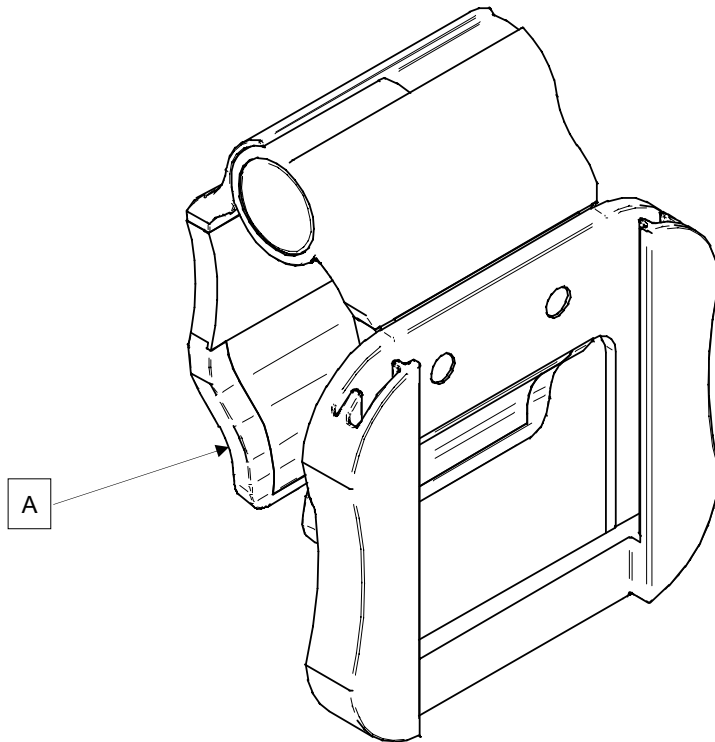
ペンダントクリップ - FA64186

オプションのペンダントクリップは、取り外し可能なペンダント (FA64193、FA64194、FA64195、FA64209) に役立ちます。

取り付け

必要なツール：なし

1. クリップの尖った先 (A) を持ち上げて、クリップをベッドの安全で使いやすい位置に取り付けます。



牽引スリーブ - FA64215 ~FA64219

オプションの牽引スリーブを使用すると、牽引装置を取り付けることができます。以下の5種類のサイズがあります。以下の取り付け方法はリストに記載されている全ての形状に適用されます。

注記： マットレスの足側セクションは、牽引ソケットまたはI.V. ポールが差し込まれると、停止します。

• 牽引スリーブセット - 101.6 mm x 12.7 mm	FA64215
• 牽引スリーブ101.6 mm x 19 mm	FA64216
• 牽引スリーブ203.2 mm x 12.7 mm	FA64217
• 牽引スリーブ203.2 mm x 19 mm	FA64218
• 牽引スリーブ165.1 mm x 19 mm	FA64219

取り付け

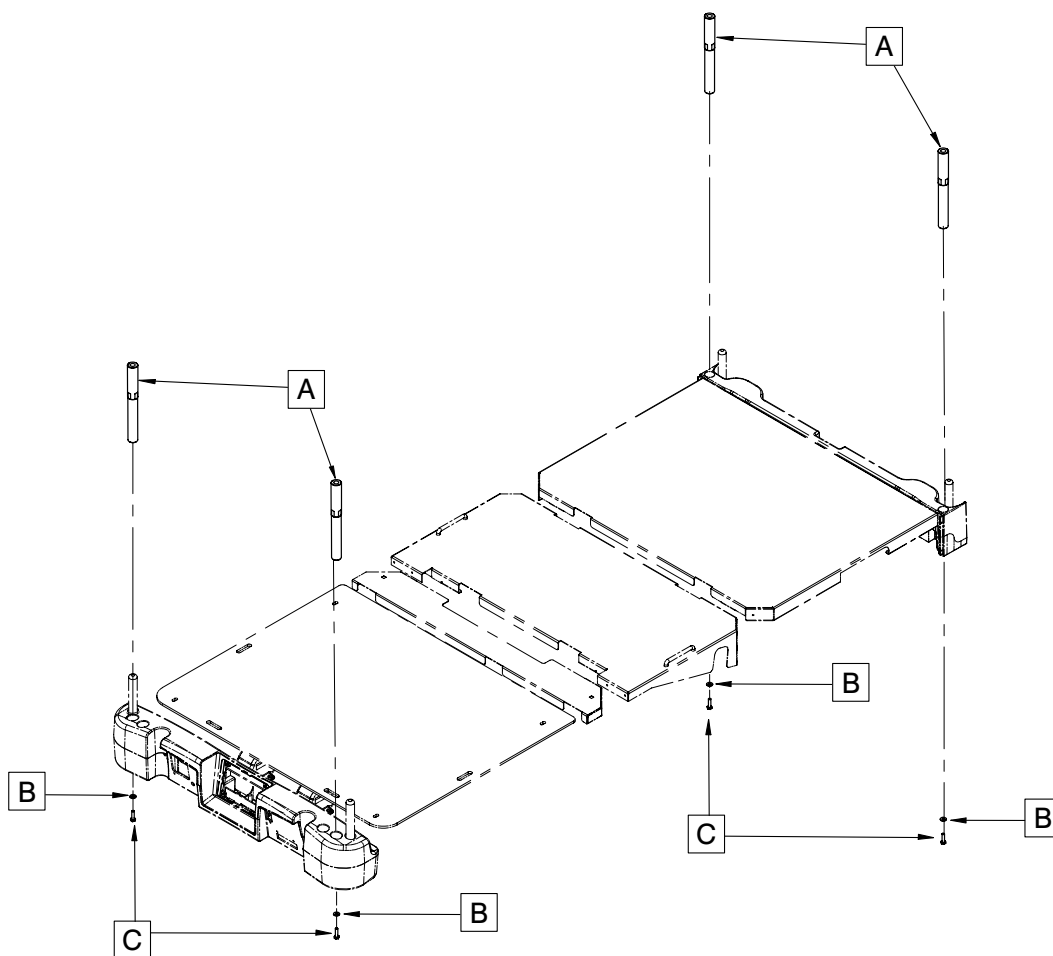
必要なツール：

- 11 mm (7/16") コンビネーションレンチ

手順

1. 牽引スリーブ (A) 4個を、ベッドの四隅にある該当する穴に取り付けます。
2. 提供されているワッシャー (B) およびボルト (C) を使ってしっかりと固定させます。

注記： ステップ2で使用されるボルトは“Scotch Grip” (スコッチグリップ) で覆われています。最初の取り付けの後に取り外す場合には、このタイプのボルトは同一の新しいボルトと取り換える必要があります。



[目次に戻る](#)

ウォールセーバー - FA64208

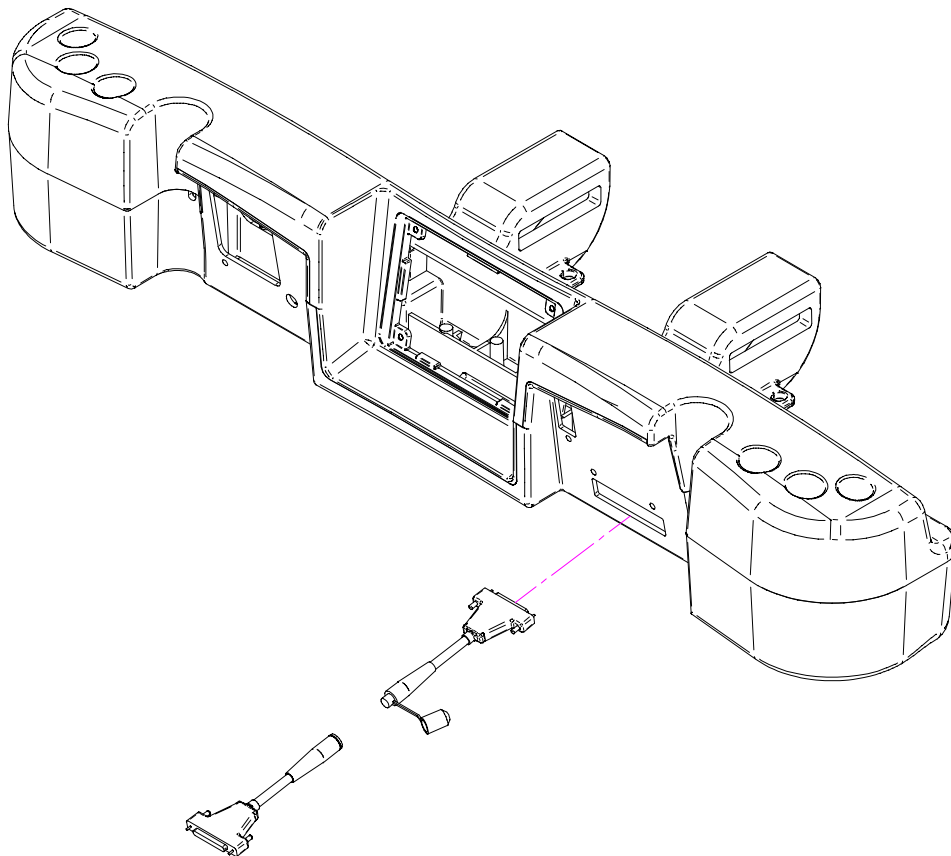
オプションのウォールセーバーは、ベッドのプラグが抜かれていない場合に、ベッドを移動させる間の損傷を避けるためのものです。このウォールセーバーは、それ自体簡単に外れます。

取り付け

必要なツール：なし

手順

1. 下の図のように、コネクタをベッドのコンセントに差し込みます。
2. コネクタのねじをベッドの位置にねじ込みます。
3. 両方のケーブルを一緒にします。
4. コネクタのもう片方を、病院のケーブルに差し込みます。
5. コネクタのねじを病院側コネクタにねじ込みます。



X線カセットホルダー - FA64205

オプションのX線カセットホルダーは、ベッドでX線検査を受けるために必要な物を保持します。

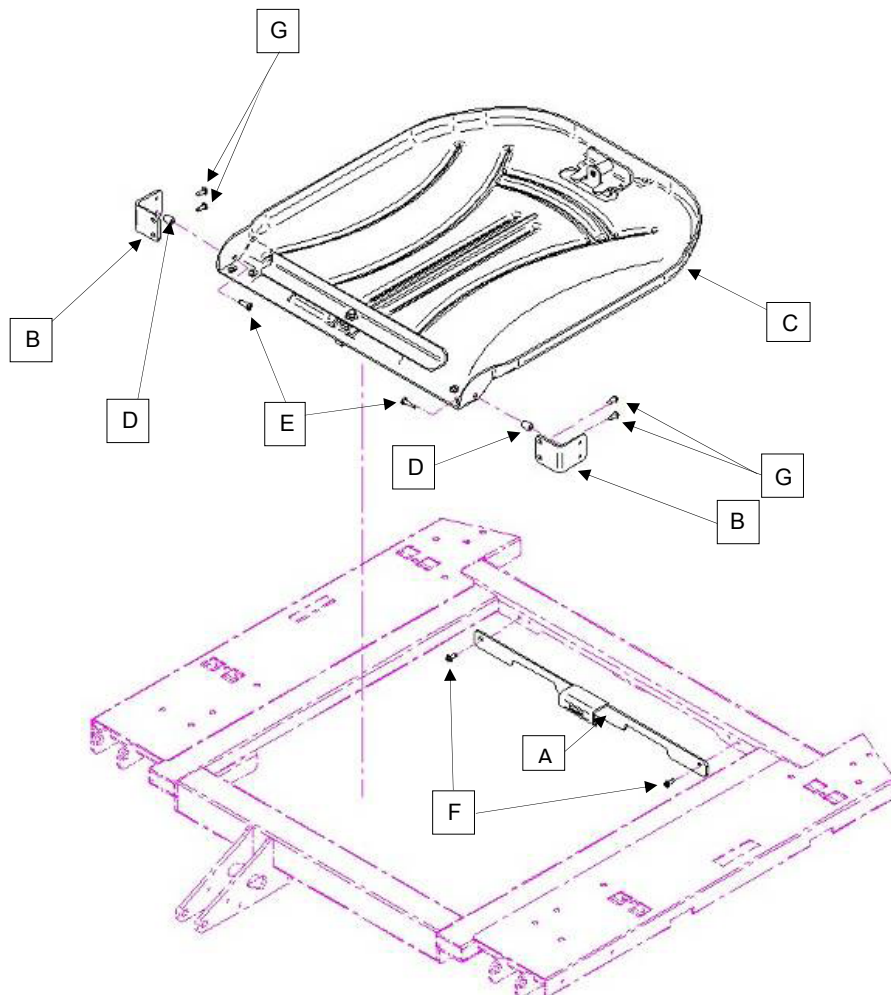
取り付け

必要なツール:

- #2 Phillipsスクレュードライバー

1. 背もたれを完全に直立位置まで上げます。
2. ブレーキがまだかかっていない場合には、かけてください。
3. ベッドのプラグを抜き、バッテリー切断スイッチを切ります。
4. Phillipsねじ回しを使って、ブラケット組み立て (A) を#10 x 1/2" タッピングねじ (F) 2個で背もたれの枠上に取り付けます。
5. Phillipsねじ回しを使って、2個のカセットホルダー回転ブラケット (B) を、#10 x 1/2" タッピングねじ (G) 4個がついた背もたれの下部に取り付けます。
6. Phillipsねじ回しを使って、X線カセットホルダープレート (C) を、#10 x 19 mm (3/4") タッピングねじ (E) 2個およびスペーサー (D) 2個がついたカセットホルダー回転ブラケット (B) に取り付けます。

注記: 背もたれ部やリストシステムの動作がある場合、損傷を避けるために使用した後は、X線カセットホルダーサポートを確実に閉じてください。



洗浄

ベッドの洗浄

温水と中性洗剤でベッドの全表面を手洗いしてください。洗浄剤が沈着しないように、ベッドを拭いて完全に乾かします。ベッドは蒸気洗浄したりホースで水をかけたりしないでください。ベッドのどの部分も浸漬しないでください。ベッドの内部部品の一部は電気部品であるため、水がかかると損傷することがあります。

ベッド表面用の推奨洗浄剤：

- 第四級洗浄剤（有効成分 - 塩化アンモニウム）。
- フェノール系洗浄剤（有効成分 - オルトフェニルフェノール）。
- 塩素系漂白剤溶液（5.25% - 水100に対し漂白剤1未満の割合）。

過度の浸漬は避け、化学洗剤メーカーのガイドラインの規定を超える長時間、製品を濡れた状態におかないようにしてください。

注意

洗浄剤には実際に腐食性の製品もあり、不適切に使用するとベッドを損傷する場合があります。上述のような製品をStryker社患者ケア機器の洗浄に使用する場合は、洗浄後にベッドを清浄な水に浸した湿った布で拭き、完全に乾かすことを徹底させる手段を取る必要があります。ベッドを適切にすすいで乾かすことを怠ると、ベッドの表面に腐食性の残留物が残り、重要な部品に早期の腐食を起こす可能性があります。このような種類の洗浄剤を使用するとき上記の指示に従わないと、製品の保証が無効になる場合があります。

マットレスの手入れ

使用後はそのつど、マットレスを点検してください。マットレスカバーにひび割れや裂け目が認められる場合は、開口部から液体が侵入することがあるため、使用を中止してください。

予防メンテナンス

チェックリスト

- _____ すべての留め具が固定されている (全部の組み立て説明図を参照)。
- _____ ブレーキペダルを起動し、ベッドを押して全部のキャスターがしっかりとロックされていることを確認する。
- _____ ブレーキが起動していない時、フットボードおよび頭側サイドレールの“Brake Not Set” (ブレーキ未設定) のLEDが点灯する。
- _____ ステアリングキャスターのロックが正しく起動・解除する (2131型のみ)
- _____ サイドレールを動かすことができ、ラッチがかかり、正しく格納できる。
- _____ 心肺蘇生用リリースが正常に働いている。
- _____ I.V.ポールが正常に働いている (ベッドに取り付けられている場合)。
- _____ ヘッドボードやフットボードにひびや割れ目がない。
- _____ マットレスカバーに裂け目や割れ目がない。
- _____ 頭側サイドレールの全機能が正常に働いている (LEDを含む)。
- _____ フットボードの全機能が正常に働いている (LEDを含む)。
- _____ スケールおよび離床検知システム が正しく働いている。
- _____ 常夜灯が正常に働いている。
- _____ 電源コードにほころびがない。
- _____ どのケーブルにも磨耗やつぶれた跡がない。
- _____ 電気系統の接続がすべて良好である。
- _____ アースがすべてフレームに接続されている。
- _____ 接地インピーダンスが100 mΩを超えない。
- _____ 漏電電流が300 μAを超えない。
- _____ 駆動輪を起動し正しく作動することを確認する (ZOOM®オプション - 2141型のみ)。
- _____ モーションリリーススイッチが正しく作動している (ZOOM®オプション - 2141型のみ)。
- _____ 頭側の ZOOM®ハンドル機能を確認する (ZOOM®オプション - 2141型のみ)。
- _____ バッテリー駆動の機能を確認する。
- _____ 接地チェーンが清潔、無傷で、少なくとも鎖の輪が2個床に接していることを確認する。
- _____ 背もたれの角度が精度0° ~70° であるかを確認する。
- _____ 膝ボトムsの角度が精度0° ~15° であるかを確認する。
- _____ 足ボトムsの角度が精度0° ~50° であるかを確認する。
- _____ サイドレールスイッチが正しく作動している (iBED認識オプション)。
- _____ フットボードおよびサイドレールのiBED認識LEDライトバーが点灯している (iBED認識オプション)。
- _____ フットボード・コントロールの ラベル表示に劣化がないか点検する。
- _____ タッチスクリーンの較正が正確であることを確認する。
- _____ ベッドの較正が正確であることを確認する。

ベッド製造番号:

記入者: _____

日付: _____

[目次に戻る](#)

保証

有限保証

Stryker Corporationの一部門であるStryker Medical Divisionは、当初購入者に対しInTouch™クリティカルケアベッド、FL27 (2131/2141) 型が材質および仕上がりにおいて瑕疵がないことを納入日から1年間にわたり保証します。本保証の下のStrykerの義務は、Stryker独自の裁量で欠陥品と判断された製品について、その自由裁量において、交換部品および修理を提供するか、または製品を交換することに明示的に制限されます。Strykerが要求する場合、保証請求が行われた製品または部品は、料金前納で工場に返送されるものとします。Strykerの判断で製品に重大な悪影響を与えると判断されるような不適切な使用や他者による改造または修理は、本保証を無効にします。Strykerが提供または認定しない部品を使用したStryker製品の修理は、本保証を無効にします。Strykerの社員または代理人の何者も、本保証をどんな形であれ変更する許可を与えられるものではありません。

Stryker Medicalのベッド製品は、通常の使用、条件において、各製品のメンテナンスマニュアルに記載の適切な定期メンテナンスを行うと10年間の耐用年数が期待できるよう設計されています。Strykerは当初購入者に対し、当初購入者が製品を所有している限り、ベッド製品の溶接部に構造上の欠陥がないことを、ベッド製品の10年間の耐用年数の期間保証します。

この言明は、前述の製品に関するStrykerの保証のすべてとなります。**Stryker は、本契約に規定する場合を除き、これ以外の保証も表明も明示、黙示を問わず行いません。商品性の保証も特定目的適合性に関する保証もありません。当該装置の販売または使用に起因する、あるいはどのような形であれそれに関連する付随的または間接的損害については、Strykerはいかなる場合も本契約に基づく責任を負いません。**

部品および修理の請求

Stryker製品は、献身的なStrykerフィールドサービス担当者の全国的ネットワークによりサポートされます。これらのサービス担当者は製造施設でトレーニングを受けており、現地で利用でき、十分な予備部品の在庫を持っているため、修理期間が短縮できます。寄の担当者または米国Strykerカスタマーサービス (1-800-327-0770 オプション2)、カナダ (1-888-233-6888) までお電話ください。

サービス契約の範囲

Strykerでは、お手持ちの装置の最高性能での作動を維持すると同時に、予期せぬ費用が掛からないような総合的なサービス契約オプションのプログラムを開発しました。装置のアップグレード料金がかからないように、新規購入製品の保証期限が切れる前にこれらのプログラムを有効にすることをお勧めします。

サービス契約により以下が可能になります：

- 装置の信頼性の保証
- メンテナンス予算の固定化
- 不稼動時間の減少
- JCAHO用書類作成を確立
- 製品耐用年数の延長
- 下取り価値の向上
- リスク管理および安全対策

保証

サービス契約プログラム

Strykerは下記のサービス契約プログラムを提供しています：

サービス契約のオプション*	ゴールド	シルバ	部品	工賃	予防メンテナ
年次定期予防メンテナンス	X				X
全部品	X	X	X		
工賃および出張費の全額	X	X		X	
無制限の緊急サービス訪問	X	X		X	
最優先対応：2時間の電話対応	X	X	X	X	
修理のほとんどは3日以内に完了します	X	X		X	
JCAHO文書	X	X		X	X
予防メンテナンスおよび緊急サービスの施設内記録	X				X
製造施設でトレーニングを受けたStrykerサービス技術者	X	X		X	X
Stryker認定部品の使用	X	X	X	X	X
通常の営業時間内のサービス（9時～5時半）	X	X	X	X	X

* 誤用した場合や使い捨て部品のメンテナンスは含みません。Strykerは断り無くオプションを変更する権利を有します。

Stryker Medicalはカスタムメイドのサービス契約も提供しています。
料金は製品の年数、所在地、型式、状態によって決められます。

弊社のサービス契約についての詳細は、最寄の代理店にお問い合わせください。

返品許可

商品はStryker消費者サービス部門の許可がなければ返品できません。許可番号が与えられるので、それを返品する商品に表示してください。Strykerは、返品される品目にかかる送料および返品手数料を請求する権利を留保します。**特売品や、改造したり製造中止となった製品は返品の対象となりません。**

破損した商品

ICC（国際商業会議所）の規定では、損傷した商品についてのクレームは商品の受領から15日以内に運送業者に対して行うことが要求されます。損傷した発送品は、受領時に当該損傷が納品受領書に記録されていない限り、受け付けないでください。即時の通知を受け取り次第、Strykerは当該運送業者に対し発送貨物が被った損傷について損害賠償を申し立てます。損害賠償請求は実際の交換費用に限定されます。この情報を商品の配達後15日以内にStrykerが受け取らなかった場合、あるいは受領時に損傷が納品受領書に記録されていない場合は、顧客は最初の請求書の全額を支払う責任を負います。発送貨物に不足品がある場合の請求は、請求書日付から30日以内に行わなければなりません。

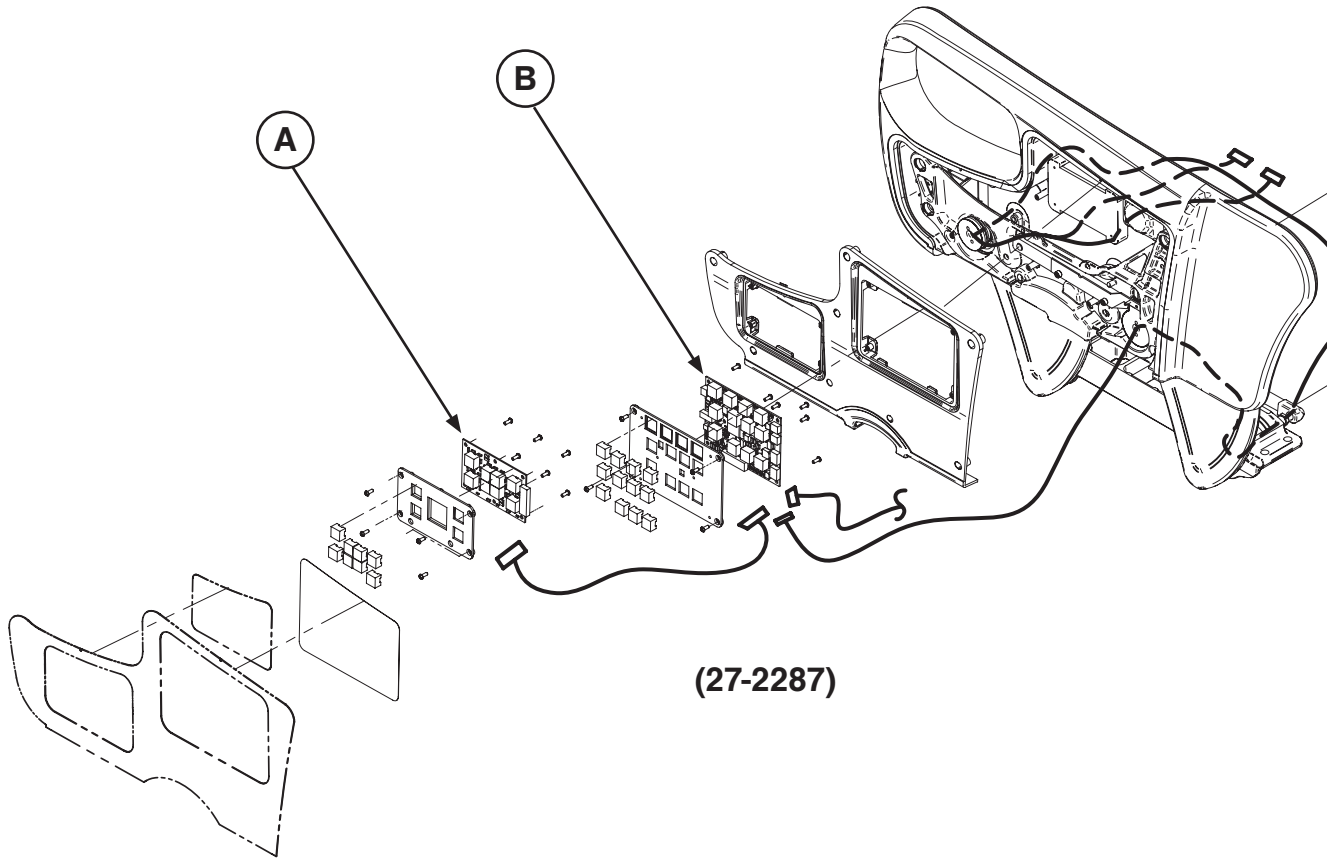
国際保証条項

この保証は米国内用規定を示します。米国外の保証は国によって異なります。詳しくはStryker Medicalの現地代理店にお問合せください。

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

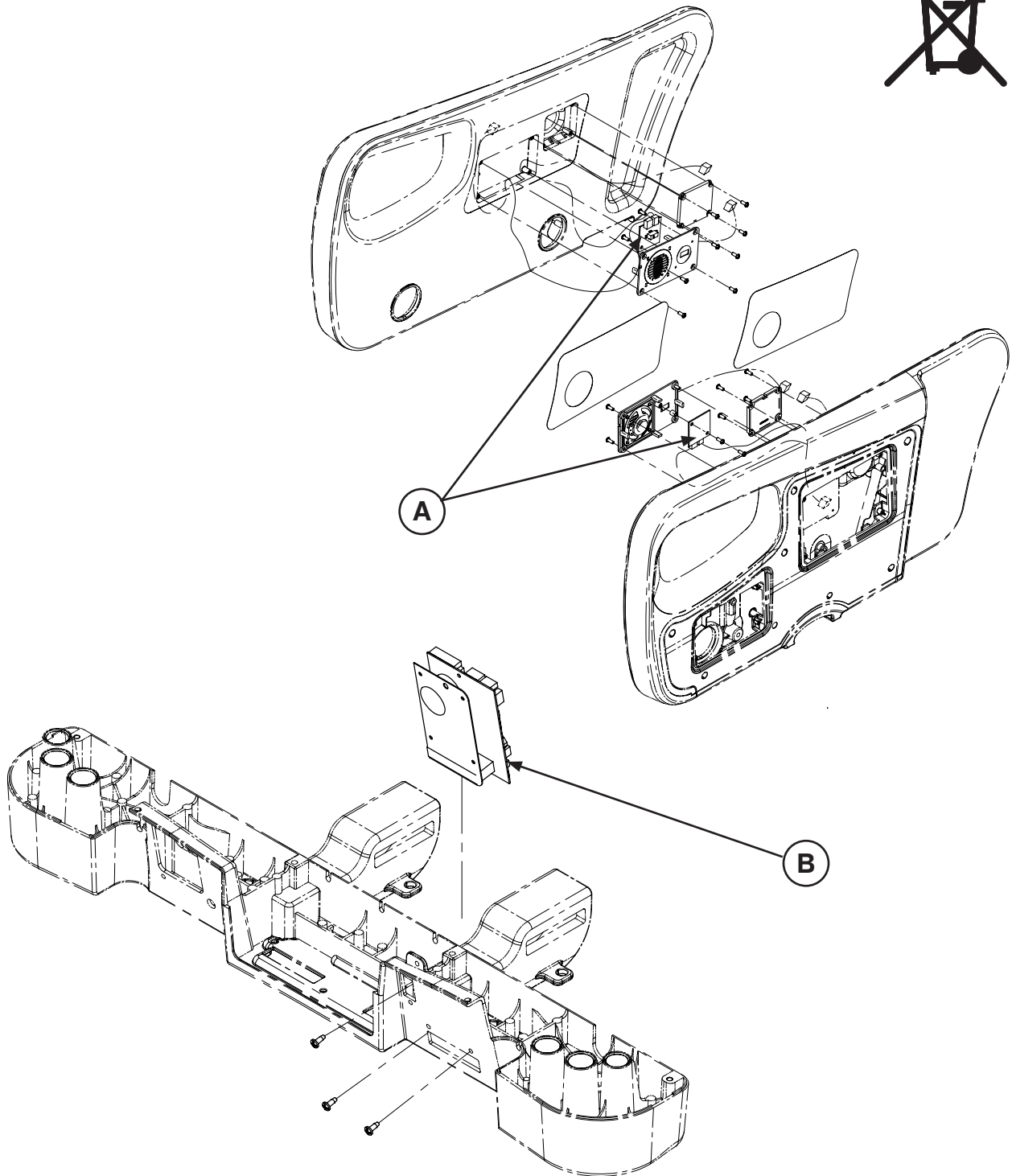
組み立て部品: 27-2287/27-2288



項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1097		2
B	QDF27-1099		2

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: OL270173

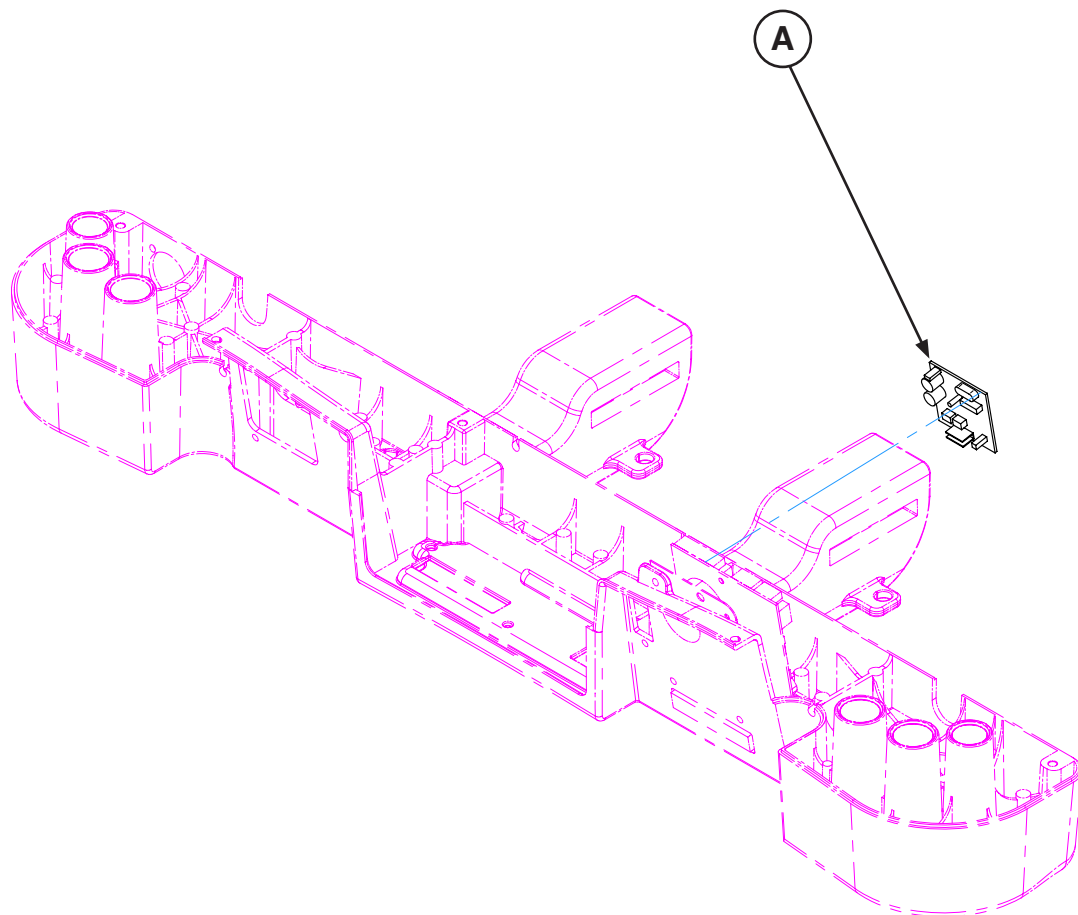
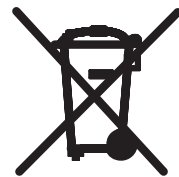


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1429		1
B	QDF21-1180		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

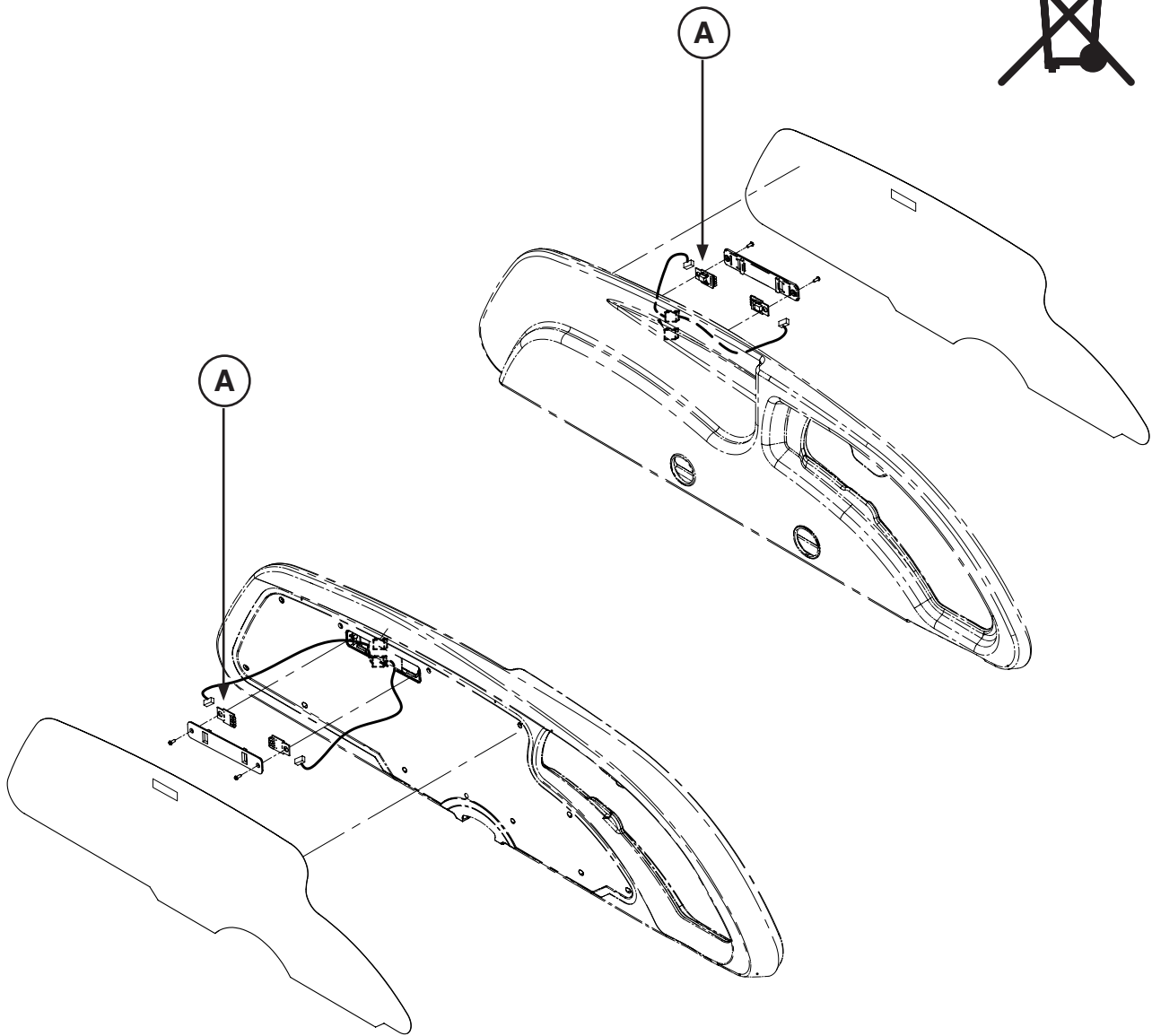
組み立て部品: OL270032



項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF2060		1

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: OL270060

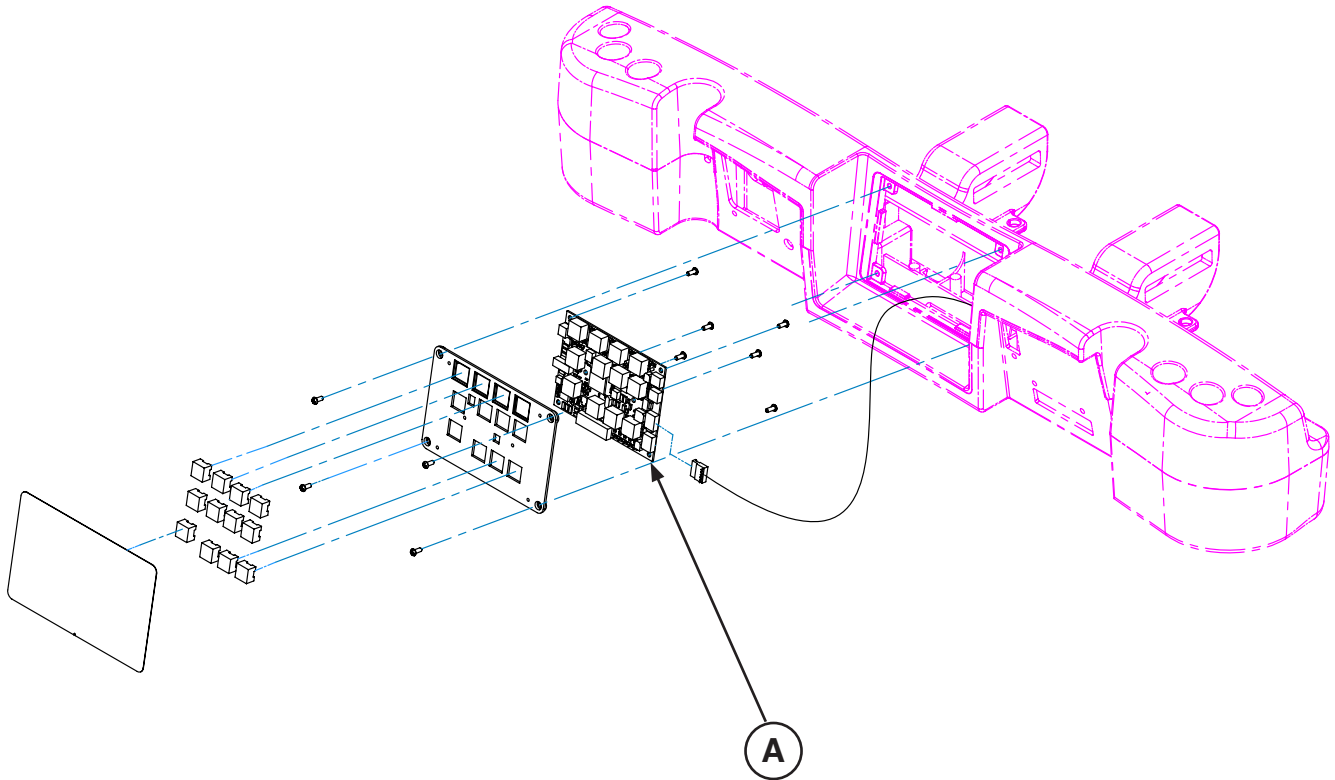


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1562		4

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

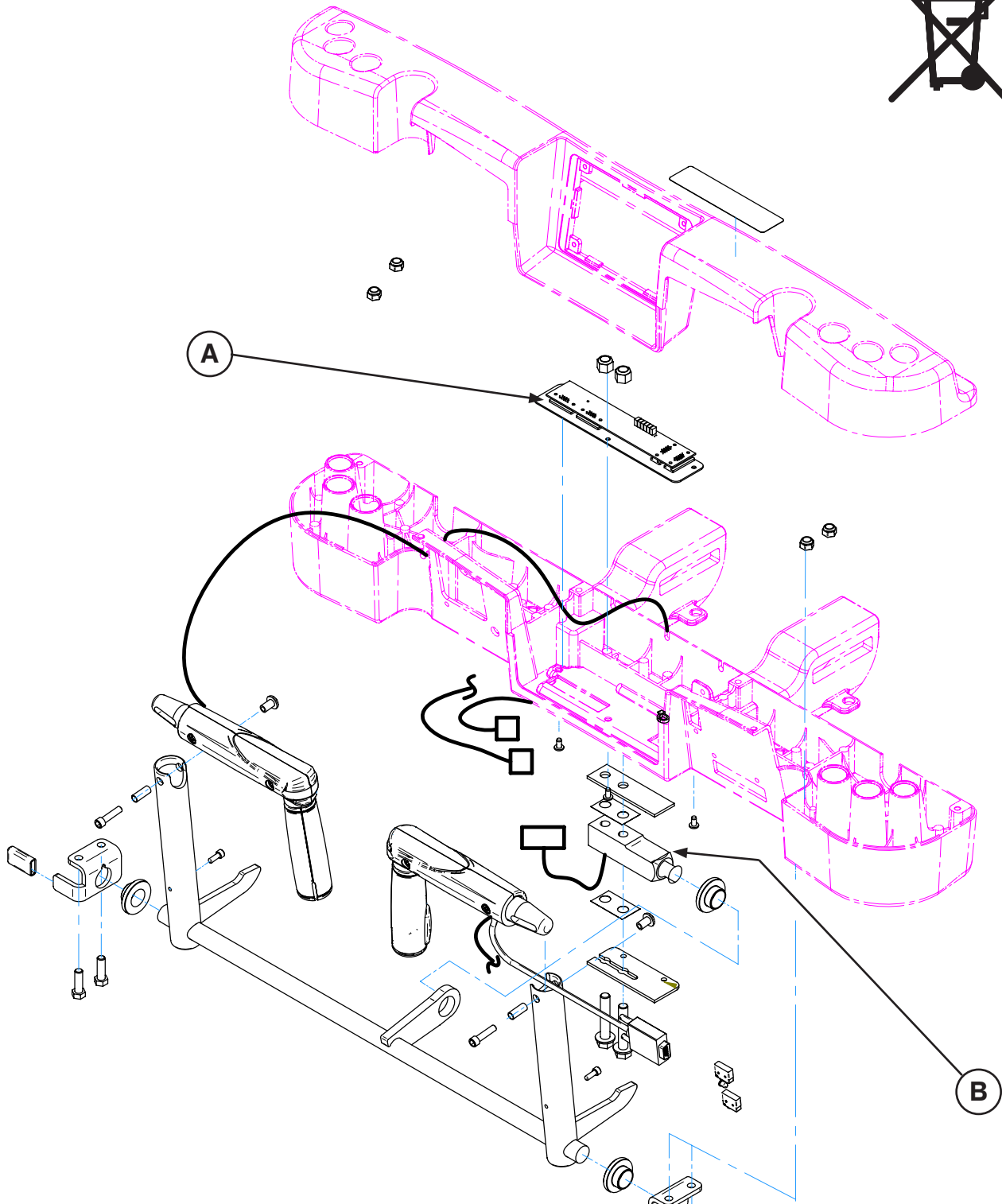
組み立て部品: OL270181



項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1099		3

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: 27-2196

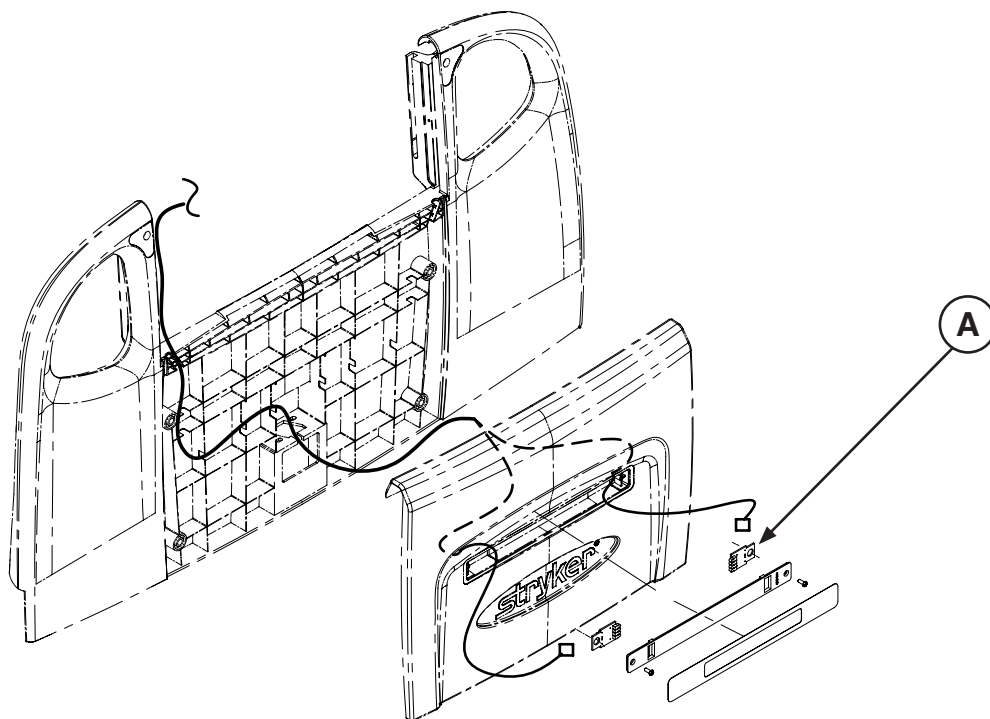
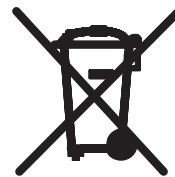


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1431		5
B	QDF27-1372		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

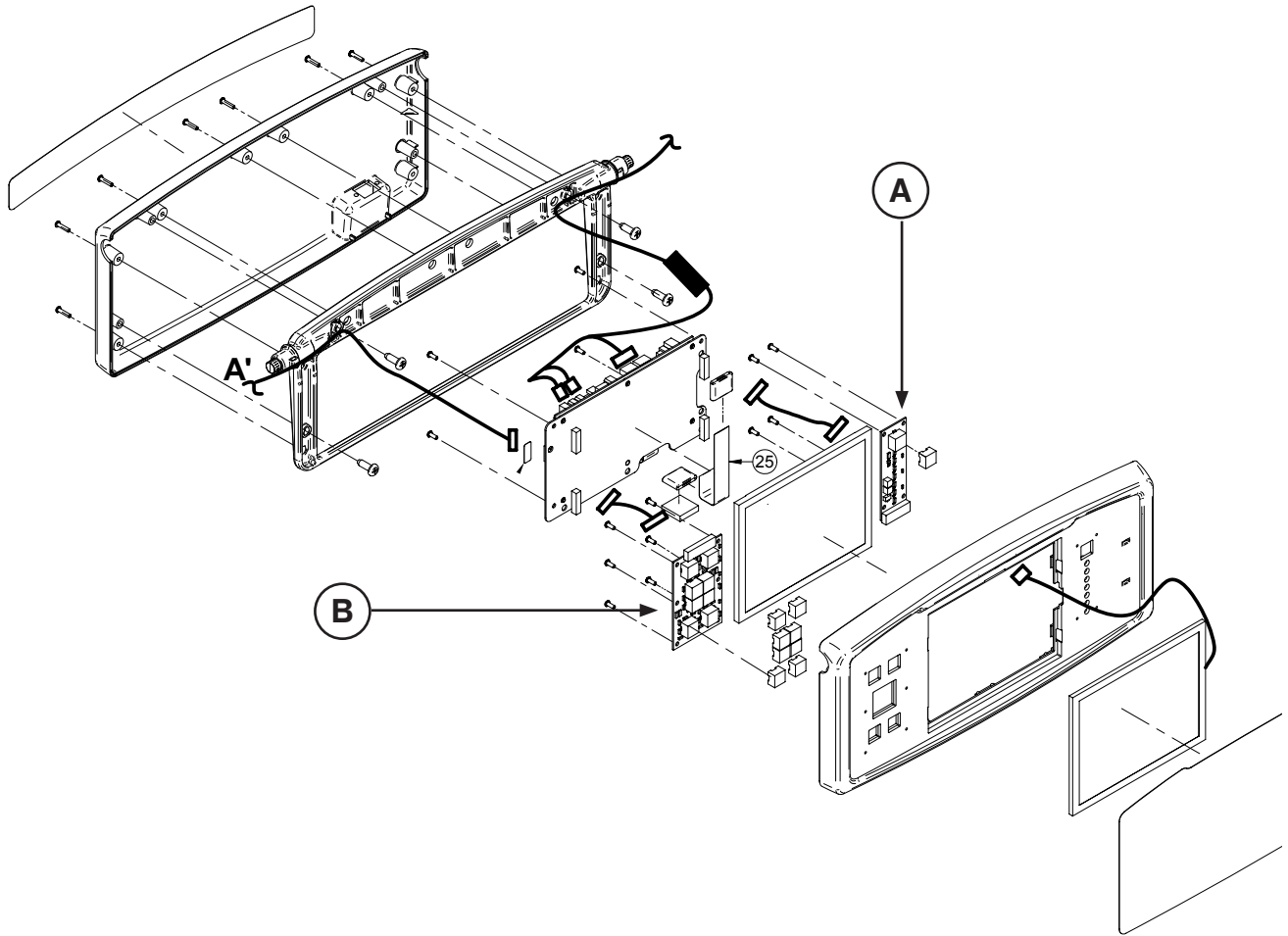
組み立て部品: OL270167



項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1562		4

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: OL270079

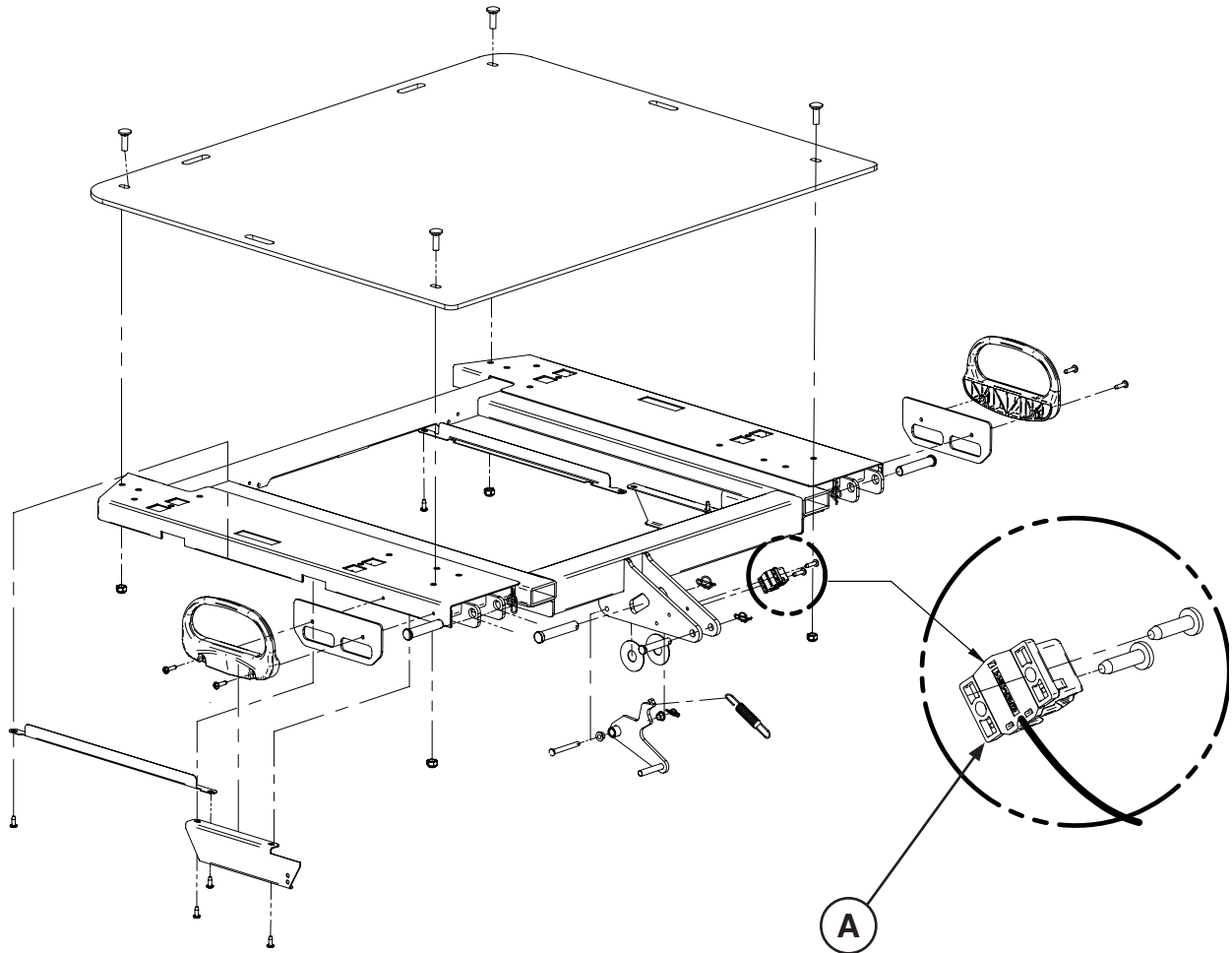


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF75-0010		1
B	QDF27-1097		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

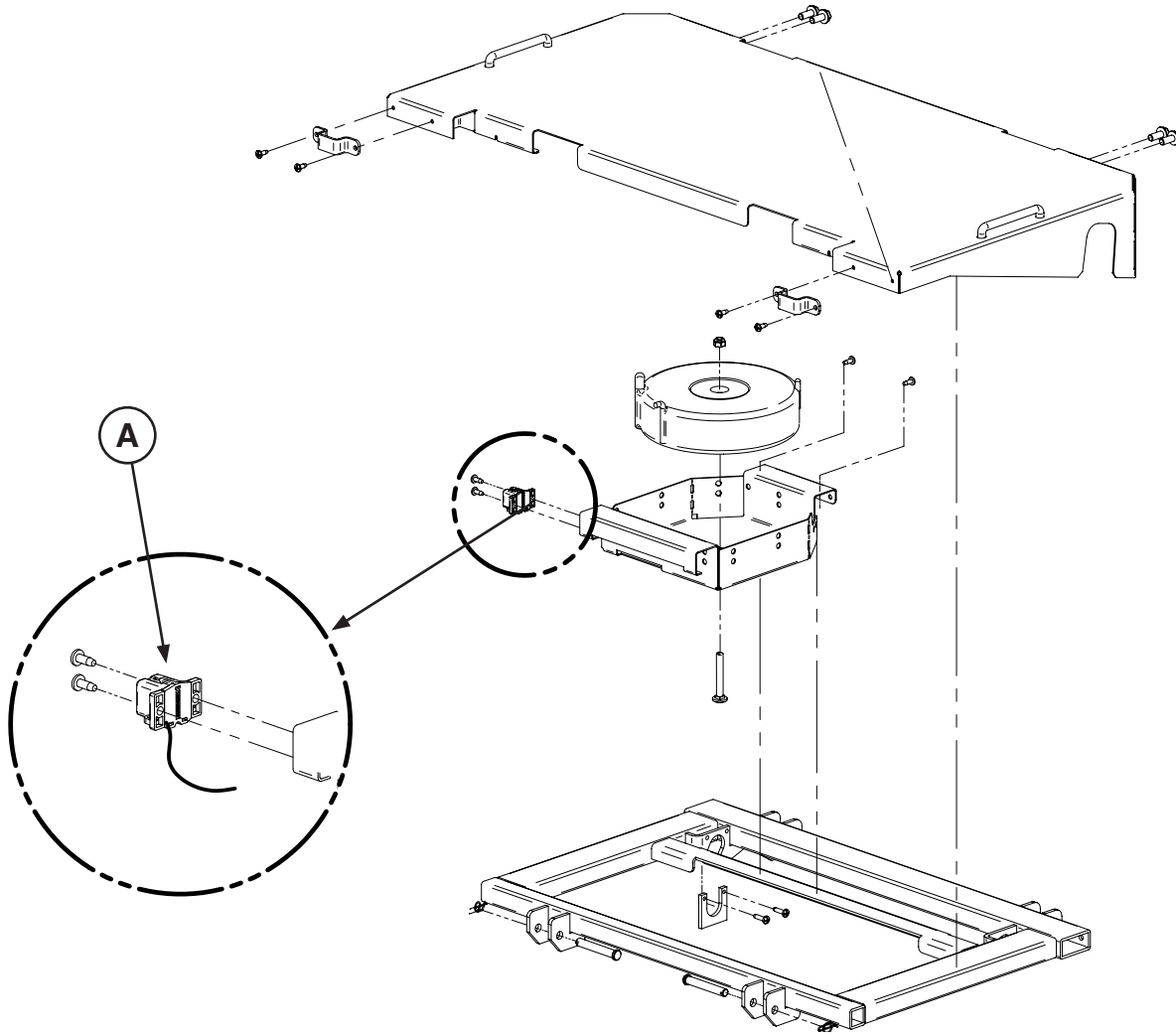
組み立て部品: L27-019



項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1551		1

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: L27-019

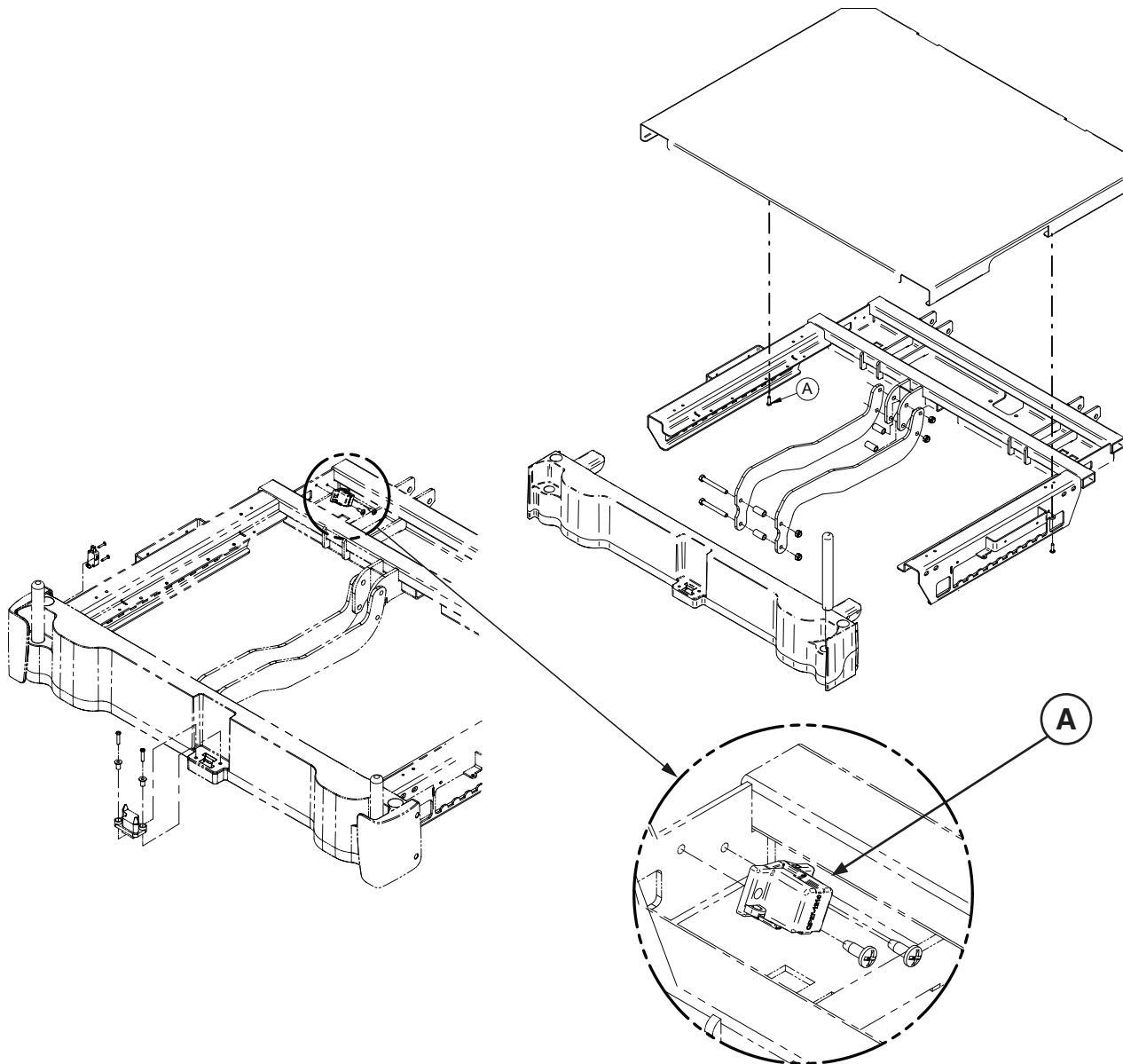
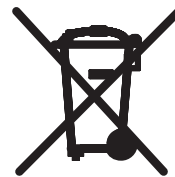


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1551		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: 27-1200

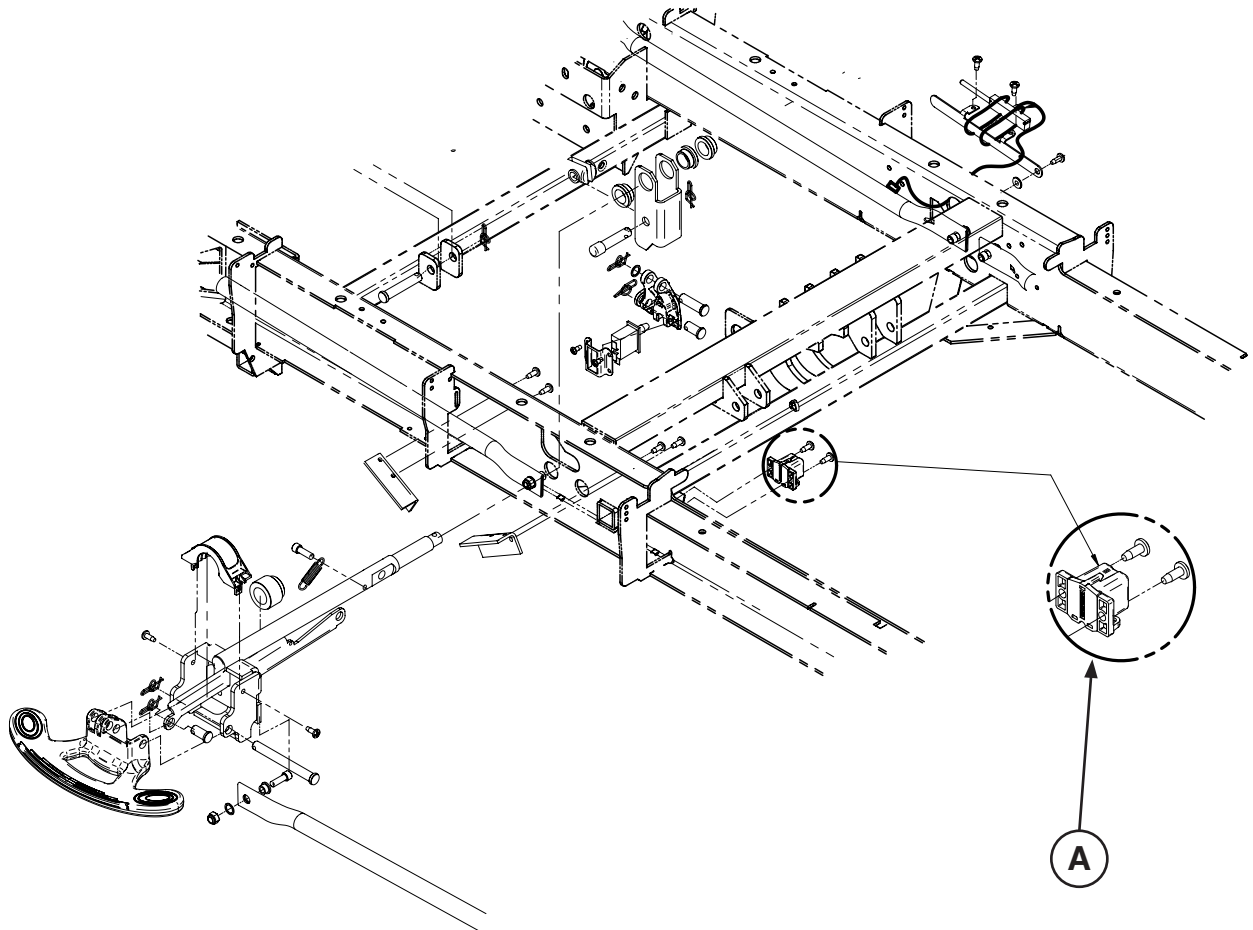


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1551		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: L27-020

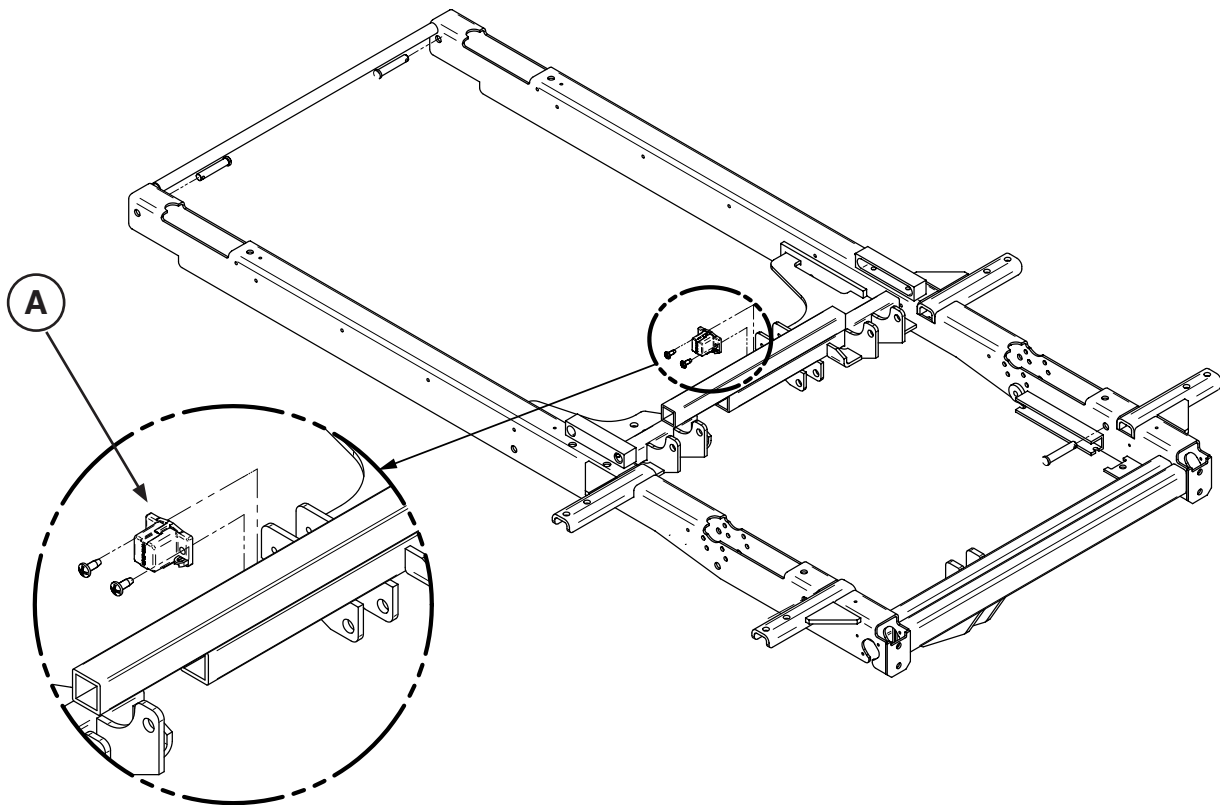


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1551		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

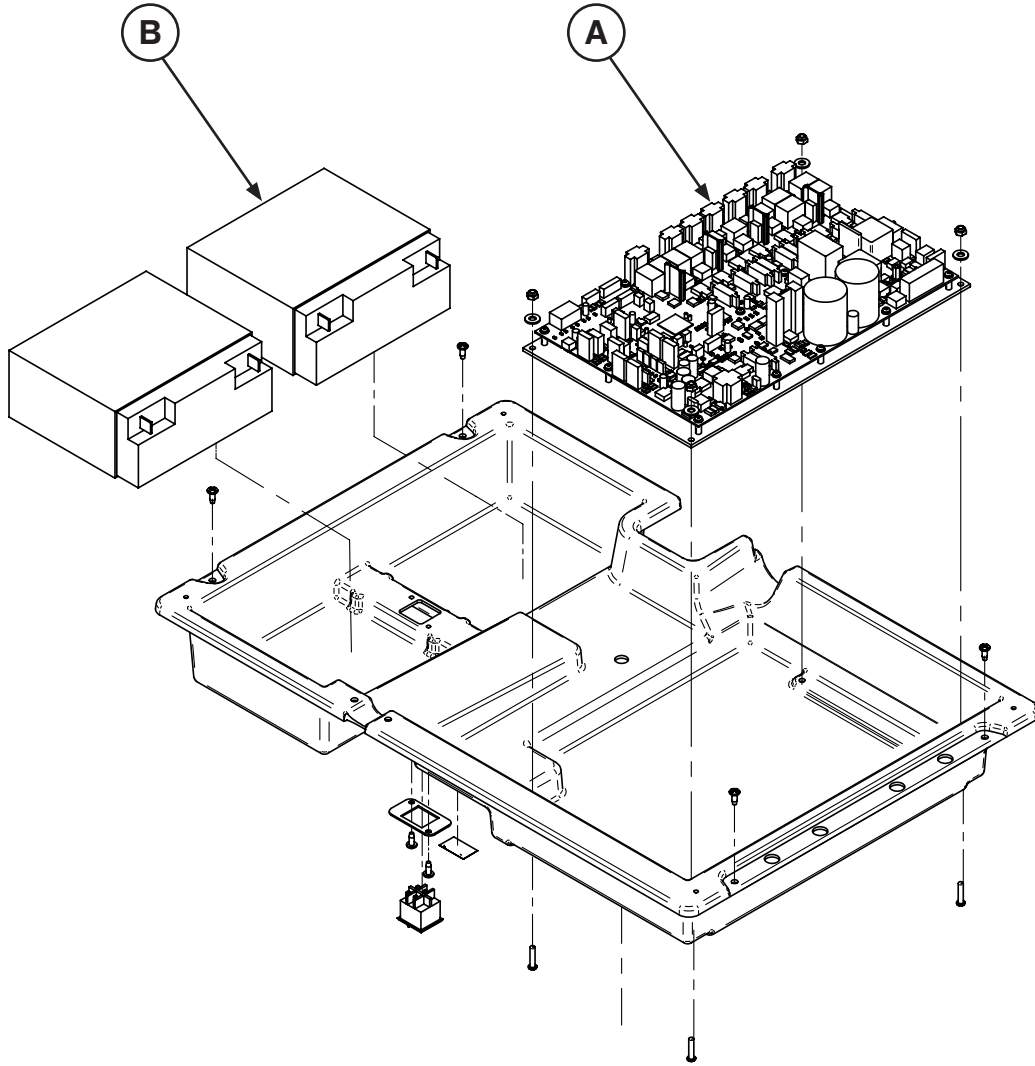
組み立て部品: L27-021



項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1551		1

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: 27-2260

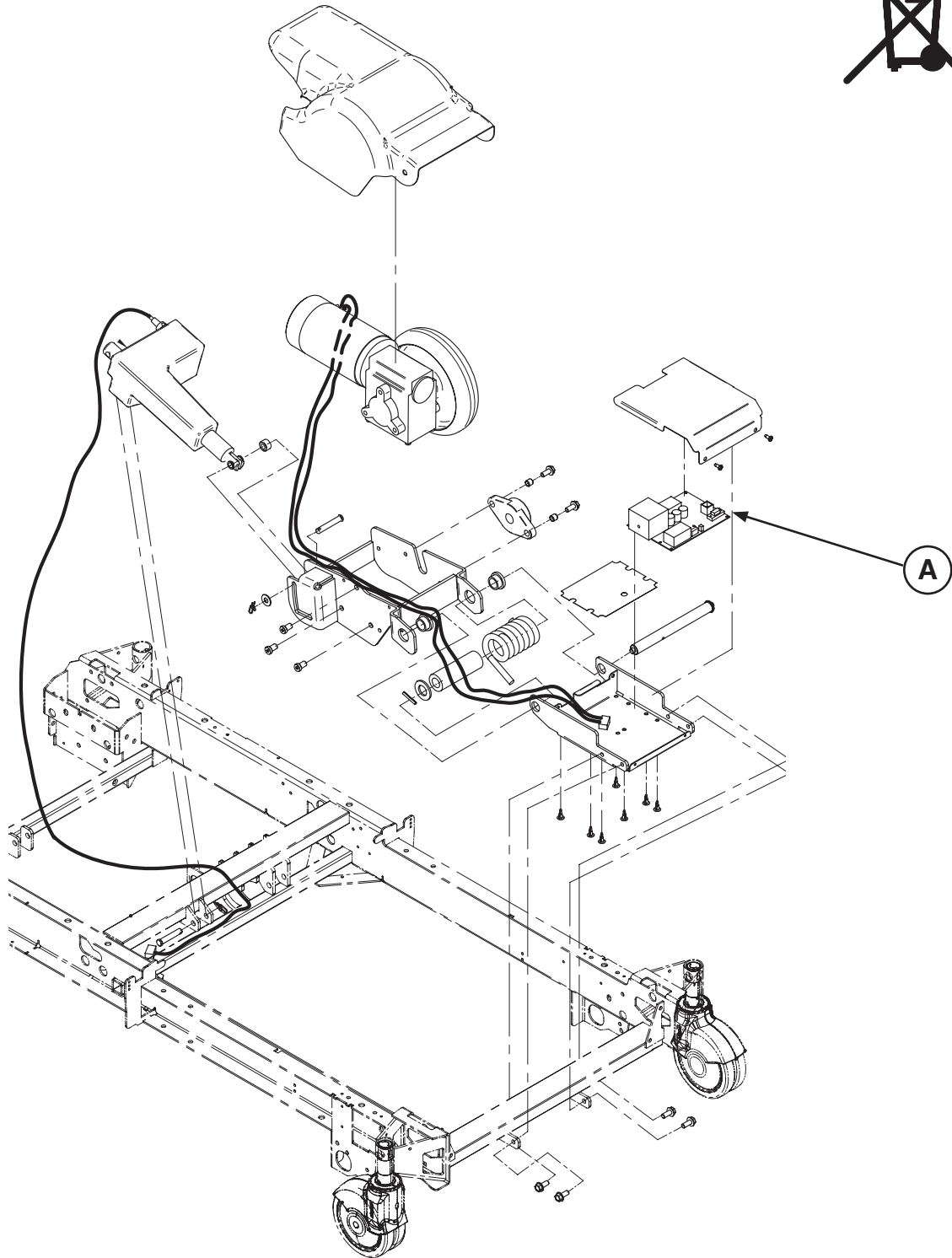


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF75-0110		1
B	QDF9188		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: 27-1700

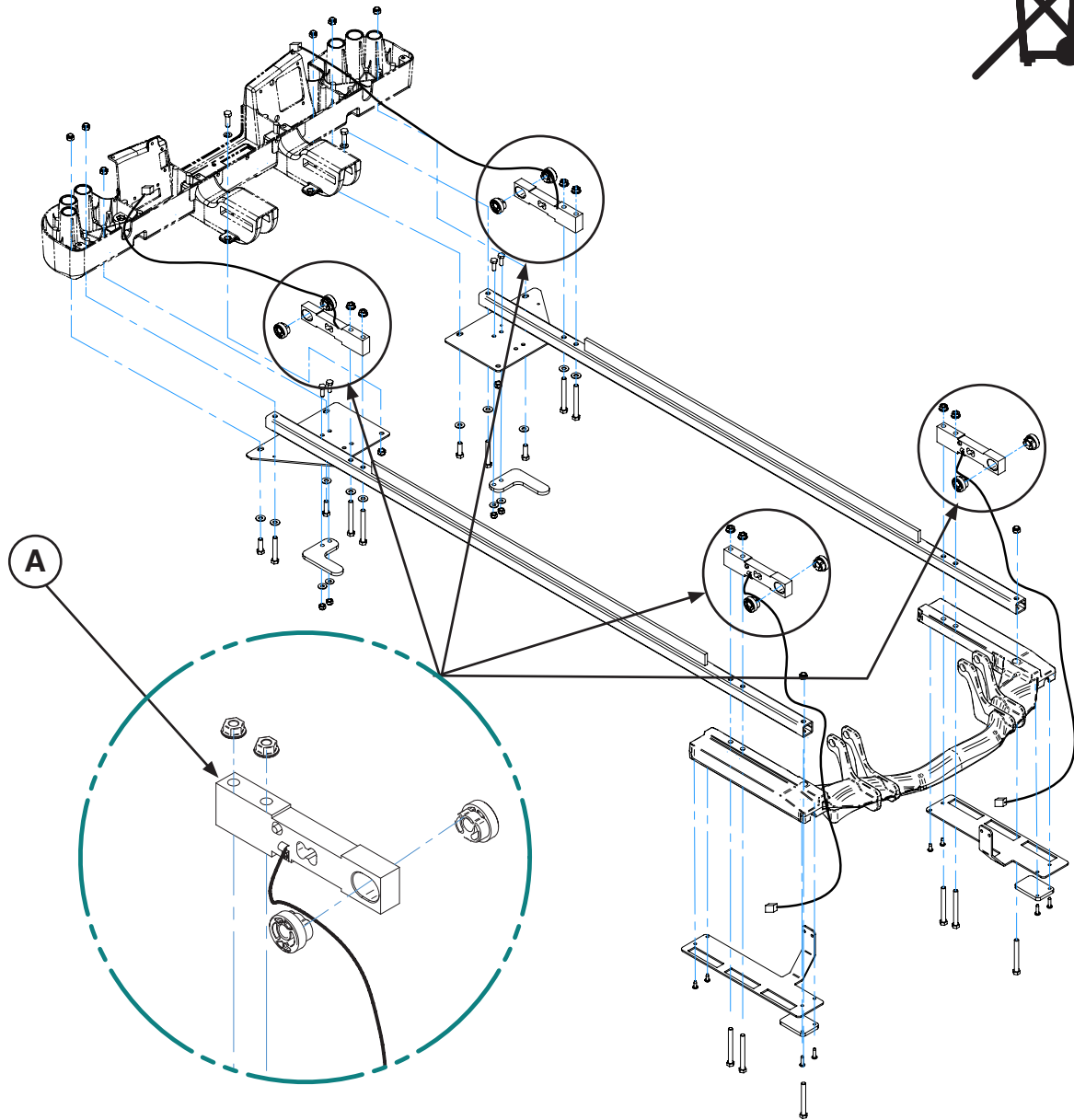


項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF75-1430		1

[目次に戻る](#)

電気・電子機器再利用パスポート

組み立て部品: L27-014



項目	再利用部材コード	重要情報	数量
A	QDF27-1372		4

[目次に戻る](#)



English Equivalent Part Number: 2131-009-001 REV B

アメリカ合衆国
Stryker Medical
3800 E. Centre Ave.,
Portage, Michigan 米国
49002

カナダ
Stryker Canada
45 Innovation Drive
Hamilton, Ontario カナダ
L9H 7L8

EC	REP
----	-----

欧州代表
Stryker France
ZAC Satolas Green Pusignan
Av. De Satolas Green
69881 MEYZIEU Cedex
フランス

stryker[®]